

REPORT 2016

THE MIZUSAWA SHINKIN BANK

水沢信用金庫の現況



前沢牛（奥州市前沢区）



水沢信用金庫


水沢信用金庫

CONTENTS

- 1 基本理念・経営方針
- 2 ごあいさつ
- 3 水沢信用金庫と地域社会
- 5 地域金融円滑化に係る取組み
地域金融円滑化のための基本方針
- 6 中小企業の経営の改善及び
地域の活性化のための取組みの状況
- 7 「お客様満足度」の向上に向けた取組み
- 9 事業内容
- 10 店舗一覧
- 11 トピックス
- 17 各種ご案内
預金商品のご案内
融資商品のご案内
サービス業務のご案内
- 19 各種手数料一覧
- 21 金庫の事業の運営に関する事項
法令等遵守（コンプライアンス）の取組み
個人情報保護について
顧客保護等管理方針について
利益相反管理方針について
反社会的勢力に対する基本方針について
- 23 金融商品・保険商品のご提案にあたって
- 24 リスク管理体制
- 25 金融ADR制度
- 27 総代会等に関する事項
- 29 金庫の組織に関する事項
- 30 当金庫の歩み
- 31 資料編
- 57 開示項目一覧

Basic Philosophy

基本理念

地域社会の発展 豊かな暮らしづくりを目指して

私たち水沢信用金庫は、地域とともにある金融機関です。地域の発展があってこそ当金庫の発展がありえるとの理念のもと、昭和24年創業以来67年の歴史を歩んでまいりました。

これからも、地域経済の発展と豊かな暮らしづくりのお役に立てるよう、堅実な経営を維持し、皆様から信頼されるパートナーとして、地域とともに歩んでまいります。

Management Policy

経営方針

1. 地域社会に対する貢献

地域金融機関として地域社会の発展、地域住民の繁栄に貢献する。

2. 経営の安定と発展

常に経営規模の拡大と合理化を図り、健全経営の維持と内部蓄積の充実に努める。

3. 魅力ある職場づくり

職員の創意を尊重し、人材の登用と資質の向上をはかり、働きがいのある希望に満ちた職場をつくる。



水沢信用金庫 本店外観

THE MIZUSAWA SHINKIN BANK

水沢信用金庫の概要 (平成28年3月31日現在)

創立	昭和24年7月12日
本店	奥州市水沢区字日高西71番地1
電話	0197-23-5191 (代表)
店舗数	10店舗
会員数	11,240名
出資金	4億75百万円
役員数	156名
営業地区	奥州市、胆沢郡金ケ崎町、北上市、 一関市 (旧一関市、旧大東町、旧東山町)、大船渡市、 陸前高田市、気仙郡住田町、西磐井郡平泉町
ホームページ	http://www.mizusawashinkin.co.jp/

ごあいさつ



皆様には平素より水沢信用金庫に対し格別のお引立てを賜り心より厚く御礼申し上げます。本年も、当金庫の経営内容をご理解頂き、安心してお取引いただけますよう、ディスクロージャー誌「水沢信用金庫の現況」を作成いたしましたので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

さて、平成27年度の我が国の経済は、前半はアベノミクスの推進による円安と株高が持続し、外国人観光客の増加効果や、輸出型の大企業製造業を中心に企業収益が堅調に推移したため、緩やかな回復基調を続けましたが、後半は中国を始めとする新興国経済の景気減速やアメリカの政策金利の引き上げ等の影響もあり、景気の回復は足踏み状態となりました。

一方、当地域内の経済においては、雇用情勢は改善の動きが続いたものの、消費増税に伴う駆け込み需要の反動が一巡し、持ち直しの動きも期待されましたが、物価上昇による実質所得低下の影響や、従来からの課題である少子高齢化や人口減少が影響し、引き続き厳しい環境が続いております。

このような情勢のもと、当金庫は後掲のと通りの成果を収めることができました。これもひとえに会員の皆様はじめ、お取引先各位のご支援の賜と厚く御礼申し上げます。

当金庫では、平成27年度からスタートさせた新たな3か年計画「しんきんスクラム強化3か年計画～独自性発揮による地域の成長と価値創生をめざして～」に基づき、「つなぐ力」を最大限に発揮し、積極的に地域やお客さまの課題解決に尽力するとともに、「地方創生、地域活性化」への取組みを一段と強化いたします。

また、協同組織金融機関として一層の独自性発揮に努めるとともに、リスク管理態勢の整備、経営の健全性確保に注力し、強靱な経営体質の構築に努めて参りますので、より一層のお引き立てとご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年7月

水沢信用金庫 理事長 及川 富美人

地域の皆様とともに

水沢信用金庫は、地元の中小企業者や住民の皆様が会員となって、お互いに助け合い、発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の金融機関です。

地元のお客様からお預かりした大切な資金（預金積金）は、地元で資金を必要とするお客様に融資を行って、事業や生活の繁栄のお手伝いをするとともに、地域社会の一員として地元の中小企業者や住民の皆様との強い絆とネットワークを形成し、地域経済の持続的発展に努めております。

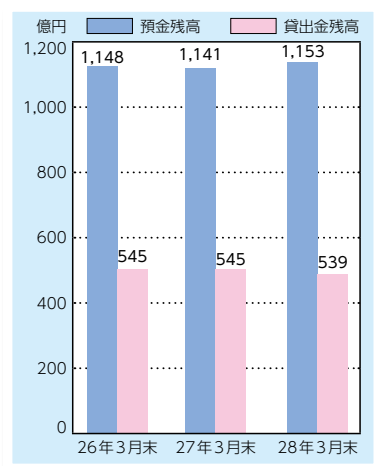
また、金融機能の提供にとどまらず、文化・環境・教育といった面も視野に入れ広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでおります。

預金積金について

当金庫は、地域のお客様の着実な資産づくりのお手伝いをさせていただくため、新商品やサービスの一層の充実に向け努力してまいります。

[預金積金残高 115,342百万円] (平成28年3月末)

※詳しくは本誌32ページをご参照ください。



預金積金

貸出金

出資金について

[会員数 11,240名] (平成28年3月末)

[出資金残高 475百万円]

貸出以外の運用について

お客様の預金は、ご融資による運用のほか、急な払出しへの備えや収益の補完を目的とし、余裕資金運用を行っております。

※詳しくは本誌40ページをご参照ください。

お客様ネットワーク

お客様相互の発展のお手伝いをしております。

[すいしん会]

お取引先経営者の異業種間交流を図る場として、昭和60年9月に発足いたしました。

[青信会]

若手経営者・事業後継者の交流の場として、平成元年7月に発足し、セミナー・スポーツ親睦会等の行事を行っております。



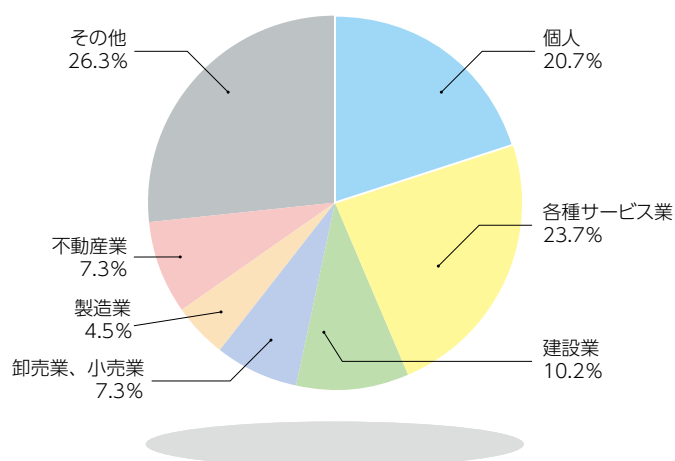
貸出金について

当金庫は、お客様からお預入れいただいた預金積金につきまして、お客様の様々な資金ニーズにお応えして、地域経済の活性化に資するために円滑な資金供給を行い、お客様や地域社会に還元しております。

[貸出金残高 53,903百万円] (平成28年3月末)

※詳しくは本誌41ページをご参照ください。

[貸出金業種別内訳]



出資金

地域への貢献

お客様・会員

支援サービス

お取引先へのご支援について

当金庫は、お取引先の経営改善・支援をお手伝いさせていただいており、中小企業再生支援協議会との連携や、中小企業庁のミラサボ事業、商工会・商工会議所のエキスパートバンク事業等の活用及び岩手県よろず支援拠点出張相談会開催により、支援態勢の充実を図っております。



地域金融円滑化に係る取組み

地域金融円滑化のための基本方針

水沢信用金庫は、地域の中小企業および個人のお客様に必要な資金を安定的に供給し、地域経済の発展に寄与するため、以下の方針に基づき、地域金融の円滑化に全力を傾注して取り組んでまいります。

1. 取組み方針

地域の中小企業および個人のお客様への安定した資金供給は、事業地域が限定された協同組織金融機関である信用金庫にとって、最も重要な社会的使命です。

私どもは、お客様からの資金需要や貸付条件の変更等のお申込みがあった場合には、これまでと同様、お客様の抱えている問題を十分に把握したうえで、その解決に向けて真摯に取り組めます。

2. 金融円滑化措置の円滑な実施に向けた態勢整備

当金庫は、上記取組み方針を適切に実施するため、以下のとおり、必要な態勢整備を図っております。

① 態勢整備を図るために理事会等において決議した事項

- 金融円滑化管理方針を策定しました。

② お客様へのきめ細やかな経営改善支援を行うための態勢整備

- 事業資金・住宅ローン利用者がより相談されやすいよう全営業店・本部（融資部企業支援課）に窓口（金融相談窓口）を設置しました。

また、各営業店内に返済相談担当者を任命し、これまで以上にきめ細やかにお客様からのご相談に対応していく態勢を整備しました。

- 本部の専門部署（融資部企業支援課）は、各営業店を通じてお客様へのきめ細やかな経営改善支援を行います。

3. 他の金融機関等との緊密な連携

当金庫は、複数の金融機関から借入れを行っているお客様から貸付条件の変更等の申し出があった場合など、他の金融機関や信用保証協会等と緊密な連携を図る必要が生じたときは、守秘義務に留意しつつ、お客様の同意を得たうえで、これらの関係機関と情報の確認・照会を行うなど、緊密な連携を図りながら地域金融の円滑化に努めてまいります。

お客様からの貸付条件の変更等に関する苦情相談は、次の相談窓口をご利用ください。



水沢信用金庫 みずしん相談室

貸付条件の変更等に関する苦情相談担当【企業支援課】

電話番号0197-23-5197(直通)

※受付時間は午前9時から午後5時までです。(当金庫の窓口休業日は除きます)

金融円滑化に係る取組み状況

(1) 中小企業・個人事業主の皆様への取組み

貸付の条件の変更等の申込みを受けた貸付債権の数及び額（債務者が中小企業者である場合）

(単位:件、百万円)

	平成27年3月末		平成28年3月末	
	件数	金額	件数	金額
貸付の条件の変更等の申込みを受けた貸付債権	2,138	34,162	2,842	40,575
うち、実行に係る貸付債権	2,456	33,503	2,795	39,908
うち、謝絶に係る貸付債権	16	178	16	178
うち、審査中の貸付債権	7	147	8	156
うち、取下げに係る貸付債権	23	332	23	332

(注)「謝絶」に係る貸付債権の金額・件数の中に債務者が破産手続きの申立中の事例に係る貸付債権の金額・件数が含まれています。

(2) 住宅ローンをご利用の皆様への取組み

貸付の条件の変更等の申込みを受けた貸付債権の数及び額（債務者が住宅資金借入者である場合）

(単位:件、百万円)

	平成27年3月末		平成28年3月末	
	件数	金額	件数	金額
貸付の条件の変更等の申込みを受けた貸付債権	31	323	31	323
うち、実行に係る貸付債権	29	313	29	313
うち、謝絶に係る貸付債権	0	0	0	0
うち、審査中の貸付債権	0	0	0	0
うち、取下げに係る貸付債権	2	9	2	9

中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取組みの状況

1. 中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取組み方針

[地域密着型金融推進計画]

1. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮
2. 地域の面的再生(*1)への積極的な参画
3. 地域やお客様に対する積極的な情報発信

を柱に具体的取組み策を掲げ推進し、地域金融機関として皆様のお役に立てるよう努めてまいりました。

(*1)地域の面的再生とは、複数の取組みが連携し広がりをもった面として地域全体の活性化、持続的な成長により再生することです。
具体的な取組みとしては、奥州市が策定した「奥州市中心市街地活性化基本計画」の各種事業に対して協力を行いました。

2. 中小企業の経営支援に関する態勢整備の状況

1. 本部融資部に経営支援の専門部署である企業支援課を設置し、営業店と協働して支援を行う態勢を整備しております。支援対象は常務会が特定した経営支援先を中心に、貸付条件の変更を行った先など多岐にわたります。
2. 支援対象先の状況において高度な支援が必要な場合は、専門家派遣制度を利用し、中小企業診断士、税理士などの助言を受けております。
3. 外部機関との連携については、中小企業再生支援協議会等と連携し、抜本的な事業再生に取り組んでおります。また、TKC東北会と「中小企業の経営力強化に向けた取組みに関する覚書」を締結し、中小企業の財務経営力・資金調達力の強化を支援しているほか、日本政策金融公庫と業務連携の覚書を締結し、地域密着型金融の機能強化に取り組んでおります。
4. 当金庫は中小企業経営力強化支援法における経営革新等支援機関(認定支援機関)として、経営改善支援に留まらず、創業・ものづくり補助金等申請の際は計画段階から関与し、支援しております。

3. 中小企業の経営支援に関する取組み状況

平成27年度は以下の取組みを行いました。

1. 創業・新規事業開拓の支援

- ・事業価値を見極める融資手法(不動産担保や個人保証に過度に依存しない融資)への取組みとして、無担保無保証の当金庫融資商品「ニュービジネスローン」の推進を図りました。
- ・「ニュービジネスローン」や奥州市・岩手県の制度融資を活用し、資金提供を図りました。平成27年度は20先158百万円の実績(内ニュービジネスローンは9先18百万円)となりました。
- ・平成26年度に続き、第3回目の当金庫主催「創業支援セミナー」(共催:奥州市、後援:奥州商工会議所、前沢商工会、岩手県信用保証協会、日本政策金融公庫)を開催しました。あわせて個別相談会も実施し、事業計画や資金調達等の相談にお応えしました。(セミナー参加12名、内個別相談9名)
- ・岩手県よろず支援拠点と連携し出張相談会を開催しました。創業希望者の相談に5件対応し、4先が創業することができました。

2. 経営改善・事業再生等の支援

- ・経営支援先として19先の企業を選定し、経営改善の支援を行いました。
- ・条件変更を行った先の内、重点管理先88先(平成27年度期首時点、経営支援先16先含む)を選定し、企業支援課と営業店がアフターフォローに取り組みました。
- ・認定支援機関として2件のものづくり補助金申請支援を行い、内1件が採択されました。
- ・中小企業再生支援協議会を利用して2先の経営改善計画策定支援を行い、既に計画策定が完了した先も含め、8先について金融機関連絡会議を開催しました。
- ・TKC東北会及びコンサルタント会社と連携し、認定支援機関による経営改善計画策定支援事業を、5先について取組み、内2先については計画策定致しました。
- ・岩手県よろず支援拠点と連携し、出張相談会を開催し、32先41件の相談にワンストップにて対応致しました。

3. ビジネスマッチ

- ・当金庫は地域の中小企業の販路拡大を図るため、ビジネスマッチに積極的に取り組んでおります。
「ビジネスマッチ東北 2015」に6社、「よい仕事おこしフェア」に1社、のべ7社が参加し商談等が活発に行われました。

4. 地域の活性化に関する取組み状況

地域活性化につながる多様なサービスの提供として、地域を担う若い世代への金融経済知識の普及活動に取り組んでおります。

平成27年度も、市内小中学生への「マネースクール」の実施や、市内高校生の「インターンシップ」受け入れ、商工会議所青年部が主催する「職場体験学習事業」へ協力いたしました。

- 詳しくは、当金庫ホームページをご覧ください。
<http://www.mizusawashinkin.co.jp/>

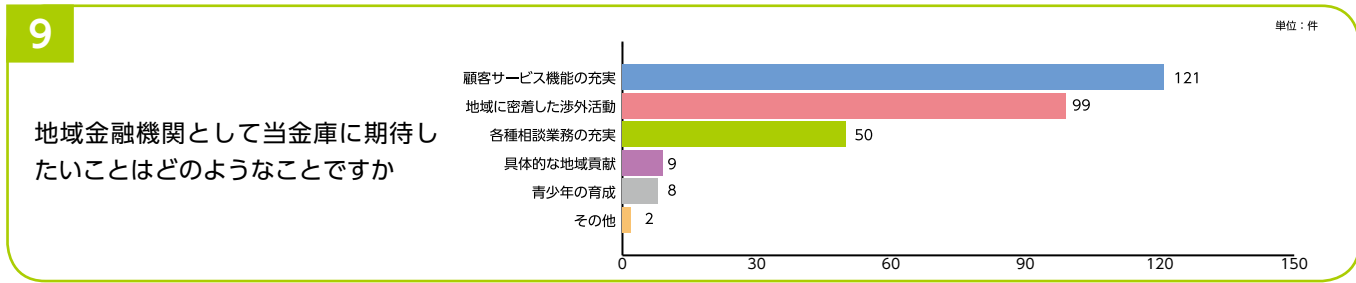
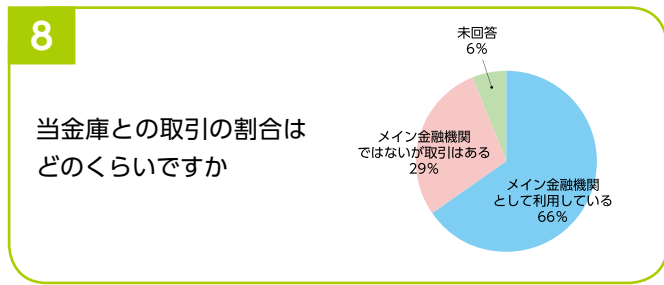
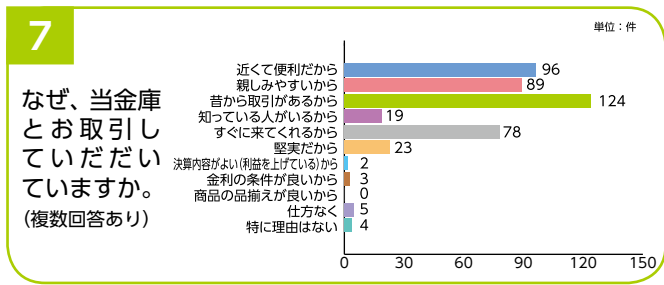
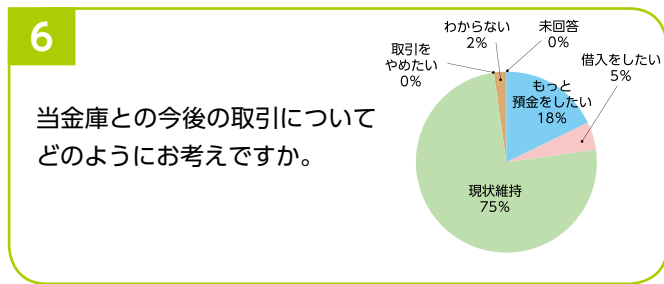
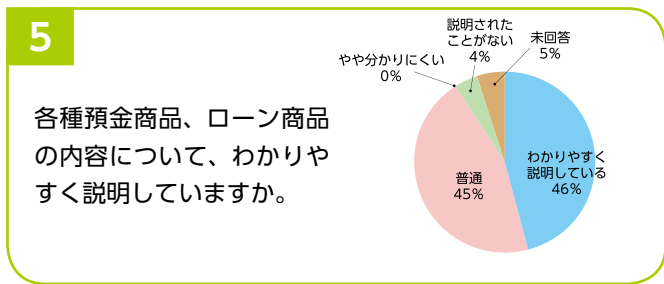
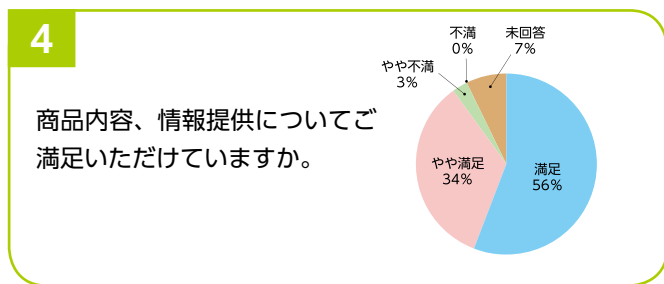
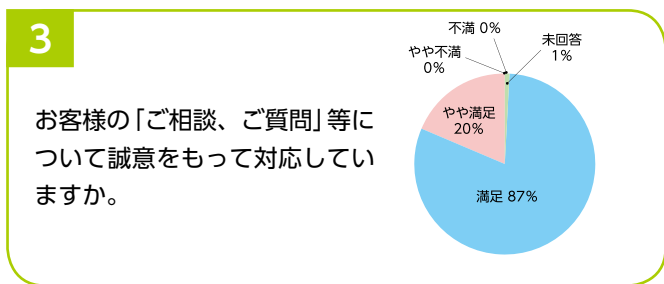
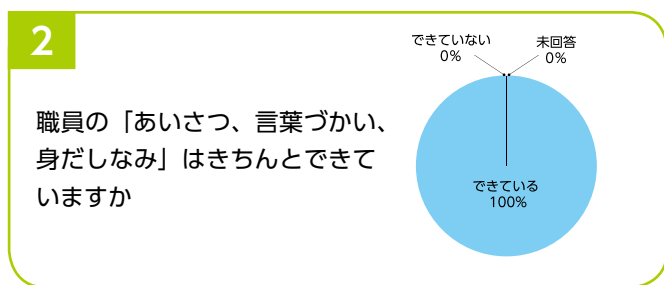
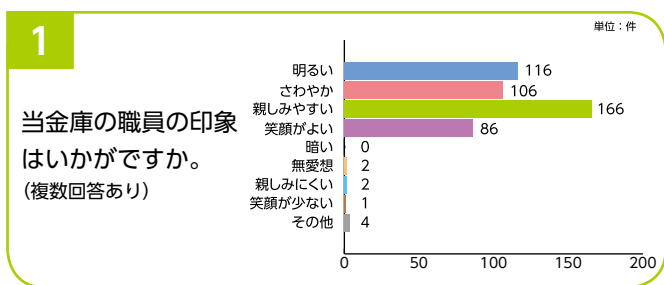
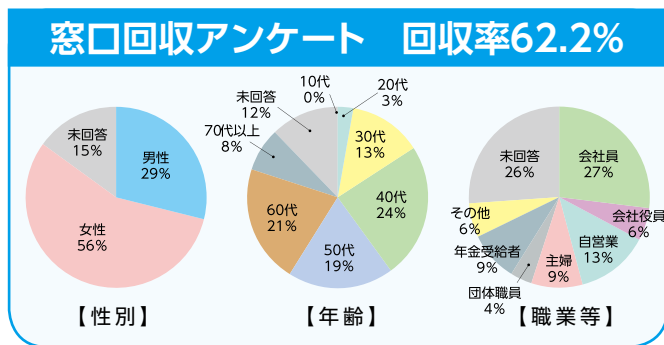
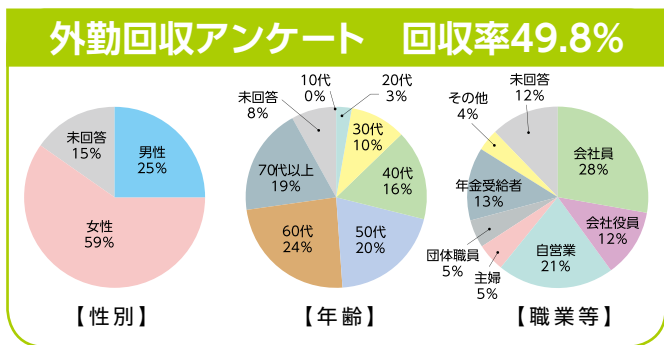


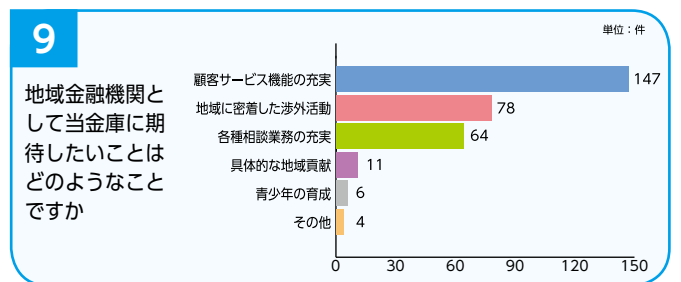
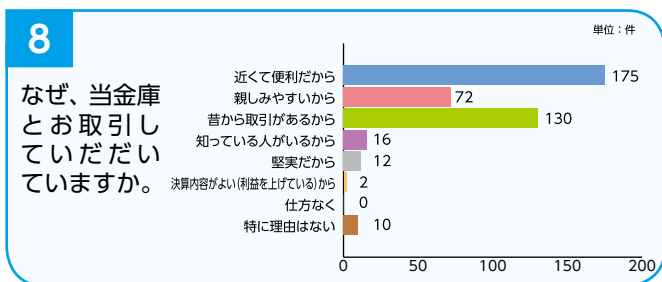
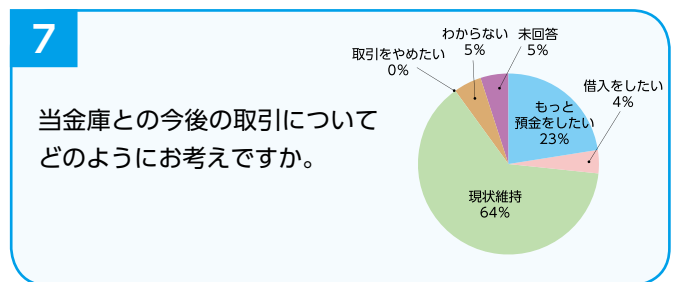
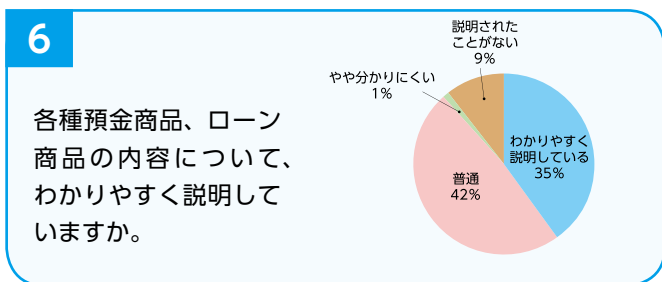
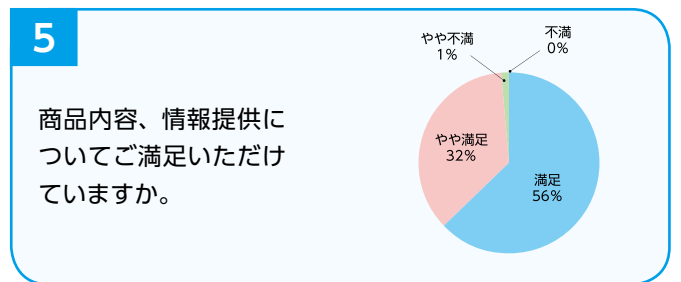
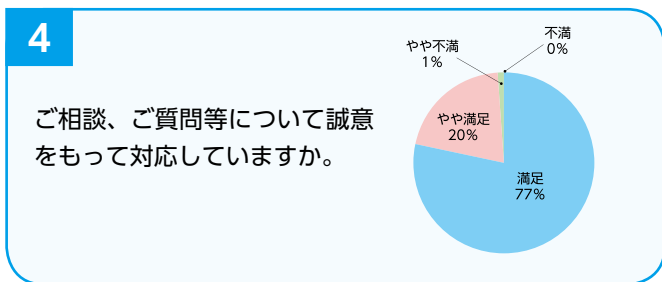
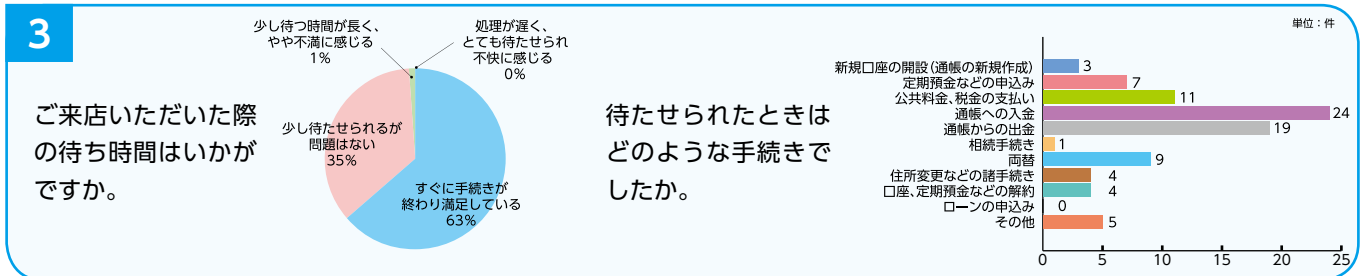
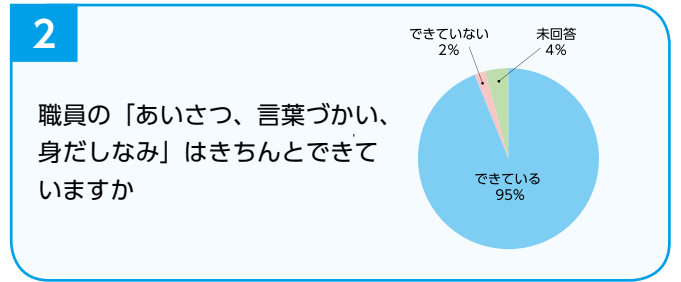
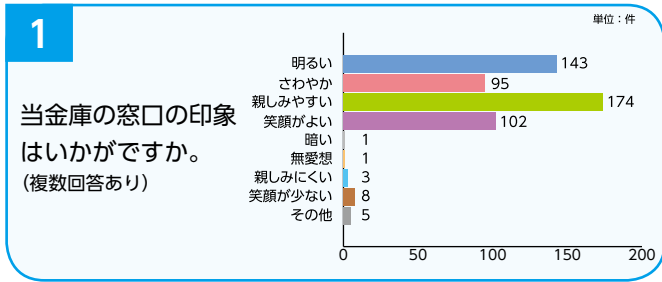
「お客様満足度」の向上に向けた取組みについて

水沢信用金庫では、お客様へのサービス向上を目指して、「お客様満足度」アンケートを実施させていただきました。

皆様からいただいた貴重なご意見を、今後の経営の参考とさせていただき、「お客様満足度」の向上に努めたいと考えております。

「お客様満足度」アンケートの実施内容は以下のとおりです。【実施期間：平成27年11月5日(木)～12月28日(月)】





「お客様アンケート」に基づく当金庫の取組みについて

1. 当金庫へのご意見・ご要望

項目	内容	件数
職員の対応等について	接客態度、商品説明など	45
店舗内外の環境	店舗立地・改装、駐車場収容台数、ATM台数など	10
商品・サービス	新商品の提供、サービスの多様化など	13
その他		12

2. 当金庫の取組み

- お客様のご要望にお応えし、休日ローン相談会を開催しております。
- ATMのご利用時間を延長いたしました。(全店：店舗内ATM 毎日8時～21時)
- 通帳の繰越がATMで可能になりました。
- お客様の経営、事業継承などを支援するため「創業支援セミナー、個別相談会」を昨年に引き続き開催いたしました。
- 環境に配慮した店舗づくりとして、照明等のLED化に取り組んでいます。

今後も「お客様の声」を真摯に受け止め、金融サービスの一層の向上に努めてまいります。

業務の種類

1. 預金及び定期積金の受入れ

2. 資金の貸付け及び手形の割引

3. 為替取引

4. 上記1～3の業務に付随する次に掲げる業務その他の業務

- (1) 債務の保証又は手形の引受け
- (2) 有価証券（(5)に規定する証書をもって表示される金銭債権に該当するもの及び短期社債等を除く。）の売買（有価証券関連デリバティブ取引に該当するものを除く。）又は有価証券関連デリバティブ取引（投資の目的をもってするものに限る。）
- (3) 有価証券の貸付け
- (4) 国債証券、地方債証券若しくは政府保証債券（以下「国債証券等」という。）の引受け（売出しの目的をもってするものを除く。）並びに当該引受けに係る国債証券等の募集の取扱い及びはね返り玉の買取り
- (5) 金銭債権の取得又は譲渡及びこれに付随する業務（除く商品投資受益権証書の取得・譲渡に係る付随業務）
- (6) 短期社債等の取得又は譲渡
- (7) 次に掲げる者の業務の代理
 (株)日本政策金融公庫・独立行政法人中小企業基盤整備機構・独立行政法人農林漁業信用基金
 独立行政法人福祉医療機構・日本酒造組合中央会・一般財団法人建設業振興基金
 一般社団法人しんきん保証基金・一般社団法人全国石油協会・独立行政法人住宅金融支援機構
 年金積立金管理運用独立行政法人・独立行政法人勤労者退職金共済機構・日本銀行
- (8) 次に掲げる者の業務の代理又は媒介（内閣総理大臣の定めるものに限る）
 金庫（信用金庫及び信用金庫連合会）
- (9) 国、地方公共団体、会社等の金銭の収納その他金銭に係る事務の取扱い
- (10) 有価証券、貴金属その他の物品の保護預り
- (11) 振替業
- (12) 両替

5. 国債証券、地方債証券、政府保証債券その他の有価証券について金融商品取引法により信用金庫が営むことができる業務（上記4により行う業務を除く。）

6. 法律により信用金庫が営むことのできる業務

- (ア) 保険業法（平成7年法律第105号）第275条第1項により行う保険募集
- (イ) 高齢者の居住の安定確保に関する法律（平成13年法律第26号）の定めるところにより、高齢者居住センターからの委託を受けて行う債務保証の申込の受付及び保証債務履行時の事務等（債務保証の決定及び求償権の管理回収業務を除く。）
- (ウ) 電子記録債権法（平成19年法律第102号）第58条第2項の定めるところにより、電子債権記録機関の委託を受けて行う電子債権記録業に係る業務

店舗一覽



店舗名 (店舗コード)	所在地	キャッシュサービスコーナー		
		取扱い	平日	土日祝日
本店 (001)	奥州市水沢区字日高西71番地1 TEL. 0197-23-5191	預入・支払・振込	8:00~21:00	8:00~21:00
前沢支店 (002)	奥州市前沢区駅東二丁目9番地3 TEL. 0197-56-5511	預入・支払・振込	8:00~21:00	8:00~21:00
江刺支店 (003)	奥州市江刺区川原町82番地 TEL. 0197-35-2163	預入・支払・振込	8:00~21:00	8:00~21:00
金ヶ崎支店 (004)	胆沢郡金ヶ崎町西根西地蔵野35番地1 TEL. 0197-44-5400	預入・支払・振込	8:00~21:00	8:00~21:00
原中支店 (005)	奥州市水沢区太日通り三丁目6番22号 TEL. 0197-24-6121	預入・支払・振込	8:00~21:00	8:00~21:00
羽田支店 (006)	奥州市水沢区羽田町宝生35番地16 TEL. 0197-25-5015	預入・支払・振込	8:00~21:00	8:00~21:00
南支店 (007)	奥州市水沢区西上野町10番4号 TEL. 0197-24-5126	預入・支払・振込	8:00~21:00	8:00~21:00
駅前支店 (008)	奥州市水沢区中町133番1 TEL. 0197-25-2662	預入・支払・振込	8:00~21:00	8:00~21:00
胆沢支店 (011)	奥州市胆沢区若柳字甘草13番地 TEL. 0197-46-4081	預入・支払・振込	8:00~21:00	8:00~21:00
東支店 (012)	奥州市水沢区佐倉河字前田24番地 TEL. 0197-22-5300	預入・支払・振込	8:00~21:00	8:00~21:00
あねたい支店 (013)	奥州市水沢区上姉体二丁目1番30 TEL. 0197-47-5070	預入・支払・振込	8:00~21:00	8:00~21:00

店舗外キャッシュサービスコーナー

設置場所	所在地	取扱い	平日	土日祝日
胆沢病院内	奥州市水沢区字龍ヶ馬場61	預入・支払・振込	8:00~19:00	8:00~19:00(土曜日のみ)
水沢病院内	奥州市水沢区大手町三丁目1	預入・支払・振込	8:00~19:00	8:00~19:00(土曜日のみ)
いわて生協コープ「アテルイ」内	奥州市水沢区佐倉河字東沖ノ目123	支払・振込	8:00~21:00	8:00~21:00
奥州市役所正面入口前	奥州市水沢区大手町一丁目1	支払・振込	8:00~19:00	8:00~19:00(土曜日のみ)
金ヶ崎町役場内	胆沢郡金ヶ崎町西根南町22-1	支払・振込	8:00~18:00	—
ジョイス水沢佐倉河店内	奥州市水沢区佐倉河字東柳の町10-1	支払・振込	10:00~21:00	10:00~21:00(土曜日) 9:00~21:00(日祝日)
ジョイス龍ヶ馬場店内	奥州市胆沢区小山字龍ヶ馬場48-1	支払・振込	10:00~21:00	10:00~21:00(土曜日) 9:00~21:00(日祝日)
江刺総合支所東口	奥州市江刺区大通り1-8	支払・振込	8:00~21:00	8:00~21:00
イオンスーパーセンター金ヶ崎店内	胆沢郡金ヶ崎町三ヶ尻荒巻165	支払・振込	8:00~21:00	8:00~21:00
XYZ(ジーズ)水沢店内	奥州市水沢区佐倉河字蟹沢31	預入・支払・振込	9:00~21:00	9:00~21:00
XYZ(ジーズ)水沢日高店内	奥州市水沢区字田小路92-2	預入・支払・振込	9:00~21:00	9:00~21:00

地域とのふれあい

信用金庫は、営業地域を限定しているからこそ実践できる親しみのサービスを提供しています。「Face to Face」を合言葉に、できるだけ大勢のお客様と接し、そして一人ひとりのお客様にきめ細かいサービスを提供できるよう努めています。

当金庫の役職員はこの地域に居住し、公私ともに皆様とお付き合いをさせていただいております。



清掃活動



【JR水沢駅周辺】

《6月15日の信用金庫の日》を契機に、平成19年6月より、毎月15日を「美化運動」の日とし、店舗周辺をはじめとする地域内の清掃活動に取り組んでおります。

また、お花見シーズン前には、全役職員が参加し、水沢公園の清掃活動を行っております。



【水沢公園】

地域行事への参加

各地域の「お祭り」に積極的に参加・お手伝いしております。

【水沢：ざっつあかまつり】(全役職員参加)



【江刺：甚句まつり】(江刺支店職員参加)



【前沢：春まつり】(前沢支店職員参加)



★ 地域振興事業等への協賛・後援

当金庫は、金融を通じての「経済的貢献」だけでなく、「社会的貢献」「文化的貢献」を行う社会的責任を有していると考え、地域振興事業等へ協賛・後援をしております。

【水沢公園桜まつり：ライトアップ】

・4月9日～5月5日 桜まつり開催期間中、当金庫では「桜のライトアップ」を行っております。



【岩手競馬水沢信用金庫杯・岩鷲賞】《当金庫は岩手競馬を応援しています。》

・7月5日「水沢信用金庫杯・岩鷲賞」を開催いたしました。
開催日には来場者プレゼントとして「先着500名様」に粗品を進呈いたしました。



【奥州水沢花火大会】

・当金庫では毎年、「奥州水沢花火大会」へ協賛しております。
今年度も、真夏の夜空に「大スターマイン」を打ち上げ、観覧者の皆様に喜ばれております。



【くくり雛まつり】

・城下町水沢、春の風物詩「くくり雛まつり」へ協賛しております。



教育、文化、スポーツ振興
への協賛・協力



理事長賞作品



【桜街道：絵画コンクール表彰】



教育長賞作品



【水沢信用金庫杯 ビーチボール大会】
(1月11日：Zアリーナにて開催)



【水沢信用金庫杯 野球大会】
(8月30日：水沢公園野球場にて開催)



【水沢信用金庫杯 パークゴルフ大会】
(9月9日：さくらの湯パークゴルフガーデンにて開催)

しんきん「ふれあい旅行」

・10月19日～10月23日
岩手県信用金庫協会主催 ～しんきんの翼～
「種子島・屋久島・瀬戸内海クルーズ5日間の旅」を実施いたしました。

(29名参加)

・3月15日～3月18日
しんきんレディース《定期積金ふれあい5》
「縁結びの神様『出雲大社』参拝『水木しげるさん』を偲び～世界遺産『姫路城』へ」の旅を実施いたしました。

(32名参加)



「種子島宇宙センター」前にて



「出雲大社」前にて

★ その他

水沢信用金庫 あねたい支店 新設オープン!

7月4日(月)姉体地区に

このたび、当金庫11番目の営業店として水沢区姉体地区に、「あねたい支店」を新設開店いたしました。店舗内には、地域コミュニティの憩いの場として広い交流ホール等を設置し、地域の皆様方が気兼ねなく交流できるスペースを確保いたしました。どうぞお気軽にご利用ください。

職員一同皆様のご来店を心よりお待ちしております。



所在地：奥州市水沢区上姉体2丁目1番30 電話番号：0197-47-5070 FAX番号：0197-28-1616
営業時間：窓口 平日…9:00～15:00 ATM 平日…8:00～21:00 土日祝日…8:00～21:00

・献血活動への協力

社会貢献の一環として、献血に協力しています。



・＜奥州市・金ケ崎町＞

地域見守り支援ネットワーク

「みまもりおーネット」に協力しています。

当金庫は「みまもりおーネット」活動に協力しています。

日常業務を通じ、高齢者等の「ちょっと気になる…」ということに気づいたときに、奥州市や金ケ崎町の関係機関へ連絡することで、高齢者等の事故、孤立防止、認知症の方の支援、消費者被害の防止、災害時における安否確認などの課題に、個人情報の保護に配慮しながら、地域の皆様とともに取り組んでいます。

お客様組織

営業店ごとに地域のお客様との交流を深める組織をつくり、積極的に活動をしています。

団体名	担当支店	団体名	担当支店
前信会	前沢支店	羽田信羽会	羽田支店
江信会	江刺支店	なんしん会	南支店
信金友の会	金ケ崎支店	胆信会	胆沢支店
原信会	原中支店	東信会	東支店

「安心してお取引いただくために」

電話やダイレクトメール、電子メール等による不正な振込請求、金銭を騙し取る悪質な詐欺事件(振り込め詐欺)や通帳、キャッシュカード、印鑑等の偽造・盗難による預金の不正な払出しが多数発生しています。

当金庫では、お客様に安心してお取引いただくために以下のような取組みを行っております。お客様が被害に遭われないための取組みであることをご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

振り込め詐欺・特殊詐欺の防止について

子供さんやお孫さんを装い、「交通事故の示談金」「借金の返済」等と言って、指定した金融機関の口座に現金を振込ませる「**オレオレ詐欺**」。ヤミ金融業者等による法外・強引な返済請求や、身に覚えのない利用料金や和解金等を請求し、指定した金融機関の口座に現金を振込ませる「**違法な取立、架空請求詐欺**」。金融機関等を装って「お金を貸します」といった内容のニセのダイレクトメール・携帯メール等を送りつけて、保証金や保険金名目で現金を振込ませる「**融資保証金詐欺**」。これらの被害を未然に防止するため、次のような対策を講じております。

- ・ATMを利用した現金での10万円を超えるお振込はご利用いただけません。現金での10万円を超えるお振込をお申し付けいただく場合は、窓口にて本人確認書類のご提示をお願いしております。
- ・ATMコーナーでの携帯電話の使用は、ご遠慮いただいております。携帯電話で通話をしながらATMの操作をしているお客様へは、振り込め詐欺被害防止の観点からお声を掛けさせていただくことがございます。
- ・高額な金額での振込、多額な預金の払出し等の取引の場合、お客様にその理由をご確認させていただいております。また、不審な理由・態様等の場合は、最寄りの警察署等へ「相談・通報」させていただきます。

お客様へ、おたずねします。あなたのお金を守るアンケートです。

- | | |
|-----------------------------|----------|
| ●振込(引出)を、突然、息子や孫から電話で頼まれた | はい ・ いいえ |
| ●息子や孫から「電話番号が変わった」と連絡があった | はい ・ いいえ |
| ●この振込(引出)は、誰にも相談しないで一人で決めた | はい ・ いいえ |
| ●金融商品のパンフレットが届き、名義貸しなどを頼まれた | はい ・ いいえ |
| ●電話で「あなたも共犯だ」「逮捕される」などと言われた | はい ・ いいえ |
| ●現金を、レターパックや宅配便等で送るように指示された | はい ・ いいえ |

警察からの指導に基づいて実施しています。岩手県警察・水沢信用金庫

キャッシュカードについて

盗難・偽造キャッシュカードによる不正払戻への対応のため、キャッシュカードによる1日あたりの払戻限度額を下記のとおりとさせていただいております。

現金払戻限度額	キャッシュカードによる振込限度額
100万円(1回あたり50万円迄)	200万円

上記限度額は、当金庫および提携金融機関ATMでの払戻の合計額です。

なお、限度額を超える現金の払戻、カードによる振込の際は、当金庫窓口にて、通帳と届出印鑑によりお手続きください。

※1日あたりの「現金払戻限度額」は、お客様のお申し出により、口座単位に当金庫所定の限度額の範囲内で任意に設定(増額・減額)いただけます。また、1日あたりの現金払戻限度回数も同様に任意に設定いただけます。ご希望のお客様は、窓口までお問い合わせください。

～ 盗難にご注意ください! ～

- ・キャッシュカードは、預金通帳やお届け印と同様に大切なものですので、厳重に管理してください。
- ・キャッシュカードを入れたお財布などを長時間お手元から放さないようご注意ください。車の中等に放置しないでください。
- ・万一、キャッシュカードが盗まれたり紛失した場合は、ただちに下記連絡先にご連絡ください。
- ・空き巣や車上盗難などの被害に遭われたときは、キャッシュカードが盗まれていなくても、磁気データがコピーされている可能性がありますので、念のため下記連絡先にご連絡ください。

盗難にあった・紛失したときは…

時間帯(24時間対応)	連絡先
平日の8時30分～17時30分迄の場合	お取引店へご連絡ください
休日および早朝・夜間の場合	「SSS監視センター」 0120-793-714(フリーダイヤル) 022-261-4811

～ 暗証番号のお取扱いにご注意ください! ～

- ・暗証番号は、他人に知られないよう、充分注意してください。
 - とくに、暗証番号をメモしないでください。また、暗証番号を推測される手掛かりとなるものは、キャッシュカードと一緒に保管しないでください。
 - ・生年月日、ご自宅・職場の電話番号、車のナンバー、住所の地番、その他第三者が容易に推測することができる番号などを暗証番号とすることは避けてください。
 - ・キャッシュカードの暗証番号を「貴重品ボックス」などの他のサービスを利用する際の暗証番号にして使うことは避けてください。
 - ・暗証番号は定期的に変更することをお奨めいたします。(ATMで変更可能です。)
 - ・暗証番号は、キャッシュカード毎、または各お取引金融機関毎に別々にすることをお奨めいたします。
 - ・ATMなどを利用されるときは、暗証番号を後ろから盗み見られたいしないようご注意ください。
 - ・信用金庫職員、警察官などが店舗外や電話などでキャッシュカードの暗証番号、口座番号をお尋ねしたり、キャッシュカードをお預かりすることはありません!不審な点がある場合には、直ちに当金庫にご照会ください。
 - ・こまめに通帳記帳をするなど、預金残高をご確認ください。
- 残高、取引明細確認(テレホンバンキング) → ☎0120-019-751(無料です。)

「振り込め詐欺」犯罪を未然防止



「振り込め詐欺」を未然に防いだとして、前沢支店・東支店の2店舗に感謝状が贈呈されました。当金庫は、これからも金融犯罪の未然防止に努めてまいります。

各種ご案内

預金商品のご案内

種類	しくみ・特色	期間	お預入額
当座預金	ご商売のお支払で小切手、手形をご利用いただける預金です。	出し入れ自由	1円以上
普通預金	いつでも必要なときに出し入れできます。給与・年金等のお受取、公共料金の自動支払、カードによる払出等お財布代わりにご利用できます。	出し入れ自由	1円以上
総合口座	一冊の通帳に「貯める」「受け取る」「支払う」「借りる」をセットした家計簿代わりの預金です。必要なときには自動融資をご利用いただけます。	—	—
決済用普通預金	預金保険法により全額保護される無利息の普通預金です。	出し入れ自由	1円以上
スーパー定期	最低預入金額100円からと、幅広いお客様にご利用いただける定期預金です。個人で3年以上のものは半年毎の複利計算で有利です。	1ヵ月以上 5年以内	100円以上
大定期預金	預入時の金融情勢に応じて有利な金利を設定した定期預金です。	1ヵ月以上 5年以内	1,000万円以上
ふれあい定期預金	当金庫で年金をお受取りになっているお客様と、新たに年金受取りを開始されるお客様を対象に金利を優遇した「スーパー定期」です。	1年	100円以上 150万円以下
スーパー積金	暮らしの目標に向かって毎月一定額を積み立てる無理のない資金作りの預金です。予定の時期に満期日と目標額を合わせてお始め下さい。	6ヵ月以上 5年以内	100円以上
ふれあい5積金	スーパー積金5口を1セットとした積金で、毎年1口が満期となります。ご契約いただいたお客様を対象に旅の情報をご提供いたします。	5年	10,000円以上
消費税納付応援積金	消費税を納付するお客様に役に立つ、金利優遇の自動積立預金です。	6ヵ月以上 2年以内	10,000円以上 (掛込総額300万円以内)
財形預金	毎月の給与、ボーナスから天引きで無理なく財産づくりができます。住宅取得のための住宅財形および老後のための財形年金は、合計550万円まで非課税です。	一般3年以上 住宅・年金5年以上	1,000円以上

融資商品のご案内

個人向け	特色	ご融資金額	ご利用期間
個人ローン	結婚、旅行、家電購入等、お使いみち自由でご利用いただけます。 (一社)しんきん保証基金保証)	500万円以内	10年以内
シニアライフローン	当金庫に年金受取口座をお持ちの方、または年金受取口座指定のお手続きをされた方は、リフォーム、旅行等お使いみち自由でご利用いただけます。(一社)しんきん保証基金保証)	100万円以内	10年以内
マイカーローン	マイカー購入・免許の取得・車検費用等にご利用いただけます。	マイカーローン (一社)しんきん保証基金保証)	1,000万円以内 10年以内
		マイカーローン モア (株)オリエントコーポレーション保証)	500万円以内 8年以内 (+返済据置最長6ヵ月)
教育ローン	大学等のご入学資金や授業料のお支払いにご利用いただけます。	しんきん教育ローン (一社)しんきん保証基金保証)	1,000万円以内 16年以内
		教育カードローン (一社)しんきん保証基金保証)	300万円以内 5年以内
		学資応援団 (株)オリエントコーポレーション保証)	500万円以内 3年 (原則自動更新)
カードローン	急な出費にお役立てください。	しんきんカードローン (一社)しんきん保証基金保証)	50万円以内 1年～3年 (原則自動更新)
		しんきんきゃっする (信金ギャランティ(株)保証)	900万円以内 3年 (原則自動更新)
住宅ローン	マイホームの新築、購入、増改築等にご利用いただけます。お借入時、当初3年間、5年間または10年間固定金利でご利用いただけます。	(一社)しんきん保証基金保証)	8,000万円以内 35年以内
		(全国保証(株)保証)	10,000万円以内
フリーローン	結婚、旅行、家電購入等、お使いみち自由で、事業資金にもご利用いただけます。	ベストサポート500 (株)フレディセゾン保証)	500万円以内 10年以内
			300万円以内 7年以内
事業者向け	特色	ご融資金額	ご利用期間
一般のご融資	手形割引・・・一般商業手形の割引をいたします。 手形貸付・・・仕入れ資金などの短期運転資金をご融資いたします。 証書貸付・・・設備資金など長期の資金需要にお応えいたします。 当座貸越・・・約定金額まで当座決済資金をご融資いたします。	—	—
事業者カードローン	事業資金をカードでご利用いただける便利なローンです。(若手県信用保証協会保証)	2,000万円以内	1年、2年(更新可)
制度融資	岩手県、奥州市などの制度融資を積極的に取扱っております。	—	—
ニュービジネスローン	創業・新規事業開始時等の資金需要にお応えいたします。	500万円以内	運転5年以内 設備7年以内
メンバーズローン	商工会議所、商工会の会員の方がご利用いただける無担保ローンです。	1,000万円以内	5年以内
	岩手県法人会の会員の方がご利用いただける無担保ローンです。	1,000万円以内	運転5年以内 設備7年以内
岩手競馬サポートローン	岩手競馬関係に従事している方の運転資金需要にお応えいたします。	500万円以内	2年以内
代理貸付	信金中央金庫・日本政策金融公庫などのご融資は、当金庫窓口にご相談ください。	—	—



サービス業務のご案内

	内 容
しんきん キャッシュカード サービス	当金庫のキャッシュカードは、全国の信用金庫のATMコーナーで、ご入金・お引き出し・お振込みができます。ゆうちょ銀行ではご入金・お引き出しが、全国の銀行およびコンビニ等ではお引き出しができます。 ※暗証番号は、当金庫のATMで、いつでも何回でも変更ができます。 ※一日あたりの現金払出し可能額を100万円までとさせていただきます。
A T M 振 込	ATMを利用し、キャッシュカードや現金で、全国の金融機関へのお振込みができます。 ※振込手数料が窓口扱いよりお得です。
給 与 の 自 動 受 取 り	給与・ボーナスの支給日に、ご指定の預金口座に振込まれます。当金庫へ給与振込を指定された場合、当金庫ATMをご利用の際の時間外利用手数料が、平日・休日にかかわらず終日無料となります。
年 金 の 自 動 受 取 り	各種年金がお受取日にご指定の預金口座に振込まれます。当金庫へ年金振込を指定された場合、当金庫ATMをご利用の際の時間外利用手数料が、平日・休日にかかわらず終日無料となります。
振 込 ・ 代 金 取 立	当金庫本支店および全国の金融機関へ迅速にお振込み、手形・小切手等のお取立ができます。
自 動 支 払 い	各種公共料金、税金、保険料、学費、各種クレジットなどを、ご指定の預金口座から自動支払いいたします。
窓 口 収 納	各種税金、国民年金、社会保険料などの公金、各種公共料金、各種クレジットなどの払込みができます。
自 動 振 込 サ ー ビ ス	毎月一定額（ボーナス月等は増額も可能）を、ご指定の日にご指定の預金口座にお振込みいたします。1度のお手続きでご利用いただけ、仕送りなどにも安心・便利です。
個人インターネットバンキング モバイルバンキング	インターネット接続のパソコン・スマートフォンや携帯電話から、残高・入出金明細照会、振込・振替、および税金・各種料金の払込み（ペイジーマーク）ができます。
法人インターネットバンキング	インターネット接続のパソコンから、各種照会、振込、総合振込、給与振込、口座振替の利用が可能な、法人・個人事業主様向けのサービスです。
ペイジー口座振替受付サービス ネット口座振替受付サービス	キャッシュカード発行済の普通預金口座、総合口座をお持ちの個人のお客様の「口座振替の申込」が、企業、百貨店、保険代理店等に設置されている端末、または、パソコンや携帯電話・スマートフォンから行えます。
F B ・ H B ・ A N S E R	お客様のパソコンやFAXなどと当金庫を電話回線で接続し、残高・入出金明細照会や振込・振替ができます。
ク レ ジ ッ ト カ ー ド 提 携	しんきんVISAカード・しんきんJCBカードの取扱いを行っております。日本全国はもとより、世界の有名店でのショッピングにご利用いただけます。
デ ビ ッ ト カ ー ド サ ー ビ ス	全国のJ-Debit加盟店やローソンでお買い物やご飲食の際に、当金庫のキャッシュカードでご利用代金を預金口座から即時決済できます。
ス ポ ー ツ 振 興 く じ (toto) 当 選 金 払 戻 業 務	スポーツ振興くじ(toto)の当選金の払い戻しを行っております。 (取扱店:本店、江刺支店)
しんきん電子記録債権サービス	手形の代替や売掛債権の流動化を図り、事業者の資金調達の円滑化等が期待されている新しい決済サービスです。
貸 金 庫	重要な書類などを安全に保管し、盗難、災害などの不慮の事故からお守りします。 (設置店:本店)
夜 間 金 庫	営業終了後や休日に売上金等を安心してお預けいただけます。
国 債 窓 口 販 売	個人向け国債の取扱いを行っております。
生 命 保 険 窓 口 販 売	個人年金保険および学資保険の取扱いを行っております。 お客様のライフプランに合わせた資産形成をお手伝いいたします。
損 害 保 険 窓 口 販 売	住宅ローンご利用のお客様に対して、マイホームの夢と安心をサポートする長期火災保険「しんきんグッドすまいる」の取扱いを行っております。また、もしもの時に安心、ケガに備える「しんきんの標準傷害保険」の取扱いを行っております。

※各業務、各保険の詳細な内容等につきましては、営業店の窓口までお問い合わせください。

各種手数料一覧

為替手数料

振込手数料 (1件につき)

種 類	振込金額	当金庫あて		他金融機関	
		同一店内	他支店		
ATM 振込	キャッシュカード使用の場合 (※)	3万円未満	無 料	108円	324円
		3万円以上	無 料	216円	540円
	現 金 の 場 合	3万円未満	無 料	108円	432円
		3万円以上	無 料	216円	648円
個人インターネットバンキング テレホンバンキング	3万円未満	無 料	108円	324円	
	3万円以上	無 料	216円	540円	
窓 口 振 込 (総 合 振 込 を 含 む)	3万円未満	108円	216円	540円	
	3万円以上	324円	432円	756円	
自 動 振 込 サ ー ビ ス	3万円未満	無 料	216円	540円	
	3万円以上	無 料	432円	756円	
法人インターネットバンキング F B ・ H B 振 込 サ ー ビ ス F D 交 換 方 式	3万円未満	無 料	108円	432円	
	3万円以上	無 料	216円	648円	

※ATM 振込は、他金融機関のカードおよび取扱時間帯によりATM 利用手数料が必要となります。

その他の手数料 (1件または1通につき)

種 類	当店分	当金庫他支店あて	他金融機関		
取 立 手 数 料	同一交換所内(当所) 手 形	無 料	216円	216円	
	同一交換所内(当所) 小 切 手	無 料	無 料	216円	
	同一交換所 以外(他所)	普通扱い 手形・小切手	—	432円	648円
		至急扱い 手形・小切手	—	—	864円
振 込 ・ 代 金 取 立 組 戻 料					
不 渡 手 形 返 却 手 数 料				648円	
取 立 手 形 店 頭 呈 示 料					
他 金 融 機 関 ・ 当 庫 他 支 店 「 振 込 」 訂 正 料				540円	
他 金 融 機 関 「 予 約 振 込 」 取 消 料				324円	

ATM 利用手数料

ご利用日時	キャッシュカードの種類		
	全国のしんきんキャッシュカード	ゆうちょ銀行カード 他金融機関のカード	
平 日	8:00~ 8:45	108円	216円
	8:45~18:00	無 料	108円
	18:00~21:00	108円	216円
土 曜 ・ 日 曜 ・ 祝 日	8:00~21:00	108円	216円

※当金庫キャッシュカードでの入金取引は無料です。

※給与受取り・年金受取り口座のキャッシュカードで当金庫ATMをご利用の場合、時間外利用手数料が平日・休日にかかわらず終日無料となります。

※お取扱時間は、当金庫の最大稼働時間と表示しております。当金庫以外のカードでのご利用可能時間につきましては、口座をお持ちの金融機関またはクレジット会社にお問い合わせください。

両替手数料

合 計 枚 数	手数料
100枚以下	無 料
101枚~500枚	216円
501枚~1,000枚	324円
1,001枚~2,000枚	540円
2,001枚以上	540円+ 1千枚毎に324円を加算

※両替枚数は「お客様のご持参枚数合計」または「お客様への交付枚数合計」のいずれか多いほうの枚数とさせていただきます。

貸金庫手数料 (使用料)

種 類	高さ×幅×奥	手数料 (6ヵ月間)
第1種	56×248×540	4,536円
第2種	75×248×540	5,184円
第3種	150×248×540	7,776円
第4種	300×248×540	12,960円

夜間金庫手数料 (使用料)

	手数料
1ヵ月間	3,240円



融資手数料

繰上げ償還・完済等手数料(証書貸付)

種 類	手数料
[固定金利選択型住宅ローン] (特約期間内)	
一部繰上げ償還(H21.6.8以降の取扱が対象)	21,600円
全部繰上げ償還(H21.6.8以降の取扱が対象)	32,400円
[上記以外]	
一部繰上げ償還	5,400円
全部繰上げ償還	
[条件変更手数料]	5,400円

取扱手数料

種 類	手数料
住宅ローン	32,400円
全国保証(株)付住宅ローン(不動産担保手数料含む)	54,000円

各種証明書発行手数料

種 類	手数料
融資証明書	5,400円
融資残高証明書(1通)	216円

不動産担保取扱手数料

種 類	手数料
[新規の場合]	
住宅ローンの担保権	
10百万円未満	10,800円
10百万円以上	21,600円
住宅ローン以外の担保権	
10百万円未満	5,400円
10百万円以上1億円未満	10,800円
1億円以上2億円未満	21,600円
2億円以上	32,400円
[変更の場合]	
住宅ローン	5,400円
住宅ローン以外	10,800円

その他手数料

種 類	手数料
債務保証料	1%または2,160円のいずれか高い金額(ただし、保証額の4%以内)
手形・証書貸付用紙代	10円

その他主な手数料

種 類	手 数 料	
預金残高証明書発行手数料(1通)	216円	
通帳・証書再発行(1冊・1枚) *注	1,080円	
キャッシュカード再発行(1枚) *注	1,080円	
個人情報開示手数料(郵送料別途)	648円	
当座小切手用紙代(1冊)	648円	
約束手形用紙代(1冊)	432円	
マル専口座開設手数料	3,240円	
マル専手形用紙代(1枚)	540円	
個人インターネットバンキング基本料(月額)	無 料	
法人インターネットバンキング基本料(月額)	オンライン(照会・振込・振替)のみ利用	1,080円
	総合振込・給与振込・口座振替のデータ伝送も全て利用	2,160円

*注 名義変更に伴う再発行については無料となります。

※この一覧に記載した手数料金額には消費税が含まれています。



金庫の事業の運営に関する事項

法令等遵守（コンプライアンス）の取組み

当金庫は会員制度に基づく協同組織金融機関として、高い公共性と地域社会の発展に貢献するという重大な社会的責任と使命を十分に認識し、金融取引における法令、ルール、社会的規範を遵守し、健全、堅実な業務運営に努めております。

組織体制として、役員・本部各部及び営業店全店のコンプライアンス担当者によるコンプライアンス委員会を設置し、コンプライアンス態勢の整備や遵守状況の把握に努めております。

また、基本理念として「水沢信用金庫行動綱領」を、具体的な手引書として「コンプライアンスマニュアル」を策定、全役職員に配布し、一人ひとりが法令や社会的規範などのルールを厳正に遵守し、そして責任ある健全な業務遂行に努めるよう周知徹底を図っております。

当金庫は、今後も、実施計画書である「コンプライアンス・プログラム」の内容を継続的に見直すとともに、関連部門間の連携及び役職員に対する教育を強化し、全役職員一丸となってコンプライアンスの強化に取り組んでまいります。

■ ■ 水沢信用金庫行動綱領 ■ ■

〈信用金庫の社会的使命と公共性の自覚と責任〉

1. 信用金庫のもつ社会的責任と公共的使命を常に自覚し、責任ある健全な業務運営の遂行に努める。

〈質の高い金融等サービスの提供と地域社会発展への貢献〉

2. 経済活動を支えるインフラとしての機能はもとより、創意と工夫を活かし、お客様のニーズに応えるとともに、セキュリティレベルの向上や災害時の業務継続確保などお客様の利益の適切な保護にも十分配慮した質の高い金融および非金融サービスの提供等を通じて、地域経済・地域社会の発展に貢献する。

〈法令やルールの厳格な遵守〉

3. あらゆる法令やルールを厳格に遵守し、社会的規範に決してもとることのない、誠実かつ公正な業務運営を遂行する。

〈地域社会とのコミュニケーション〉

4. 経営等の情報の積極的かつ公正な開示をはじめとして、広く地域社会とのコミュニケーションの充実を図る。

〈従業員の人権の尊重等〉

5. 従業員の人権、個性を尊重するとともに、安全で働きやすい環境を確保する。

〈環境問題への取組み〉

6. 資源の効率的な利用や廃棄物の削減を実践するとともに、環境保全に寄与する金融サービスを提供するなど、環境問題に積極的に取り組む。

〈社会貢献活動への取組み〉

7. 信用金庫が社会の中においてこそ存続・発展し得る存在であることを自覚し、社会とともに歩む「良き企業市民」として、積極的に社会貢献活動に取り組む。

〈反社会的勢力との関係遮断〉

8. 社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力は、これを断固として排除し、関係遮断を徹底する。

以上

個人情報保護について

当金庫は、個人情報の適切な保護と利用を図るために、個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号）および金融分野における個人情報保護に関するガイドライン、その他の関係法令等を遵守するとともに、その継続的な改善に努めます。また、個人情報の機密性・正確性の確保に努めます。

当金庫では、お客様の個人情報に関する事項について、店頭のパスターやホームページへの掲載等により、その利用目的等を個人情報保護宣言（プライバシーポリシー）として公表しております。

顧客保護等管理方針について

当金庫は、お客様の自由な意思を尊重し、その資産・情報および正当な利益を保護するため、以下に定める事項を誓約します。

1. お客様との取引に際しましては、法令等に従って金融商品の説明および情報提供を適切かつ十分に行います。
2. お客様からのご意見または苦情等につきましては、公正・迅速・誠実に対応し、お客様のご理解と信頼を得られるよう努めるとともに、お客様の正当な利益が保護されるよう努めます。
3. お客様に関する情報につきましては、法令等に従って適切に取得し、法令等で定める場合を除き、利用目的の範囲を超えた取扱いやお客様の同意を得ることなく外部への提供を行ないません。また、お客様の情報を正確に保つよう努めるとともに、情報への不正なアクセスや情報の流出・紛失等を防止するため適切な措置を講じることなどにより、安全に管理します。
4. お客様との取引に関連して、わたしたちの業務を外部に委託する場合は、お客様の情報やその他の利益を保護するために、委託先を適切に管理します。

利益相反管理方針について

当金庫は、信用金庫法および金融商品取引法等を踏まえ、お客様との取引にあたり、本方針および当金庫が定める庫内規則に基づき、お客様の利益が不当に害されるおそれのある取引を適切に管理（以下「利益相反管理」といいます。）し、もってお客様の利益を保護するとともに、お客様からの信頼を向上させるため、次の事項を遵守いたします。

1. 当金庫は、当金庫がお客様と行う取引を対象として利益相反管理を行います。
2. 当金庫は、以下に定める取引を利益相反管理の対象とします。
 - (1) 次に掲げる取引のうち、お客様の利益が不当に害されるおそれのある取引
 - ①当金庫が契約等に基づく関係を有するお客様と行う取引
 - ②当金庫が契約等に基づく関係を有するお客様と対立または競合する相手と行う取引
 - ③当金庫が契約等に基づく関係を有するお客様から得た情報を不当に利用して行う取引
 - (2) ①から③のほかお客様の利益が不当に害されるおそれのある取引
3. 当金庫は、利益相反管理の対象となる取引について、次に掲げる方法その他の方法を選択し、またこれらを組み合わせることにより管理します。
 - ①対象取引またはお客様との取引の条件または方法を変更する方法
 - ②対象取引またはお客様との取引を中止する方法
 - ③対象取引に伴い、お客様の利益が不当に害されるおそれがあることについて、お客様に適切に開示する方法
4. 当金庫は、営業部門から独立した管理部署の設置および責任者の配置を行い、利益相反のおそれのある取引の特定および利益相反管理を一元的に行います。
また、当金庫は、利益相反管理について定められた法令および庫内規則等を遵守するため、役職員等を対象に教育・研修等を行います。
5. 当金庫は、利益相反管理態勢の適切性および有効性について定期的に検証します。

反社会的勢力に対する基本方針について

当金庫は、社会の秩序や安全に脅威を与え、健全な経済・社会の発展を妨げる反社会的勢力との関係を遮断するため、以下のとおり「反社会的勢力に対する基本方針」を定め、これを遵守します。

1. 当金庫は、反社会的勢力との取引を含めた関係を遮断し、不当要求に対しては断固として拒絶します。
2. 当金庫は、反社会的勢力による不当要求に対し、職員の安全を確保しつつ組織として対応し、迅速な問題解決に努めます。
3. 当金庫は、反社会的勢力に対して資金提供、不適切・異例な取引および便宜供与は行いません。
4. 当金庫は、反社会的勢力による不当要求に備えて、平素から警察、暴力団追放推進センター、弁護士などの外部専門機関と緊密な連携関係を構築します。
5. 当金庫は、反社会的勢力による不当要求に対しては、民事と刑事の両面から法的対抗措置を講じる等、断固たる態度で対応します。

金融商品・保険商品のご提案にあたって

金融商品に係る勧誘方針

当金庫は、「金融商品の販売等に関する法律」に基づき、金融商品の販売等に際しては、次の事項を遵守し、勧誘の適正の確保を図ることとします。

1. 当金庫は、お客様の知識、経験、財産の状況及び当該金融商品の販売に係る契約を締結する目的に照らして、適正な情報の提供と商品説明をいたします。
2. 金融商品の選択・購入は、お客様ご自身の判断によってお決めいただきます。その際、当金庫は、お客様に適正な判断をしていただくために、当該金融商品の重要事項について説明をいたします。
3. 当金庫は、誠実・公正な勧誘を心掛け、お客様に対し事実と異なる説明をしたり、誤解を招くことのないよう、研修等を通じて役職員の知識の向上に努めます。
4. 当金庫は、お客様にとって不都合な時間帯や迷惑な場所での勧誘は行いません。
5. 金融商品の販売等に係る勧誘についてご意見やお気づきの点等がございましたら、お近くの窓口までお問い合わせください。

保険募集指針

当金庫は、以下の「保険募集指針」に基づき、適正な保険募集に努めてまいります。

- 当金庫は、保険業法をはじめとする関係法令等を遵守いたします。万一、法令等に反する行為によりお客様に損害を与えてしまった場合には、募集代理店として販売責任を負います。
- 当金庫は、お客様に引受保険会社名をお知らせするとともに、保険契約を引受け、保険金等をお支払いするのは保険会社であること、その他引受保険会社が破たんした場合等の保険契約に係るリスクについて適切な説明を行います。
- 当金庫は、取扱い保険商品の中からお客様が適切に商品をお選びいただけるように情報を提供いたします。
- 当金庫が取扱う一部の保険商品につきましては、法令等により以下のとおりご加入いただけるお客様の範囲や保険金額等に制限が課せられています。
 - (1) 保険契約者・被保険者になる方が下記のいずれかに該当する場合には、当金庫の会員の方を除き、一部の保険商品をお取扱いできません。

- ①当金庫から事業性資金の融資を受けている法人・その代表者・個人事業主の方（以下、総称して「融資先法人等」といいます）
- ②従業員数が20名以下の「融資先法人等」の従業員・役員の方

- (2) 「上記(1)に該当する当金庫の会員の方」「従業員数が21名以上の融資先法人等の従業員・役員の方」を保険契約者とする一部の保険商品の契約につきましては、保険契約者一人あたりの通算保険金額その他の給付金合計額（以下「保険金額等」といいます）を、次の金額以下に限定させていただきます。

- ・生存または死亡に関する保険金額等：1,000万円
- ・疾病診断、要介護、入院、手術等に関する保険金額等
 - ①診断等給付金（一時金形式）：1保険事故につき100万円
 - ②診断等給付金（年金形式）：月額換算5万円
 - ③疾病入院給付金：日額5千円【特定の疾病に限られる保険は1万円】※合計1万円
 - ④疾病手術等給付金：1保険事故につき20万円【特定の疾病に限られる保険は40万円】※合計40万円

- 当金庫は、ご契約いただいた保険契約の内容や各種手続き方法に関するご照会、お客様からの苦情・ご相談等の契約締結後の業務にも適切に対応いたします。

なお、ご相談内容によりましては、引受保険会社所定の連絡窓口へご案内、または保険会社と連携してご対応させていただきます。
- 当金庫は、保険募集時の面談内容等を記録し、保険期間が終了するまで適切に管理いたします。また、お客様から寄せられた苦情・ご相談等の内容は記録し、適切に管理いたします。

保険契約に関する苦情、ご相談等は、取扱営業店または下記にて承ります。
水沢信用金庫総務部 電話番号：0197-23-2498
受付時間：当金庫営業日の午前9時～午後5時

リスク管理体制

内部管理基本方針

当金庫は信用金庫法第36条第5項第5号および同法施行規則第23条の規定に基づき、業務の健全性と適切性を確保するため「内部管理基本方針」を定めております。

1. 理事及び職員の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制
2. 理事の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制
3. 損失の危険の管理に関する規程その他の体制
4. 理事の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制
5. 監事とその職務を補助すべき職員を置くことを求めた場合における当該職員に関する事項
6. 監事の職務を補助すべき職員の理事からの独立性及び当該職員に対する指示の実効性の確保に関する事項
7. 理事及び職員が監事に報告をするための体制その他の監事への報告に関する体制
8. 監事への報告をした者が当該報告をしたことを理由として不利な取扱いを受けないことを確保するための体制
9. 監事の職務の執行について生ずる費用の前払又は償還の手続その他の当該職務の執行について生じる費用又は債務の処理に係る方針に関する事項
10. その他監事の監査が実効的に行われることを確保するための体制

統合的リスク管理

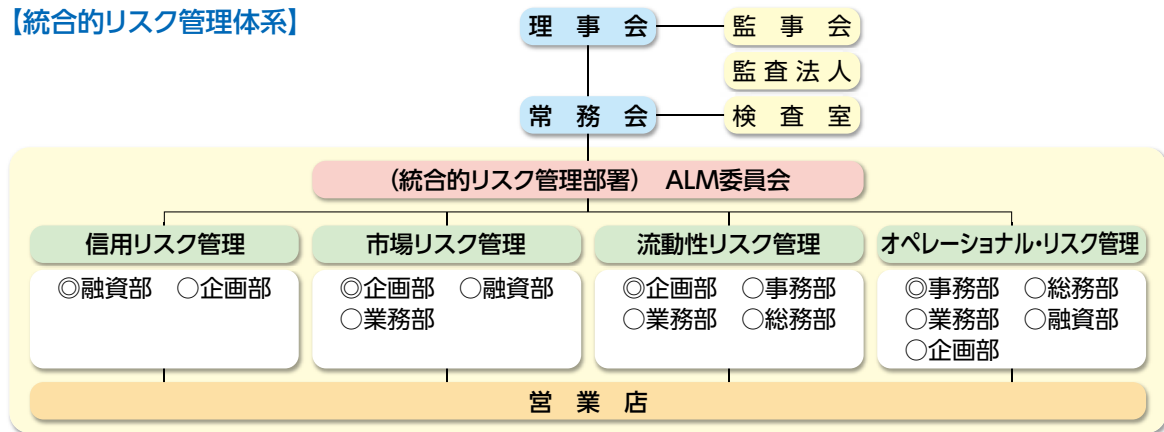
金融機関業務の多様化に伴い、当金庫の直面するリスクも一段と複雑化してきております。こうした環境下、お客様に安心してお取引いただくためには各種リスクの所在の認識と適切な管理により、経営の健全性と安定性を確保することが大変重要となります。

当金庫は、リスク管理態勢の確立を経営の最重要課題の一つと位置付け、リスク管理に関する基本事項を「統合的リスク管理方針」として策定しております。また、「統合的リスク管理規程」において当金庫が晒されている各種リスクの計測、管理手法を規定しております。

統合的リスク管理とは、当金庫を全体的な観点からリスクの総和をとらえ、できるだけ計量化するものです。統合的な管理手法である「リスク資本」については、①信用リスク、②流動性リスク、③市場リスク、④オペレーショナル・リスク等の各リスク・カテゴリーに関してのリスク量の計測を行い、当金庫全体のリスク量をモニターすることにより、経営体力と各種リスク量の状況を統合的に管理しています。

統合的リスク管理部署は経営陣を含む本部各部長で構成されるALM委員会が主管し、それぞれのリスク・カテゴリー毎に適切なリスク限度枠の設定等の審議を行ない、常務会に付議・報告する態勢としております。

【統合的リスク管理体系】



※◎印は各リスク部門の主管部署

信用リスク

信用リスクとは、貸出等を行っている取引先の財務状況の悪化などにより、貸出金が契約どおり返済されず、金融機関が損失を被るリスクをいいます。

当金庫では、貸出資産の健全性を維持・向上させるため、融資案件を、まず営業店で調査・検討し、次にそれぞれの権限内貸出基準に基づき厳格な審査を経て決裁しています。

また、「信用リスク委員会」及び企業支援課による経営改善支援等の取り組みにより、管理態勢の強化に努めています。自己査定についても、当金庫の自己査定基準に基づいた厳格な査定を行い、その結果に基づいて適正な償却・引当を実施しています。

市場リスク

市場リスクとは、金利、為替、株式等の様々な市場リスク・ファクターの変動により、当金庫の保有する資産・負債等の価格が変動し損失を被るリスク、資産・負債から生み出される収益が変動し損失を被るリスクをいいます。

当金庫は、「ALM委員会」を設置し、資産・負債を統合的に管理することによりリスクを回避し、安定収益の確保と自己資本の充実に努めています。

流動性リスク

流動性リスクとは、予期せぬ資金の流出等により資金が不足し、通常よりも著しく高い金利での調達を余儀なくされたり、不利な価格での取引を余儀なくされることにより金融機関が損失を被るリスクをいいます。

当金庫は、支払準備資金を信金中央金庫へ預入れ、資金の流動性を安定的に確保するとともに、資金の運用・調達及び日々の資金繰りについて経営陣に報告する体制をとり、流動性リスクに対する十分な管理態勢を確保しています。

オペレーショナル・リスク

オペレーショナル・リスクとは、金融機関の業務の過程、役職員の活動若しくはシステムが不適切であること又は外生的な事象により損失を被るリスクをいいます。

当金庫では、オペレーショナル・リスクについて、事務リスク・システムリスク・法務リスク・人的リスク・有形資産リスク・風評リスクの各リスクを含む幅広いリスクと考え、各種委員会において協議・検討し、必要に応じて理事会等に報告する態勢を整備しております。

金融分野における裁判外紛争解決制度（金融ADR 制度）について

当金庫における苦情処理措置・紛争解決措置等の概要

当金庫は、お客様からの相談・苦情・紛争等（以下「苦情等」という。）を営業店または総務部で受け付けています。

1. 苦情等のお申し出があった場合、その内容を十分に伺ったうえ、内部調査を行って事実関係の把握に努めます。
2. 事実関係を把握したうえで、営業店、関係部署等とも連携を図り、迅速・公平にお申し出の解決に努めます。
3. 苦情等のお申し出については記録・保存し、対応結果に基づく改善措置を徹底のうえ、再発防止や未然防止に努めます。

苦情等は営業店または次の担当部署へお申し出ください。

水沢信用金庫 総務部（業務全般）	電話番号:0197-23-2498	FAX 番号:0197-25-7073
企画部（国債証券等関連）	電話番号:0197-23-5192	FAX 番号:0197-25-7073
住 所	岩手県奥州市水沢区字日高西71番地1	※お客様の個人情報苦情等の解決を図るため、またお客様とのお取引を適切かつ円滑に行うために利用いたします。
受付時間	9:00～17:00（信用金庫営業日）	
受付媒体	電話、手紙、面談、ファックス等	

4. 当金庫のほかに、一般社団法人全国信用金庫協会が運営する「全国しんきん相談所」をはじめとする他の機関でも苦情等のお申し出を受け付けています。詳しくは上記総務部にご相談ください。

全国しんきん相談所 （一般社団法人全国信用金庫協会）	
住 所	〒103-0028 東京都中央区八重洲1-3-7
電話番号	03-3517-5825
受 付 日 時 間	月～金（祝日、12月31日～1月3日を除く） 9:00～17:00
受付媒体	電話、手紙、面談

5. 東京弁護士会、第一東京弁護士会、第二東京弁護士会（以下「東京三弁護士会」という）が設置運営する仲裁センター等で紛争の解決を図ることも可能ですので、総務部または上記全国しんきん相談所へお申し出ください。なお、各弁護士会に直接申し立ていただくことも可能です。

名 称	東京弁護士会 紛争解決センター	第一東京弁護士会 仲裁センター	第二東京弁護士会 仲裁センター
住 所	〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-1-3	〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-1-3	〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-1-3
電話番号	03-3581-0031	03-3595-8588	03-3581-2249
受 付 日 時 間	月～金（祝日、年末年始除く） 9:30～12:00、13:00～15:00	月～金（祝日、年末年始除く） 10:00～12:00、13:00～16:00	月～金（祝日、年末年始除く） 9:30～12:00、13:00～17:00

6. 東京三弁護士会の仲裁センター等は、東京都以外の各地のお客様にもご利用いただけます。その際には、次の(1)、(2)の方法により、お客様のアクセスに便利な東京以外の弁護士会の仲裁センター等を利用することもできます。なお、ご利用いただける弁護士会については、あらかじめ、東京三弁護士会、全国しんきん相談所または当金庫総務部にお尋ねいただくか、東京三弁護士会のホームページまたは当金庫ホームページ (<http://www.mizusawashinkin.co.jp>) をご覧ください。

(1) 現地調停

東京三弁護士会の調停人とそれ以外の弁護士会の調停人がテレビ会議システム等を用いて、共同して紛争の解決にあたります。

例えば、お客様は、岩手弁護士会の仲裁センター等にお越しいただき、当該弁護士会の調停人とは面談で、東京三弁護士会の調停人とはテレビ会議システム等を通じてお話いただくことにより、手続きを進めることができます。

(2) 移管調停

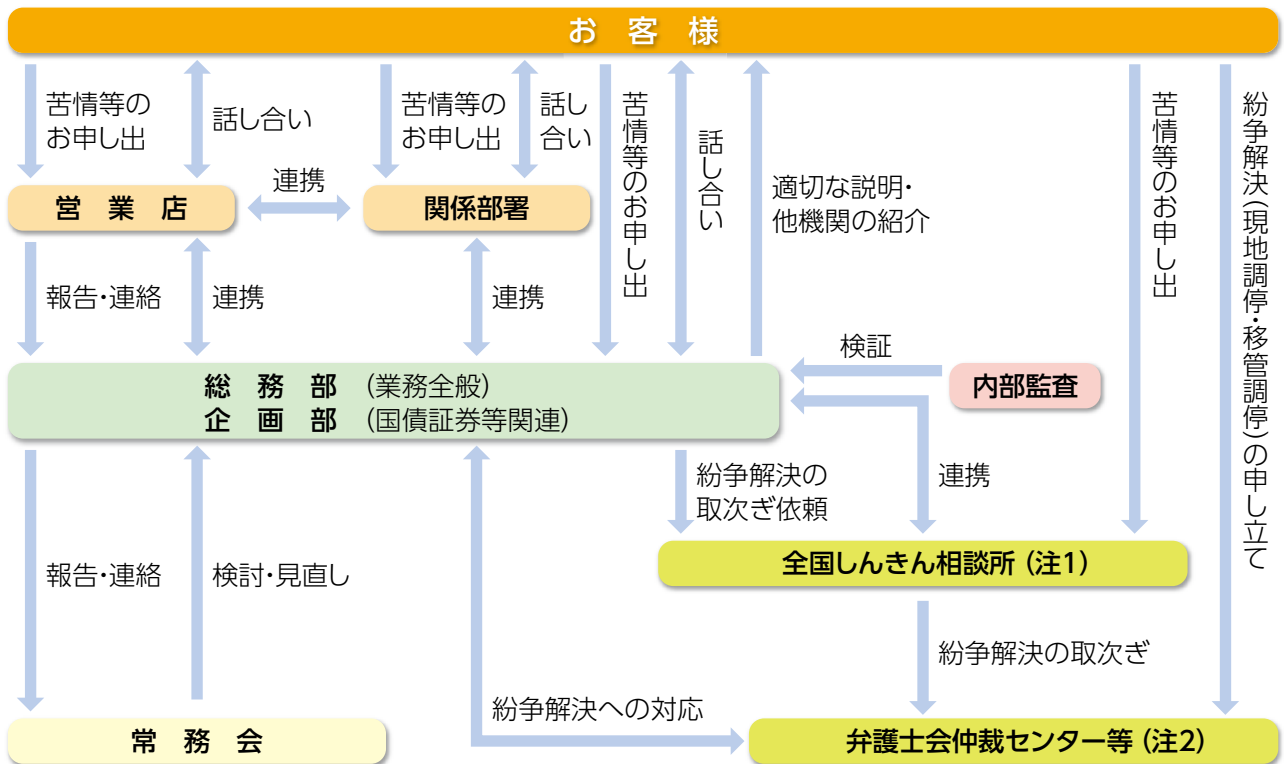
当事者間の同意を得たうえで、東京以外の弁護士会に案件を移管します。

例えば、仙台弁護士会の仲裁センター等に案件を移管し、当該弁護士会の仲裁センター等で手続きを進めることができます。

7. 当金庫の苦情等の対応

当金庫は、お客様からの苦情等のお申し出に迅速・公平かつ適切に対応するため、以下のとおり金融ADR 制度も踏まえ、内部管理態勢等を整備して苦情等の解決を図り、もって当金庫に対するお客様の信頼性の向上に努めます。

- (1) 営業店および各部署に責任者をとおくとともに、総務部がお客様からの苦情等を一元的に管理し、適切な対応に努めます。
- (2) 苦情等のお申し出については事実関係を把握し、営業店、関係部署および総務部が連携したうえで、速やかに解決を図るよう努めます。
- (3) 苦情等の対応にあたっては、解決に向けた進捗管理を行うとともに、苦情等のお申し出のあったお客様に対し、必要に応じて手続の進行に応じた適切な説明を総務部から行います。
- (4) お客様からの苦情等のお申し出は、全国しんきん相談所をはじめとする他の機関でも受け付けていますので、内容やご要望等に応じて適切な機関をご紹介します。
- (5) 紛争解決を図るため、弁護士会が設置運営する仲裁センター等を利用することができます。その際には、当該仲裁センター等の規則等も踏まえ、適切に協力します。
- (6) お申し出のあった苦情等を記録・保存し、その対応結果に基づき、苦情等に対応する態勢の在り方の検討・見直しを行います。
- (7) 苦情等への対応が実効あるものとするため、内部監査部門が検証する態勢を整備しています。
- (8) 苦情等に対応するため、関連規程等に基づき業務が運営されるよう、研修等により金庫内に周知・徹底します。
- (9) お客様からの苦情等は、業務改善・再発防止等に必要な措置を講じることにより、今後の業務運営に活かしていきます。
- (10) 苦情等への取組体制



(注1)

・全国しんきん相談所

(注2) 弁護士会仲裁センター等

・東京弁護士会 紛争解決センター
 ・第一東京弁護士会 仲裁センター
 ・第二東京弁護士会 仲裁センター

↓
 ・岩手弁護士会 仲裁センター等 (現地調停)
 ・仙台弁護士会 仲裁センター等 (移管調停)

総代会等に関する事項

1. 総代会制度について

信用金庫は、会員同士の「相互信頼」と「互恵」の精神を基本理念に、会員一人ひとりの意見を最大の価値とする協同組織金融機関です。したがって、会員は出資口数に関係なく、一人一票の議決権を持ち、総会を通じて当金庫の経営に参加することになります。しかし、当金庫の会員数はたいへん多く、総会の開催は事実上不可能です。そこで、当金庫では、会員の総意を適正に反映し、充実した審議を確保するため、総会に代えて総代会制度を採用しております。

この総代会は、決算、取扱業務の決定、理事・監事の選任等の重要事項を決議する最高意思決定機関です。したがって、総代会は、総会と同様に会員一人ひとりの意見が当金庫の経営に反映されるよう、会員の中から適正な手続により選任された総代により運営されます。

また、当金庫では、総代会に限定することなく、日常の事業活動を通じて、総代や会員とのコミュニケーションを大切に、さまざまな経営改善に取り組んでおります。

2. 総代とその選任方法

(1) 総代の任期・定数・定年

- 総代の任期は3年です。
- 総代の定数は65人以内で、会員数に応じ選任区域ごとに定められております。
- 総代の定年は75歳です。平成28年3月31日現在の会員数は11,240人です。

(2) 総代の選任方法

総代は、会員の代表として、会員の総意を当金庫の経営に反映する重要な役割を担っております。そこで総代の選考は次の3つの手続を経て選任されます。

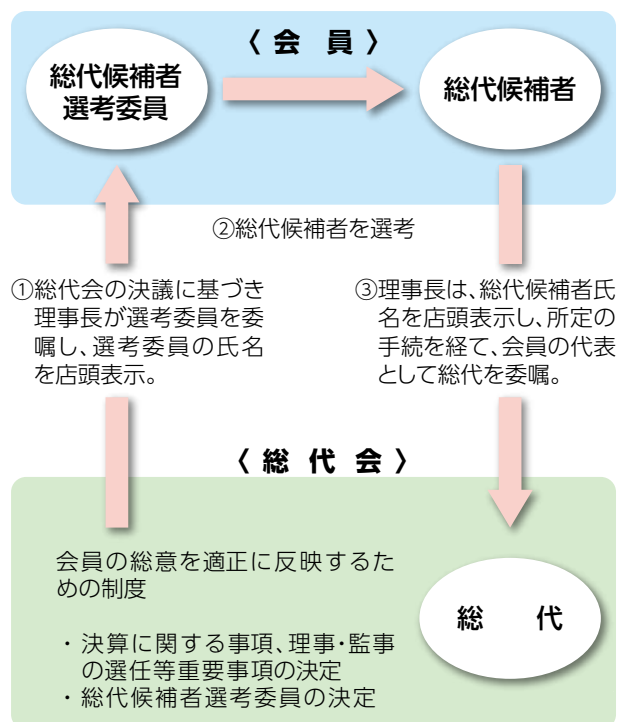
- ①会員の中から総代候補者選考委員を選任する。
- ②その総代候補者選考委員が総代候補者を選考する。
- ③その総代候補者を会員が信任する。
(異議があれば申し立てる)

※「総代候補者選考委員」選考基準

- ①当金庫の会員であること
- ②地域における信望が厚く、信用金庫の使命を十分理解している者
- ③地域の事情に明るく、人格・識見とも優れている者

※「総代候補者」選考基準

- ①当金庫の会員であること
 - ②当金庫の理念をよく理解し、金庫との取引が良好であること。
- 次の事項に該当する者は、総代として選任しないこととする。
- また、在任期間中に該当した場合は再任しないこととする。
- 子弟が金庫職員である者
 - 総代として相応しくない状態にある者



3. 第67期通常総代会決議事項

報告事項	第67期（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）業務報告、貸借対照表および損益計算書の内容報告の件
決議事項	
第1号議案	剰余金処分案承認の件
第2号議案	定款の一部変更の件
第3号議案	理事9名選任の件
第4号議案	退任理事に対する退職慰労金贈呈の件



第67期通常総代会

4. 総代の氏名等 (50音順・敬称略)

※氏名の後の数字は総代への就任回数です。

選任区域	定数	氏名
■第1区 8人 【水沢区】 不断町・川口町 勝手町・立町 柳町・川原小路 大手町・大町 搦手丁・佐倉河		桐山 道彦 ②
		後藤 逸夫 ⑤
		後藤 秀紀 ①
		佐々木 真一 ③
		佐々木 岳 ①
		高橋 幸司 ⑤
		松好 隆成 ⑪
■第2区 8人 【水沢区】 石田・日高小路 西町・吉小路 新小路・北下巾 大畑小路・上町 【胆沢区】 若柳・南都田		赤田 雅志 ②
		菊地久志雄 ⑪
		佐々木利幸 ⑤
		高橋 悦見 ⑥
		武田 成一 ⑧
		千田 正義 ④
		中目 祐幸 ①
		渡辺 文好 ⑥
■第3区 4人 【水沢区】 東上野町・横町・東町 寺小路・南町・中町 他		荒川 佳生 ⑥
		高橋 宗康 ②
		鳥海 恭司 ⑤
		吉田 憲郎 ①
■第4区 10人 【水沢区】 宮下・西上野町 中上野町・大鐘 天文台通り・福原 真城西側地区 【胆沢区】 小山		浅間 芳子 ⑥
		遠藤 敬 ⑦
		小野寺弘行 ⑥
		五嶋 徳市 ⑨
		佐々木永喜 ⑨
		佐々木成子 ①
		佐々木 孝 ⑤
		幅下 俊樹 ①
		芳沢 正義 ⑩
		渡邊 晃三 ③

選任区域	定数	氏名
■第5区 13人 【水沢区】 花園町・神明町 東大通り・台町 太日通り・泉町 中田町・朝日町 真城東側地区 黒石町・姉体町 東中通り・羽田町 跡呂井		及川 敬 ⑨
		及川 傳 ②
		小野寺忠榮 ③
		小野寺信敏 ④
		菊地 三郎 ①
		佐々木美行 ③
		高橋 賢 ①
		立野 晃 ①
		千葉 亨 ④
		本庄 勝郎 ④
		森岡 一晃 ③
		四谷 栄克 ②
		和川 洋行 ①
■第6区 7人 【前沢区・衣川区】 【西磐井郡平泉町】 【一関市】 旧一関市、 旧大東町、旧東山町 【大船渡市】 【陸前高田市】		大久保和夫 ②
		工藤 武彦 ⑤
		佐藤 征夫 ①
		菅原 勝郎 ⑤
		高橋 久興 ⑥
		千田伏二夫 ⑦
		吉田 利行 ⑤
■第7区 9人 【江刺区】 【気仙郡住田町】		伊藤 昌子 ①
		小澤 信男 ⑥
		海鋒 守 ⑨
		菊地 寛 ⑦
		佐藤 悦夫 ②
		佐藤 和也 ③
		穴戸 幸吉 ④
		千田 稔 ④
		和賀 総 ②
■第8区 6人 【胆沢郡金ヶ崎町】 【北上市】		小澤 賢 ①
		小野寺逸夫 ②
		小野寺 博 ⑤
		菊地 成寿 ②
		佐藤 千幸 ①
		高橋 宏哉 ①

平成28年6月17日現在

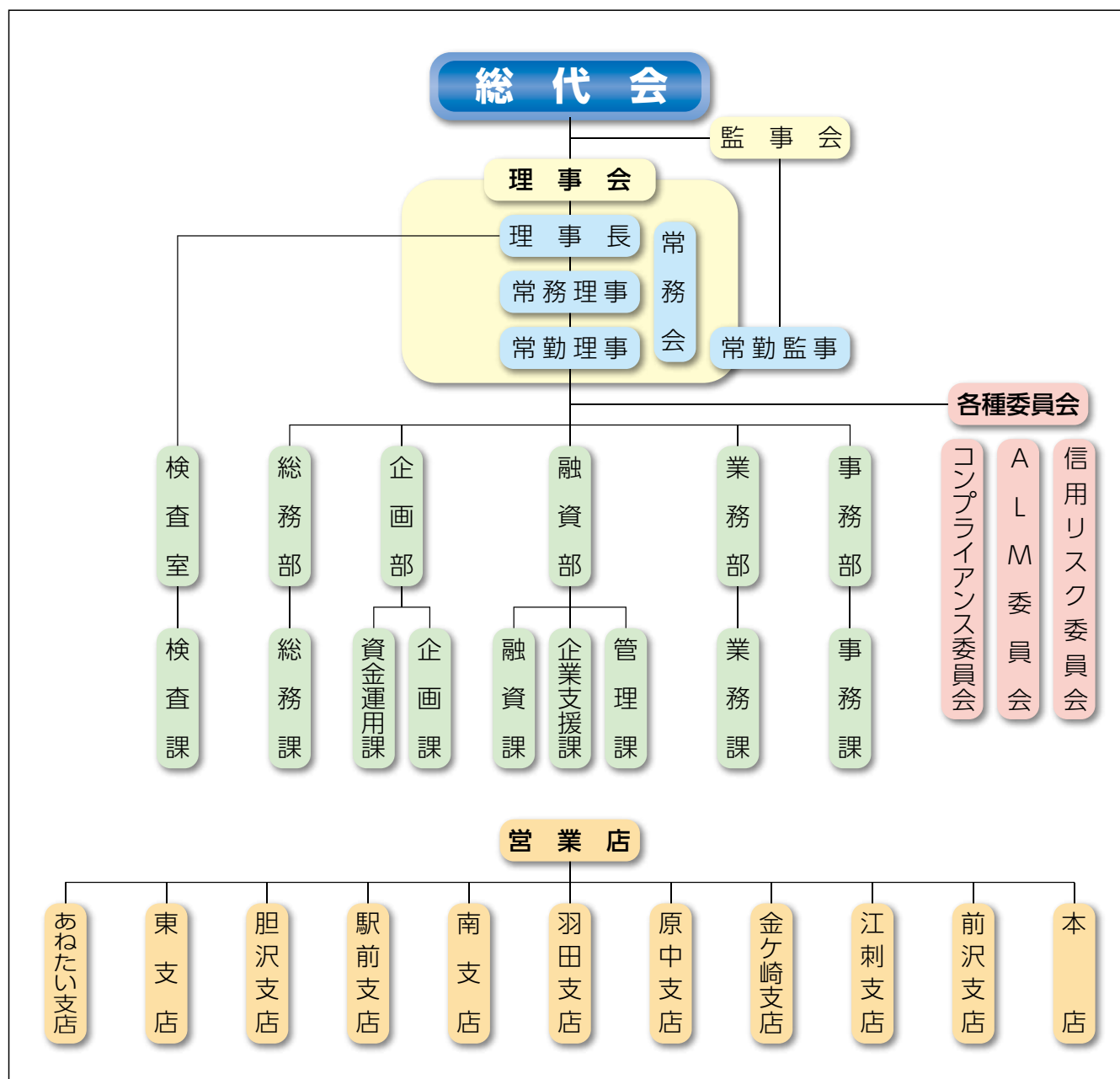
総代の属性別構成比

職業別	法人代表者 70.3%	個人事業主 21.9%	個人 7.8%
年代別	70代以上 21.8%	60代 56.2%	50代 15.6% 40代 6.2%
業種別	製造業 6.2% 建設業 20.3% 電気・ガス・熱供給・水道業 1.5% 情報通信業 3.1% 運輸業、郵便業 4.6% 卸売業、小売業 25.0% 不動産業 1.5% 物品賃貸業 3.1% 学術研究、専門・技術サービス業 1.5% 宿泊業 3.1% 飲食業 1.5% 生活関連サービス業、娯楽業 4.6% 教育、学習支援業 1.6% 医療、福祉 6.2% その他のサービス 7.8%		

注) 1 業種別の構成比は、法人・法人代表者、個人事業主に限ります。
 注) 2 割合につきましては、小数点第2位以下を切り捨てて表示しております。

金庫の組織に関する事項

組織図 (平成28年7月31日現在)



役員一覧 (平成28年6月30日現在)

理事長	及川 富美人
常務理事	及川 和男
常務理事	佐藤 彰彦
常勤理事	菊地 隆
常勤理事	伊藤 寿 (*1)
常勤理事	鈴木 重徳

非常勤理事	千葉 龍二郎 (*1)
非常勤理事	渡邊 康喜 (*1)
非常勤理事	鎌田 卓也 (*1)
常勤監事	及川 守
非常勤監事	小野寺 宣文
非常勤監事	及川 和人 (*2)

*1 理事 伊藤 寿、千葉 龍二郎、渡邊 康喜、鎌田 卓也は、信用金庫業界の「総代会の機能向上策等に関する業界申し合わせ」に基づく職員外理事です。
*2 監事 及川 和人は、信用金庫法第32条項第5項に定める員外監事です。

会計監査人

北光監査法人

当金庫の歩み

昭和

- 24. 1 市街地信用組合法に基づき
水沢信用組合創立
- 24. 7 水沢町大町 83 番地で業務を開始
及川兵治 初代組合長に就任
- 25. 4 中小企業等協同組合法に基づく
水沢信用組合に組織変更
- 26. 6 信用金庫法施行 (法律 238 号)
- 27. 4 水沢信用金庫 事業免許により組織変更
- 27. 5 小野甫善 初代理事長に就任
- 28. 11 位置変更 胆沢郡水沢町塩竈字大町26番地
(改築移転)
- 29. 8 水沢市中小企業融資斡旋条例に基づく融資
契約締結 (同年 4 月水沢市発足)
- 29. 11 地区拡張
水沢市全域に胆沢郡金ケ崎町を加える
- 30. 5 及川兵治 二代目理事長に就任
- 33. 12 内国為替業務開始
- 34. 3 全国信用金庫連合会代理業務開始
- 35. 2 地区拡張
胆沢郡一円とし内金ケ崎町六原を除く
- 35. 4 前沢出張所開設 (45.4 支店昇格)
- 35. 9 加賀順蔵 三代目理事長就任
- 37. 2 中小企業金融公庫代理業務開始
- 37. 9 佐々木泰治 四代目理事長就任
- 38. 7 地区拡張 江刺一円に拡張する
- 38. 8 本店新築移転 (創業地に移転)
- 39. 4 江刺支店開設
- 41. 6 千葉政胤 五代目理事長就任
- 41. 6 小規模共済事業団代理業務取扱開始
- 44. 9 金ケ崎支店開設
- 45. 6 地区拡張
一関市、北上市、陸前高田市、和賀郡江釣
子村、西磐井郡平泉町、東磐井郡大東町、
東山町、気仙郡住田町に拡張する
- 47. 3 国民金融公庫と代理業務取扱開始
- 48. 7 原中支店開設
- 49. 12 地区拡張 和賀郡和賀町を拡張する
- 50. 10 預金量 100 億円達成
- 51. 6 共同事務センターオンライン加入
- 51. 12 羽田支店開設
- 52. 2 石川文夫 六代目理事長就任
- 54. 10 江刺、金ケ崎両支店新装開店
- 57. 12 南支店開設
- 59. 4 駅前支店開設
- 60. 4 住宅金融公庫受託業務開始
- 60. 5 鈴木貞蔵 七代目理事長就任

- 61. 11 本店現在地に新築移転、大町支店開設
- 61. 12 日本銀行当座取引業務開始
- 62. 11 新田清二 八代目理事長就任
- 62. 12 日本銀行歳入代理店業務取扱開始

平成

- 2. 12 預金量 500 億円達成
- 4. 11 胆沢支店開設
- 6. 12 東支店開設
- 7. 12 金ケ崎支店新築移転
- 9. 2 ATMの祝祭日稼働サービス開始
- 9. 11 新田清二理事長「黄綬褒章」受章
- 9. 12 前沢支店新築移転
- 11. 10 郵貯カードと提携
- 11. 11 創立 50 周年記念祝賀会
- 12. 3 デビットカード取扱開始
- 12. 6 テレホンバンキングの運用開始
- 12. 12 しんきん ATM ゼロネットサービス
取扱開始
- 13. 3 スポーツ振興くじ (toto) の当せん金
払戻し業務開始
- 15. 9 個人向け国債の取扱開始
- 15. 10 駅前支店を新築移転 (大町支店統合)
- 16. 1 ホームページ開設
- 16. 2 インターネットバンキングサービス開始
- 16. 11 決済用普通預金の取扱開始
- 17. 6 及川富美人 九代目理事長就任
- 17. 10 生保個人年金保険の募集開始
- 18. 4 融資部に企業支援課新設
- 18. 11 すいしん会 20 周年記念事業
「星野仙一講演会」開催
- 19. 4 預金量 1,000 億円達成
- 19. 12 羽田支店新築移転
- 21. 4 企画部に資金運用課新設
- 21. 12 創立 60 周年記念事業
瞳ひろし「劇団夢の旅」特別公演開催
- 22. 11 及川富美人理事長「黄綬褒章」受章
- 23. 7 IC キャッシュカード取扱開始
- 25. 2 電子記録債権サービス「でんさいネット」
取扱開始
- 28. 4 及川富美人理事長「旭日双光章」受章
- 28. 7 あねたい支店開設

|| 平成27年度の事業の概況

■ 預 金

期末残高は、公金預金、金融機関預金が減少しましたが、個人預金、法人預金等が増加したことから、前期末に比べ1,188百万円増加し、115,342百万円となりました。

■ 貸出金

期末残高は、前期末に比べ695百万円減少し、53,903百万円となりました。

■ 損 益

今年度は貸出金残高の伸び悩みに加え、市場金利の低下など資金運用環境は厳しい状況にありました。

経常収益は、有価証券の効率的な運用や役務取引等収益による利益確保に努め増収となりましたが、国債等債券損益が減額となったほか退職給付費用の増加などにより、経常利益は前年度比97百万円減少し612百万円となりました。法人税等調整額などを控除した当期純利益は、同比42百万円減少し、406百万円となりました。

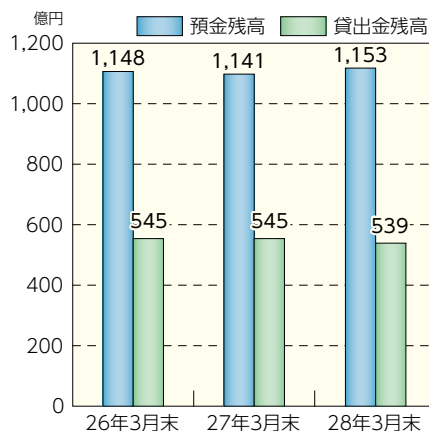
■ 自己資本比率

自己資本比率は、リスクが発生する可能性のある資産（リスク・アセット）に対する出資金や利益準備金、諸積立金など（自己資本）の比率で、金融機関の経営の健全性・安全性を示す指標です。

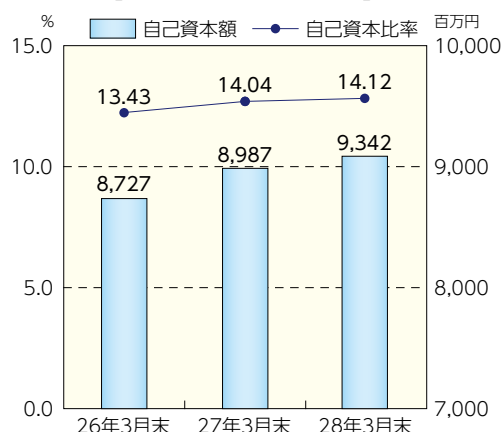
平成28年3月末の自己資本比率は”14.12%”となり、健全性の基準とされる4%を大きく上回る水準を維持することができました。

当金庫は、これからも自己資本の充実を図り、経営の健全性と体力の強化に努めてまいります。

【期末残高の推移】



【自己資本比率の推移】



|| 直近5年間の主要な経営指標の推移

項目	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
経常収益	百万円	2,744	2,698	2,908	2,371	2,679
経常利益	//	237	547	392	710	612
当期純利益	//	269	361	181	448	406
出資総額	//	439	449	460	465	475
出資総口数	千口	878	898	920	930	950
純資産額	百万円	7,774	8,891	8,661	9,806	10,352
総資産額	//	120,498	124,223	125,893	126,205	128,237
預金積金残高	//	110,435	113,144	114,838	114,154	115,342
貸出金残高	//	55,003	55,281	54,563	54,598	53,903
有価証券残高	//	38,148	43,556	41,723	44,880	46,507
自己資本比率	%	14.30	14.06	13.43	14.04	14.12
出資に対する配当金	百万円	17	17	18	18	18
役員数	人	12	12	12	12	12
うち非常勤役員数	人	5	5	5	5	5
職員数	人	142	145	150	149	149
会員数	人	10,276	10,604	10,919	10,986	11,240

※「平成26年度」欄の金額及び比率は、過去の会計年度の誤謬を訂正するため、修正再表示しております。
修正再表示前の金額及び比率は次のとおりであります。〔純資産額〕9,878百万円、〔自己資本比率〕14.16%。
なお、平成25年度以前に係る累積的影響額については平成26年度に反映させております。

貸借対照表

資産の部

(単位:百万円)

	第66期	第67期
	平成27年3月末	平成28年3月末
現金	1,788	2,152
預け金	23,424	24,375
買入金銭債権	1,700	700
金銭の信託	497	513
有価証券	44,880	46,507
国債	4,936	3,127
地方債	7,146	5,618
社債	21,116	21,086
株式	379	555
その他の証券	11,301	16,119
貸出金	54,598	53,903
割引手形	158	205
手形貸付	4,971	4,773
証書貸付	47,966	47,017
当座貸越	1,501	1,907
その他資産	675	764
未決済為替貸	13	11
信金中金出資金	354	544
前払費用	9	4
未収収益	210	181
その他の資産	87	23
有形固定資産	774	831
建物	220	195
土地	444	474
建設仮勘定	—	50
その他の有形固定資産	109	111
無形固定資産	6	3
ソフトウェア	3	0
その他の無形固定資産	2	2
前払年金費用	94	97
債務保証見返	259	394
貸倒引当金	△ 2,493	△ 2,006
うち個別貸倒引当金	△ 2,213	△ 1,753
資産の部合計	126,205	128,237

負債及び純資産の部

(単位:百万円)

	第66期	第67期
	平成27年3月末	平成28年3月末
預金積金	114,154	115,342
当座預金	560	473
普通預金	30,118	31,776
貯蓄預金	111	92
通知預金	23	25
定期預金	77,350	76,762
定期積金	5,287	5,498
その他の預金	701	713
借入金	1,400	1,400
借入金	1,400	1,400
その他負債	264	234
未決済為替借	21	21
未払費用	79	80
給付補填備金	2	2
未払法人税等	75	26
前受収益	73	89
払戻未済金	0	0
払戻未済持分	0	0
その他の負債	12	13
賞与引当金	45	45
役員退職慰労引当金	105	116
偶発損失引当金	5	4
睡眠預金払戻損失引当金	3	5
繰延税金負債	160	341
債務保証	259	394
負債の部合計	116,399	117,884
出資金	465	475
普通出資金	465	475
利益剰余金	8,275	8,663
利益準備金	460	465
その他利益剰余金	7,814	8,197
特別積立金	7,279	7,679
当期末処分剰余金	535	517
会員勘定合計	8,741	9,138
その他有価証券評価差額金	1,065	1,214
評価・換算差額等合計	1,065	1,214
純資産の部合計	9,806	10,352
負債及び純資産の部合計	126,205	128,237

貸借対照表の注記

- 注1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
- 注2. 有価証券の評価は、満期保有目的の債券については移動平均法による償却原価法（定額法）、その他有価証券のうち時価のあるものについては決算日の市場価格等に基づく時価法（売却原価は主として移動平均法により算定）、時価を把握することが極めて困難と認められるものについては移動平均法による原価法により行っております。
- なお、その他有価証券の評価差額については、全部純資産直入法により処理しております。
- 注3. 金銭の信託において信託財産を構成している有価証券の評価は上記2と同じ方法により行っております。
- 注4. 有形固定資産の減価償却は、定率法（ただし、平成10年4月1日以後に取得した建物（建物附属設備を除く。）については定額法）を採用しております。また、主な耐用年数は次のとおりであります。
- | | |
|-----|--------|
| 建 物 | 7年～40年 |
| その他 | 3年～15年 |
- 注5. 無形固定資産の減価償却は、定額法により償却しております。なお、自金庫利用のソフトウェアについては、金庫内における利用可能期間（5年）に基づいて償却しております。
- 注6. 貸倒引当金は、予め定めている償却・引当基準に則り、次のとおり計上しております。「銀行等金融機関の資産の自己査定並びに貸倒償却及び貸倒引当金の監査に関する実務指針」（平成24年7月4日）に規定する正常先債権及び要注意先債権に相当する債権については、一定の種類毎に分類し、過去の一定期間における各々の貸倒実績から算出した貸倒実績率等に基づき計上しております。破綻懸念先債権に相当する債権については、債権額から担保の処分可能見込額及び保証による回収可能見込額を控除し、その残額のうち必要と認める額を計上しております。破綻先債権及び実質破綻先債権に相当する債権については、債権額から、担保の処分可能見込額及び保証による回収可能見込額を控除した残額を計上しております。すべての債権は、資産の自己査定基準に基づき、営業店及び融資部が資産査定を実施し、当該部署から独立した検査室が資産査定結果を監査しており、その結果により上記の引当を行っております。
- 注7. 賞与引当金は、職員への賞与の支払いに備えるため、職員に対する賞与の支給見込額のうち、当事業年度に帰属する額を計上しております。
- 注8. 退職給付引当金は、職員の退職給付に備えるため、企業会計基準適用指針第25号「退職給付会計に関する会計基準の適用指針」（平成27年3月26日）に定める簡便法（直近の年金財政計算上の数理債務をもって退職給付債務とする方法）により、当事業年度末における必要額を計上しております。当金庫は、複数事業主（信用金庫等）により設立された企業年金制度（総合設立型厚生年金基金）に加入しており、当金庫の拠出に対応する年金資産の額を合理的に計算することができないため、当該年金制度への拠出額を退職給付費用として処理しております。
- なお、当該企業年金制度全体の直近の積立状況及び制度全体の拠出等に占める当金庫の割合並びにこれらに関する補足説明は次のとおりであります。
- ① 制度全体の積立状況に関する事項（平成27年3月31日現在）

年金資産の額	1,659,830百万円
年金財政計算上の数理債務の額と最低責任準備金の額との合計額	1,824,563百万円
差引額	△164,732百万円
 - ② 制度全体に占める当金庫の掛金拠出割合（平成27年3月分）0.1145%
 - ③ 補足説明

上記①の差引額の主な要因は、年金財政計算上の過去勤務債務残高247,567百万円及び別途積立金82,834百万円であります。本制度における過去勤務債務の償却方法は期間19年0ヵ月の元利均等定率償却であり、当金庫は、当事業年度の財務諸表上、特別掛金22百万円を費用処理しております。

なお、特別掛金の額は、予め定められた掛金率を掛金拠出時の標準給与の額に乗じることで算定されるため、上記②の割合は当金庫の実際の負担割合とは一致しません。
- 注9. 役員退職慰労引当金は、役員への退職慰労金の支払いに備えるため、役員に対する退職慰労金の支給見込額のうち、当事業年度末までに発生していると認められる額を計上しております。
- 注10. 睡眠預金払戻損失引当金は、負債計上を中止した預金について、預金者からの払戻請求に備えるため、将来の払戻請求に応じて発生する損失を見積もり、必要と認める額を計上しております。
- 注11. 偶発損失引当金は、信用保証協会への負担金の支払いに備えるため、将来の負担金支払見込額を計上しております。
- 注12. 消費税及び地方消費税の会計処理は、税込方式によっております。
- 注13. 理事及び監事との間の取引による理事及び監事に対する金銭債権総額33百万円
- 注14. 有形固定資産の減価償却累計額1,431百万円
- 注15. 貸借対照表に計上した固定資産のほか、コピー機については、所有権移転外ファイナンス・リース契約により使用しております。
- 注16. 貸出金のうち、破綻先債権額は586百万円、延滞債権額は4,904百万円であります。なお、破綻先債権とは、元本又は利息の支払の遅延が相当期間継続していることその他の事由により元本又は利息の取立て又は弁済の見込みがないものとして未収利息を計上しなかった貸出金（貸倒償却を行った部分を除く。以下「未収利息不計上貸出金」という。）のうち、法人税法施行令（昭和40年政令第97号）第96条第1項第3号のイからホまでに掲げる事由又は同項第4号に規定する事由が生じている貸出金であります。また、延滞債権とは、未収利息不計上貸出金であって、破綻先債権及び債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として利息の支払を猶予した貸出金以外の貸出金であります。
- 注17. 貸出金のうち、3か月以上延滞債権額はありません。なお、3か月以上延滞債権とは、元本又は利息の支払が、約定支払日の翌日から3か月以上遅延している貸出金で破綻先債権及び延滞債権に該当しないものであります。
- 注18. 貸出金のうち、貸出条件緩和債権額は304百万円であります。なお、貸出条件緩和債権とは、債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で破綻先債権、延滞債権及び3か月以上延滞債権に該当しないものであります。
- 注19. 破綻先債権額、延滞債権額、3か月以上延滞債権額及び貸出条件緩和債権額の合計額は5,796百万円であります。なお、注16から注19に掲げた債権額は、貸倒引当金控除前の金額であります。
- 注20. 手形割引は、業種別監査委員会報告第24号に基づき金融取引として処理しております。これにより受け入れた銀行引受手形、商業手形、荷付為替手形及び買入外国為替は、売却又は（再）担保という方法で自由に処分できる権利を有しておりますが、その額面金額は205百万円であります。

注21. 担保に供している資産は次のとおりであります。

担保に供している資産

有価証券	104百万円
預け金	2,500百万円

担保資産に対応する債務

預金	82百万円
借入金	1,400百万円

上記のほか、為替決済等の取引の担保として、預け金8,000百万円を差し入れております。また、その他の資産のうち保証金は0百万円及び敷金は2百万円であります。

注22. 出資1口当たりの純資産額10,896円12銭

注23. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当金庫は、預金業務、融資業務および市場運用業務などの金融業務を行っております。このため、金利変動による不利な影響が生じないように、資産及び負債の総合的管理（以下「ALM」）をしております。デリバティブ取引は行っておりません。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

当金庫が保有する金融資産は、主として事業地区内のお客様に対する貸出金です。

また、有価証券は、主に債券、投資信託及び株式であり、満期保有目的、純投資目的及び事業推進目的で保有しております。これらは、それぞれ発行体の信用リスク及び金利の変動リスク、市場価格の変動リスクに晒されております。外貨建有価証券は保有しておりません。

一方、金融負債は主としてお客様からの預金であり、流動性リスクに晒されております。また、変動金利の預金については、金利の変動リスクに晒されております。金利スワップ取引は行っておりません。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

① 信用リスクの管理

当金庫は、融資管理諸規程及び信用リスクに関する管理諸規程に従い、貸出金について、個別案件ごとの与信審査、与信限度額、信用情報管理、保証や担保の設定、問題債権への対応など与信管理に関する体制を整備し運営しております。

これらの与信管理は、各営業店のほか融資部により行われ、また、定期的に経営陣等による信用リスク委員会や理事会を開催し、審議・報告を行っております。さらに、与信管理の状況については、検査室がチェックしております。

有価証券の発行体の信用リスクに関しては、企画部において、信用情報や時価の把握を定期的に行うことで管理しております。

② 市場リスクの管理

(i) 金利リスクの管理

当金庫は、ALMによって金利の変動リスクを管理しております。ALMに関する規則及び要領において、リスク管理方法や手続等の詳細を明記しており、ALM委員会において決定されたALMに関する方針に基づき、理事会において実施状況の把握・確認、今後の対応等の協議を行っております。

日常的には企画部において金融資産及び負債の金利や期間を総合的に把握し、ギャップ分析等によりモニタリングを行い、月次ベースで理事会に報告しております。

(ii) 為替リスクの管理

当金庫は、為替の変動リスクに関して、個別の案件ごとに管理しております。

(iii) 価格変動リスクの管理

有価証券を含む市場運用商品の保有については、ALM委員会の方針に基づき、理事会の監督の下、統合的リスク管理規程に従い行われております。

このうち、企画部では、市場運用商品の購入を行っており、事前審査、投資限度額の設定のほか、継続的なモニタリングを通じて、価格変動リスクの軽減を図っております。

企画部で保有している事業推進目的の株式については、取引先の市場環境や財務状況などをモニタリングしています。これらの情報は企画部を通じ、ALM委員会及び理事会において定期的に報告されております。

(iv) 市場リスクに係る定量的情報

当金庫において、主要なリスク変数である金利リスクの影響を受ける主たる金融商品は、「預け金」、「有価証券」のうち債券、「貸出金」、「預金積金」及び「借入金」であります。当金庫では、これらの金融資産及び金融負債について、保有期間1年、過去5年の観測期間で計測される99パーセンタイル値を用いた時価の変動額を市場リスク量とし、金利の変動リスクの管理にあたっての定量的分析に利用しております。当該変動額の算定にあたっては、対象の金融資産及び金融負債をそれぞれ金利期日に応じて適切な期間に残高を分解し、期間ごとの金利変動幅を用いております。

なお、金利以外のすべてのリスク変数が一定であると仮定した場合の99パーセンタイル値を用いた時価は962百万円減少するものと把握しております。当該変動額は、金利を除くリスク変数が一定の場合を前提としており、金利とその他のリスク変数との相関を考慮しておりません。

また、金利の合理的な予想変動幅を超える変動が生じた場合には、算定額を超える影響が生じる可能性があります。

③ 資金調達に係る流動性リスクの管理

当金庫は、ALMを通して、適時に資金管理を行うほか、資金調達手段の多様化、市場環境を考慮した長短の調達バランスの調整などによって、流動性リスクを管理しております。

(4) 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等による場合、当該価額が異なることもあります。なお、金融商品のうち貸出金については、簡便な計算により算出した時価に代わる金額を開示しております。

注24. 金融商品の時価等に関する事項

平成28年3月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額は、次のとおりであります（時価等の算定方法については（注1）参照）。なお、時価を把握することが極めて困難と認められる非上場株式等は、次表には含めておりません（注2）参照）。また、重要性の乏しい科目については記載を省略しております。

(単位:百万円)

項 目		貸借対照表計上額	時 価	差 額
資	預 け 金	24,375	24,509	133
	貸 出 金 (※1)	53,903	-	-
	貸 倒 引 当 金 (※2)	△ 1,753	-	-
		52,149	51,414	△ 735
	買 入 金 銭 債 権	700	700	0
金 銭 の 信 託		513	513	-
	運 用 目 的	513	513	-
産	有 価 証 券	46,395	46,578	182
	売 買 目 的 有 価 証 券	-	-	-
	満 期 保 有 目 的 の 債 券	5,173	5,356	182
	そ の 他 有 価 証 券	41,222	41,222	-
金 融 資 産 計	124,134	123,715	△ 418	
負 債	借 用 金	1,400	1,401	1
	預 金 積 金	115,342	115,404	62
	金 融 負 債 計	116,742	116,805	63

(※1)貸出金の「時価」には、「簡便な計算により算出した時価に代わる金額」を記載しております。

(※2)貸出金に対応する個別貸倒引当金を控除しております。

(注1)金融商品の時価等の算定方法

【金融資産】

(1) 預け金

満期のない預け金については、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。満期のある預け金については、残存期間に基づく区分ごとに、新規に預け金を行った場合に想定される適用金利で割り引いた現在価値を算定しております。

(2) 貸出金

貸出金は、以下の①～③の方法により算出し、その算出結果を時価に代わる金額として記載しております。

- ① 破綻懸念先債権、実質破綻先債権及び破綻先債権等、将来キャッシュ・フローの見積りが困難な債権については、貸借対照表中の貸出金勘定に計上している額（貸倒引当金控除前の額。以下「貸出金計上額」という。）の合計額から貸出金に対応する個別貸倒引当金を控除した価額
- ② ①以外のうち、変動金利によるものは貸出金計上額
- ③ ①以外のうち、固定金利によるものは貸出金の種類及び期間に基づく区分ごとに、元利金の合計額を同様の新規貸出を行った場合に想定される利率で割り引いた価額

(3) 買入金銭債権

買入金銭債権は取引金融機関から提示された価格によっております。

(4) 金銭の信託

金銭の信託は取引金融機関から提示された価格によっております。

なお、金銭の信託に関する注記事項については注28に記載しております。

(5) 有価証券

株式は取引所の価格、債券は取引所の価格又は取引金融機関から提示された価格によっております。投資信託は、公表されている基準価格によっております。

なお、保有目的ごとの有価証券に関する注記事項については注25から注27に記載しております。

【金融負債】

(1) 預金積金

要求払預金については、決算日に要求された場合の支払額（帳簿価額）を時価とみなしております。また、定期預金の時価は、一定の期間ごとに区分して、将来のキャッシュ・フローを割り引いて現在価値を算定しております。その割引率は、新規に預金を受け入れる際に使用する利率を用いております。なお、残存期間が短期（90日以内）のものは、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。

(2) 借入金

借入金のうち、変動金利によるものは、短期で市場金利を反映し、また、当金庫の信用状態は実行後大きく異なっていないことから、時価は帳簿価額と近似していると考えられるため、当該帳簿価額を時価としております。固定金利によるものは、一定の期間ごとに区分した当該借入金の元利金の合計額を同様の借入において想定される利率で割り引いて現在価値を算定しております。なお、残存期間が短期（90日以内）のものは、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。

(注2)時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品は次のとおりであり、金融商品の時価情報には含まれておりません。

(単位:百万円)

区 分	貸借対照表計上額
非 上 場 株 式	112
合 計	112

※非上場株式については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、時価開示の対象とはしていません。

(注3) 金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

(単位:百万円)

	1年以内	1年超5年以内	5年超10年以内	10年超
預 け 金	7,543	8,512	-	500
貸 出 金 (※)	9,726	17,635	12,113	11,079
買 入 金 銭 債 権	500	-	-	200
金 銭 の 信 託	500	-	-	-
有 価 証 券	1,400	5,539	27,081	6,370
満期保有目的の債券	200	100	2,800	1,970
その他有価証券のうち 満期があるもの	1,200	5,439	24,281	4,400
合 計	19,669	31,686	39,194	18,149

(※) 貸出金のうち破綻先、実質破綻先及び破綻懸念先に対する債権等、償還予定額が見込めないもの、期間の定めがないものは含めておりません。

(注4) 借入金及びその他の有利子負債の決算日後の返済予定額

(単位:百万円)

	1年以内	1年超5年以内	5年超10年以内	10年超
預 金 積 金 (※)	63,219	17,714	-	28
借 用 金	1,400	-	-	-
合 計	64,619	17,714	-	28

(※) 預金積金のうち、要求払預金は「1年以内」に含めて開示しております。

注25. 有価証券の時価及び評価差額等に関する事項は次のとおりであります。これらには、「国債」、「地方債」、「社債」、「株式」、「その他の証券」が含まれております。以下、注27まで同様であります。

満期保有目的の債券

(単位:百万円)

	種 類	貸借対照表計上額	時 価	差 額
時価が貸借対照表 計上額を超えるもの	国 債	-	-	-
	地 方 債	2,473	2,634	160
	社 債	2,000	2,021	21
	そ の 他	400	417	17
	小 計	4,873	5,072	199
時価が貸借対照表 計上額を超えないもの	国 債	-	-	-
	地 方 債	-	-	-
	社 債	200	195	△ 4
	そ の 他	100	87	△ 12
	小 計	300	283	△ 16
合 計		5,173	5,356	182

その他有価証券

(単位:百万円)

	種 類	貸借対照表計上額	取得原価	差 額
貸借対照表計上額が 取得原価を超えるもの	株 式	345	304	40
	債 券	24,761	23,528	1,232
	国 債	3,127	2,822	305
	地 方 債	3,145	2,998	147
	社 債	18,488	17,708	779
	そ の 他	7,675	7,054	620
	小 計	32,781	30,888	1,893
貸借対照表計上額が 取得原価を超えないもの	株 式	98	103	△ 4
	債 券	397	406	△ 9
	国 債	-	-	-
	地 方 債	-	-	-
	社 債	397	406	△ 9
	そ の 他	7,944	8,144	△ 200
	小 計	8,440	8,654	△ 214
合 計		41,222	39,543	1,679

注26. 当事業年度中に売却した満期保有目的の債券はありません。

注27. 当事業年度中に売却したその他有価証券

(単位:百万円)

	売却額	売却益の合計額	売却損の合計額
株 式	307	30	32
債 券	8,659	296	—
国 債	6,859	234	—
地 方 債	1,559	59	—
社 債	240	2	—
そ の 他	3,342	5	317
合 計	12,308	332	350

注28. 運用目的の金銭の信託

(単位:百万円)

	貸借対照表計上額	当事業年度の損益に含まれた評価差額
運 用 目 的 の 金 銭 の 信 託	513	13

注29. 当座貸越契約及び貸付金に係るコミットメントライン契約は、顧客からの融資実行の申し出を受けた場合に、契約上規定された条件について違反がない限り、一定の限度額まで資金を貸付けることを約する契約であります。これらの契約に係る融資未実行残高は、5,028百万円であります。このうち契約残存期間が1年以内のものが2,327百万円あります。

なお、これらの契約の多くは、融資実行されずに終了するものであるため、融資未実行残高そのものが必ずしも当金庫の将来のキャッシュ・フローに影響を与えるものではありません。これらの契約の多くには、金融情勢の変化、債権の保全及びその他相当の事由があるときは、当金庫が実行申し込みを受けた融資の拒絶又は契約極度額の減額をすることができる旨の条項が付けられております。また、契約時において必要に応じて不動産・有価証券等の担保を徴求するほか、契約後も定期的に（半年毎に）予め定めている金庫内手続に基づき顧客の業況等を把握し、必要に応じて契約の見直し、与信保全上の措置等を講じております。

注30. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主なる原因別の内訳は、それぞれ以下のとおりであります。

繰延税金資産

貸倒引当金	371百万円
減価償却超過額	41
役員退職慰労引当金	32
その他有価証券差額金	59
その他	63
繰延税金資産小計	568
評価性引当額	△ 359
繰延税金資産合計	208

繰延税金負債

その他有価証券差額金	523百万円
前払年金費用	26
繰延税金負債合計	550
繰延税金資産の純額	341百万円

注31. 誤謬の訂正

過去の会計年度において法人税等の金額が過少計上されておりました。「66期」欄の金額はこの誤謬を訂正するため修正再表示しております。

前期に開示した修正再表示前の金額は次のとおりであります。

「その他負債」192百万円、「未払法人税等」3百万円、「負債の部合計」116,326百万円、「利益剰余金」8,348百万円、「その他利益剰余金」7,887百万円、「当期末処分剰余金」608百万円、「会員勘定合計」8,813百万円、「純資産の部合計」9,878百万円。

誤謬の訂正に伴う「66期」の期首における純資産額に対する累積的影響額は72百万円であります。

また、「66期」の出資1口当たりの純資産額は訂正前に比べて77円97銭減少しております。


水沢信用金庫

CONTENTS

- 1 基本理念・経営方針
- 2 ごあいさつ
- 3 水沢信用金庫と地域社会
- 5 地域金融円滑化に係る取組み
地域金融円滑化のための基本方針
- 6 中小企業の経営の改善及び
地域の活性化のための取組みの状況
- 7 「お客様満足度」の向上に向けた取組み
- 9 事業内容
- 10 店舗一覧
- 11 トピックス
- 17 各種ご案内
預金商品のご案内
融資商品のご案内
サービス業務のご案内
- 19 各種手数料一覧
- 21 金庫の事業の運営に関する事項
法令等遵守（コンプライアンス）の取組み
個人情報保護について
顧客保護等管理方針について
利益相反管理方針について
反社会的勢力に対する基本方針について
- 23 金融商品・保険商品のご提案にあたって
- 24 リスク管理体制
- 25 金融ADR制度
- 27 総代会等に関する事項
- 29 金庫の組織に関する事項
- 30 当金庫の歩み
- 31 資料編
- 57 開示項目一覧

Basic Philosophy

基本理念

地域社会の発展 豊かな暮らしづくりを目指して

私たち水沢信用金庫は、地域とともにある金融機関です。地域の発展があってこそ当金庫の発展がありえるとの理念のもと、昭和24年創業以来67年の歴史を歩んでまいりました。

これからも、地域経済の発展と豊かな暮らしづくりのお役に立てるよう、堅実な経営を維持し、皆様から信頼されるパートナーとして、地域とともに歩んでまいります。

Management Policy

経営方針

1. 地域社会に対する貢献

地域金融機関として地域社会の発展、地域住民の繁栄に貢献する。

2. 経営の安定と発展

常に経営規模の拡大と合理化を図り、健全経営の維持と内部蓄積の充実に努める。

3. 魅力ある職場づくり

職員の創意を尊重し、人材の登用と資質の向上をはかり、働きがいのある希望に満ちた職場をつくる。



水沢信用金庫 本店外観

THE MIZUSAWA SHINKIN BANK

水沢信用金庫の概要 (平成28年3月31日現在)

創立	昭和24年7月12日
本店	奥州市水沢区字日高西71番地1
電話	0197-23-5191(代表)
店舗数	10店舗
会員数	11,240名
出資金	4億75百万円
役員数	156名
営業地区	奥州市、胆沢郡金ケ崎町、北上市、 一関市(旧一関市、旧大東町、旧東山町)、大船渡市、 陸前高田市、気仙郡住田町、西磐井郡平泉町
ホームページ	http://www.mizusawashinkin.co.jp/

ごあいさつ



皆様には平素より水沢信用金庫に対し格別のお引立てを賜り心より厚く御礼申し上げます。本年も、当金庫の経営内容をご理解頂き、安心してお取引いただけますよう、ディスクロージャー誌「水沢信用金庫の現況」を作成いたしましたので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

さて、平成27年度の我が国の経済は、前半はアベノミクスの推進による円安と株高が持続し、外国人観光客の増加効果や、輸出型の大企業製造業を中心に企業収益が堅調に推移したため、緩やかな回復基調を続けましたが、後半は中国を始めとする新興国経済の景気減速やアメリカの政策金利の引き上げ等の影響もあり、景気の回復は足踏み状態となりました。

一方、当地域内の経済においては、雇用情勢は改善の動きが続いたものの、消費増税に伴う駆け込み需要の反動が一巡し、持ち直しの動きも期待されましたが、物価上昇による実質所得低下の影響や、従来からの課題である少子高齢化や人口減少が影響し、引き続き厳しい環境が続いております。

このような情勢のもと、当金庫は後掲のとおり成果を収めることができました。これもひとえに会員の皆様はじめ、お取引先各位のご支援の賜と厚く御礼申し上げます。

当金庫では、平成27年度からスタートさせた新たな3か年計画「しんきんスクラム強化3か年計画～独自性発揮による地域の成長と価値創生をめざして～」に基づき、「つなぐ力」を最大限に発揮し、積極的に地域やお客さまの課題解決に尽力するとともに、「地方創生、地域活性化」への取組みを一段と強化いたします。

また、協同組織金融機関として一層の独自性発揮に努めるとともに、リスク管理態勢の整備、経営の健全性確保に注力し、強靱な経営体質の構築に努めて参りますので、より一層のお引き立てとご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年7月

水沢信用金庫 理事長 及川 富美人

地域の皆様とともに

水沢信用金庫は、地元の中小企業者や住民の皆様が会員となって、お互いに助け合い、発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の金融機関です。

地元のお客様からお預かりした大切な資金（預金積金）は、地元で資金を必要とするお客様に融資を行って、事業や生活の繁栄のお手伝いをするとともに、地域社会の一員として地元の中小企業者や住民の皆様との強い絆とネットワークを形成し、地域経済の持続的発展に努めております。

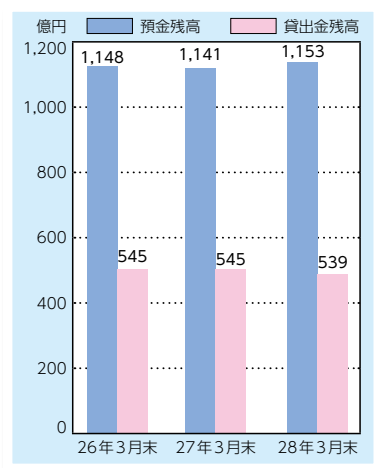
また、金融機能の提供にとどまらず、文化・環境・教育といった面も視野に入れ広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでおります。

預金積金について

当金庫は、地域のお客様の着実な資産づくりのお手伝いをさせていただくため、新商品やサービスの一層の充実に向け努力してまいります。

[預金積金残高 115,342百万円] (平成28年3月末)

※詳しくは本誌32ページをご参照ください。



預金積金

貸出金

出資金について

[会員数 11,240名] (平成28年3月末)

[出資金残高 475百万円]

貸出以外の運用について

お客様の預金は、ご融資による運用のほか、急な払出しへの備えや収益の補完を目的とし、余裕資金運用を行っております。

※詳しくは本誌40ページをご参照ください。

お客様ネットワーク

お客様相互の発展のお手伝いをしております。

[すいしん会]

お取引先経営者の異業種間交流を図る場として、昭和60年9月に発足いたしました。

[青信会]

若手経営者・事業後継者の交流の場として、平成元年7月に発足し、セミナー・スポーツ親睦会等の行事を行っております。



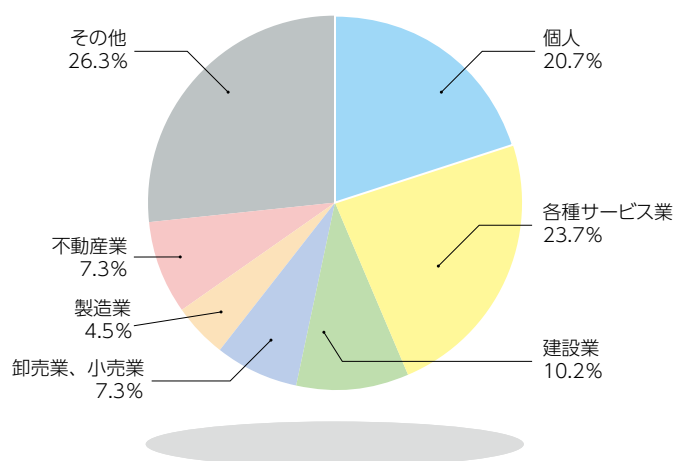
貸出金について

当金庫は、お客様からお預入れいただいた預金積金につきまして、お客様の様々な資金ニーズにお応えして、地域経済の活性化に資するために円滑な資金供給を行い、お客様や地域社会に還元しております。

[貸出金残高 53,903百万円] (平成28年3月末)

※詳しくは本誌41ページをご参照ください。

[貸出金業種別内訳]



出資金

地域への貢献

お客様・会員

支援サービス

お取引先へのご支援について

当金庫は、お取引先の経営改善・支援をお手伝いさせていただいており、中小企業再生支援協議会との連携や、中小企業庁のミラサボ事業、商工会・商工会議所のエキスパートバンク事業等の活用及び岩手県よろず支援拠点出張相談会開催により、支援態勢の充実を図っております。



地域金融円滑化に係る取組み

地域金融円滑化のための基本方針

水沢信用金庫は、地域の中小企業および個人のお客様に必要な資金を安定的に供給し、地域経済の発展に寄与するため、以下の方針に基づき、地域金融の円滑化に全力を傾注して取り組んでまいります。

1. 取組み方針

地域の中小企業および個人のお客様への安定した資金供給は、事業地域が限定された協同組織金融機関である信用金庫にとって、最も重要な社会的使命です。

私どもは、お客様からの資金需要や貸付条件の変更等のお申込みがあった場合には、これまでと同様、お客様の抱えている問題を十分に把握したうえで、その解決に向けて真摯に取り組めます。

2. 金融円滑化措置の円滑な実施に向けた態勢整備

当金庫は、上記取組み方針を適切に実施するため、以下のとおり、必要な態勢整備を図っております。

①態勢整備を図るために理事会等において決議した事項

●金融円滑化管理方針を策定しました。

②お客様へのきめ細やかな経営改善支援を行うための態勢整備

●事業資金・住宅ローン利用者がより相談されやすいよう全営業店・本部（融資部企業支援課）に窓口（金融相談窓口）を設置しました。

また、各営業店内に返済相談担当者を任命し、これまで以上にきめ細やかにお客様からのご相談に対応していく態勢を整備しました。

●本部の専門部署（融資部企業支援課）は、各営業店を通じてお客様へのきめ細やかな経営改善支援を行います。

3. 他の金融機関等との緊密な連携

当金庫は、複数の金融機関から借入れを行っているお客様から貸付条件の変更等の申し出があった場合など、他の金融機関や信用保証協会等と緊密な連携を図る必要が生じたときは、守秘義務に留意しつつ、お客様の同意を得たうえで、これらの関係機関と情報の確認・照会を行うなど、緊密な連携を図りながら地域金融の円滑化に努めてまいります。

お客様からの貸付条件の変更等に関する苦情相談は、次の相談窓口をご利用ください。



水沢信用金庫 みずしん相談室

貸付条件の変更等に関する苦情相談担当【企業支援課】

電話番号0197-23-5197(直通)

※受付時間は午前9時から午後5時までです。(当金庫の窓口休業日は除きます)

金融円滑化に係る取組み状況

(1) 中小企業・個人事業主の皆様への取組み

貸付の条件の変更等の申込みを受けた貸付債権の数及び額（債務者が中小企業者である場合）

(単位:件、百万円)

	平成27年3月末		平成28年3月末	
	件数	金額	件数	金額
貸付の条件の変更等の申込みを受けた貸付債権	2,138	34,162	2,842	40,575
うち、実行に係る貸付債権	2,456	33,503	2,795	39,908
うち、謝絶に係る貸付債権	16	178	16	178
うち、審査中の貸付債権	7	147	8	156
うち、取下げに係る貸付債権	23	332	23	332

(注)「謝絶」に係る貸付債権の金額・件数の中に債務者が破産手続きの申立中の事例に係る貸付債権の金額・件数が含まれています。

(2) 住宅ローンをご利用の皆様への取組み

貸付の条件の変更等の申込みを受けた貸付債権の数及び額（債務者が住宅資金借入者である場合）

(単位:件、百万円)

	平成27年3月末		平成28年3月末	
	件数	金額	件数	金額
貸付の条件の変更等の申込みを受けた貸付債権	31	323	31	323
うち、実行に係る貸付債権	29	313	29	313
うち、謝絶に係る貸付債権	0	0	0	0
うち、審査中の貸付債権	0	0	0	0
うち、取下げに係る貸付債権	2	9	2	9

中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取組みの状況

1. 中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取組み方針

[地域密着型金融推進計画]

1. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮
2. 地域の面的再生(*1)への積極的な参画
3. 地域やお客様に対する積極的な情報発信

を柱に具体的取組み策を掲げ推進し、地域金融機関として皆様のお役に立てるよう努めてまいりました。

(*1)地域の面的再生とは、複数の取組みが連携し広がりをもった面として地域全体の活性化、持続的な成長により再生することです。
具体的な取組みとしては、奥州市が策定した「奥州市中心市街地活性化基本計画」の各種事業に対して協力を行いました。

2. 中小企業の経営支援に関する態勢整備の状況

1. 本部融資部に経営支援の専門部署である企業支援課を設置し、営業店と協働して支援を行う態勢を整備しております。支援対象は常務会が特定した経営支援先を中心に、貸付条件の変更を行った先など多岐にわたります。
2. 支援対象先の状況において高度な支援が必要な場合は、専門家派遣制度を利用し、中小企業診断士、税理士などの助言を受けております。
3. 外部機関との連携については、中小企業再生支援協議会等と連携し、抜本的な事業再生に取り組んでおります。また、TKC東北会と「中小企業の経営力強化に向けた取組みに関する覚書」を締結し、中小企業の財務経営力・資金調達力の強化を支援しているほか、日本政策金融公庫と業務連携の覚書を締結し、地域密着型金融の機能強化に取り組んでおります。
4. 当金庫は中小企業経営力強化支援法における経営革新等支援機関(認定支援機関)として、経営改善支援に留まらず、創業・ものづくり補助金等申請の際は計画段階から関与し、支援しております。

3. 中小企業の経営支援に関する取組み状況

平成27年度は以下の取組みを行いました。

1. 創業・新規事業開拓の支援

- ・事業価値を見極める融資手法(不動産担保や個人保証に過度に依存しない融資)への取組みとして、無担保無保証の当金庫融資商品「ニュービジネスローン」の推進を図りました。
- ・「ニュービジネスローン」や奥州市・岩手県の制度融資を活用し、資金提供を図りました。平成27年度は20先158百万円の実績(内ニュービジネスローンは9先18百万円)となりました。
- ・平成26年度に続き、第3回目の当金庫主催「創業支援セミナー」(共催:奥州市、後援:奥州商工会議所、前沢商工会、岩手県信用保証協会、日本政策金融公庫)を開催しました。あわせて個別相談会も実施し、事業計画や資金調達等の相談にお応えしました。(セミナー参加12名、内個別相談9名)
- ・岩手県よろず支援拠点と連携し出張相談会を開催しました。創業希望者の相談に5件対応し、4先が創業することができました。

2. 経営改善・事業再生等の支援

- ・経営支援先として19先の企業を選定し、経営改善の支援を行いました。
- ・条件変更を行った先の内、重点管理先88先(平成27年度期首時点、経営支援先16先含む)を選定し、企業支援課と営業店がアフターフォローに取り組みました。
- ・認定支援機関として2件のものづくり補助金申請支援を行い、内1件が採択されました。
- ・中小企業再生支援協議会を利用して2先の経営改善計画策定支援を行い、既に計画策定が完了した先も含め、8先について金融機関連絡会議を開催しました。
- ・TKC東北会及びコンサルタント会社と連携し、認定支援機関による経営改善計画策定支援事業を、5先について取組み、内2先については計画策定致しました。
- ・岩手県よろず支援拠点と連携し、出張相談会を開催し、32先41件の相談にワンストップにて対応致しました。

3. ビジネスマッチ

- ・当金庫は地域の中小企業の販路拡大を図るため、ビジネスマッチに積極的に取り組んでおります。「ビジネスマッチ東北2015」に6社、「よい仕事おこしフェア」に1社、のべ7社が参加し商談等が活発に行われました。

4. 地域の活性化に関する取組み状況

地域活性化につながる多様なサービスの提供として、地域を担う若い世代への金融経済知識の普及活動に取り組んでおります。

平成27年度も、市内小中学生への「マネースクール」の実施や、市内高校生の「インターンシップ」受け入れ、商工会議所青年部が主催する「職場体験学習事業」へ協力いたしました。

- 詳しくは、当金庫ホームページをご覧ください。
<http://www.mizusawashinkin.co.jp/>

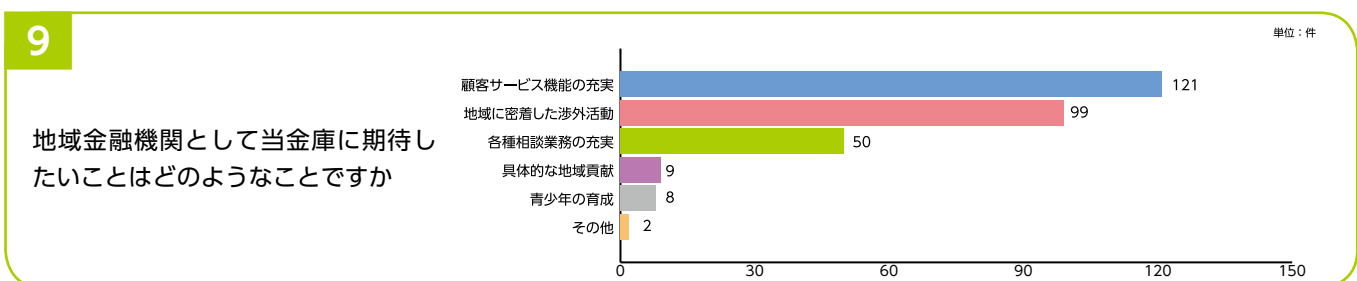
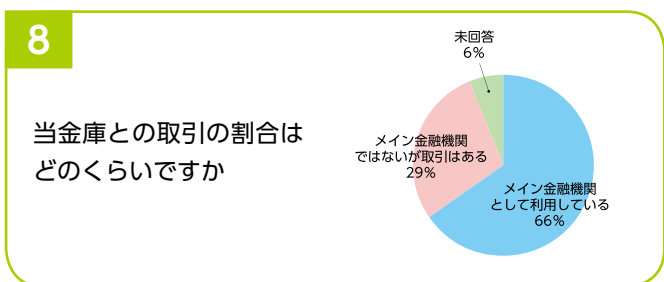
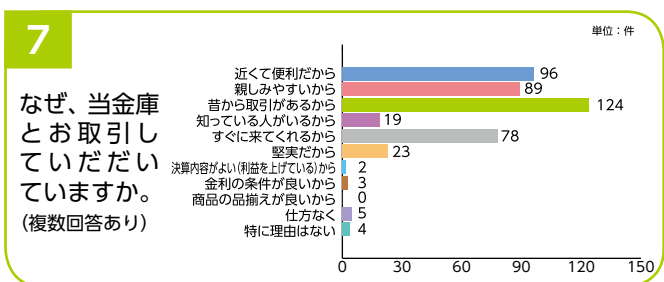
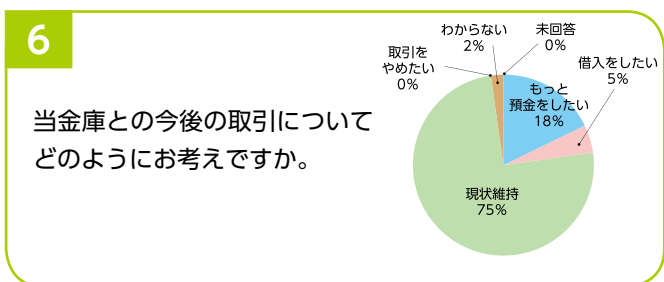
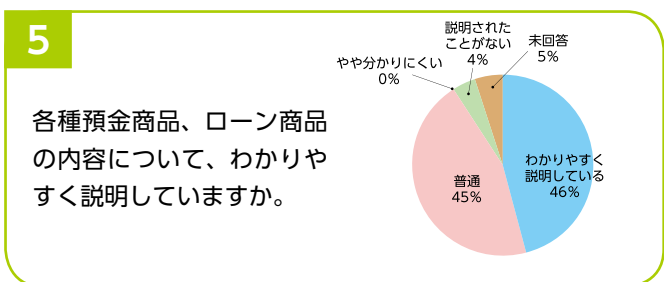
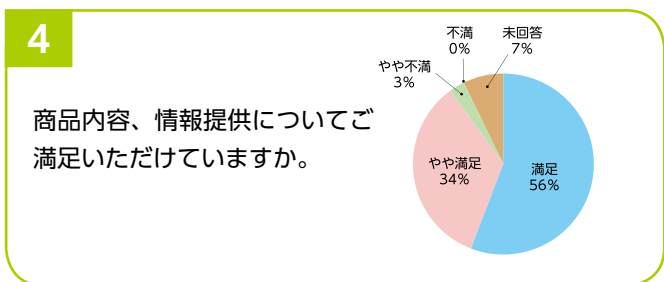
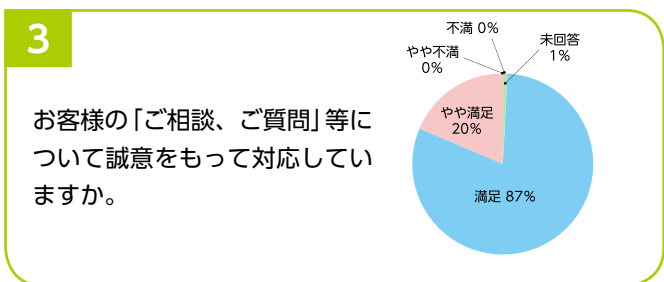
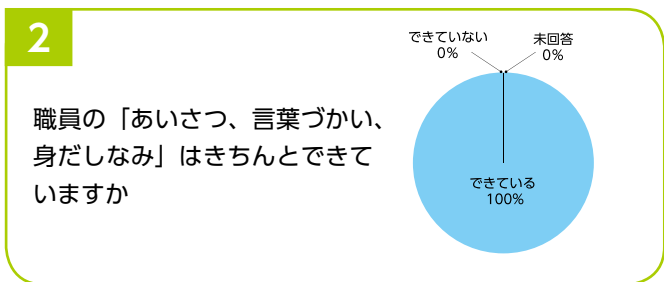
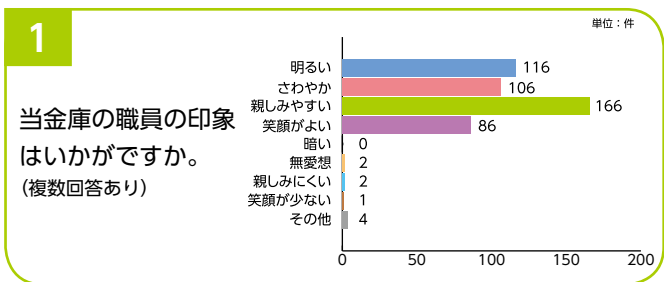
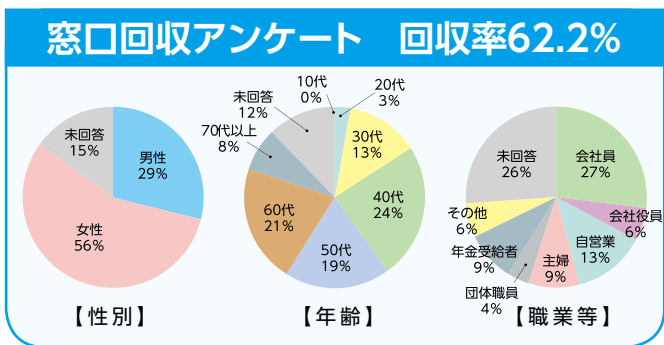
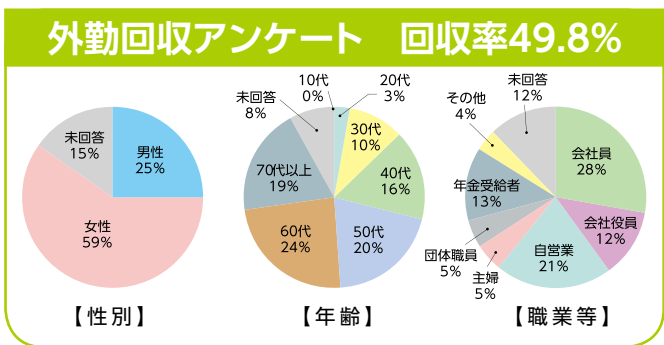


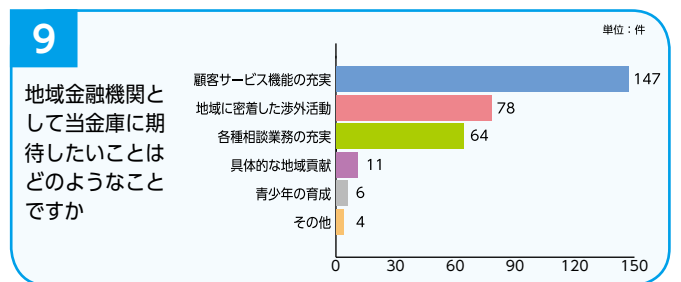
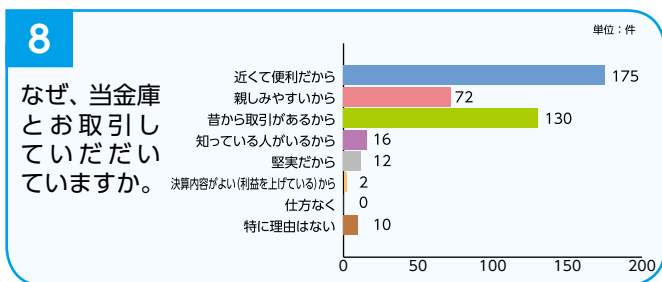
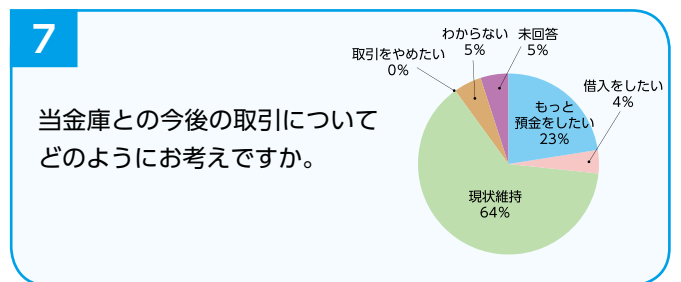
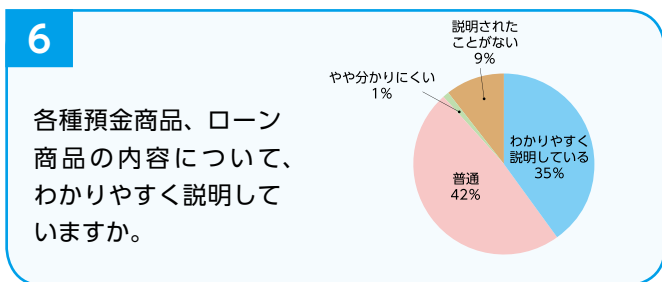
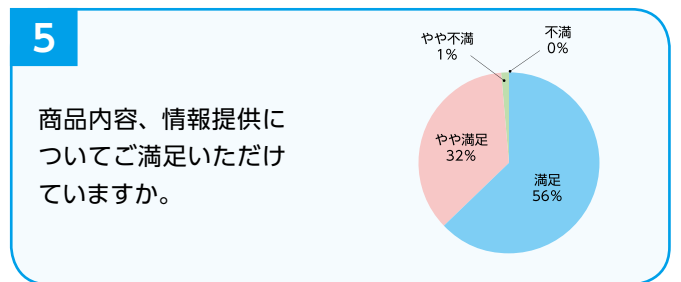
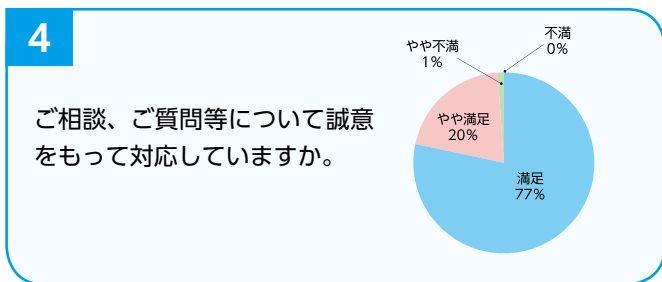
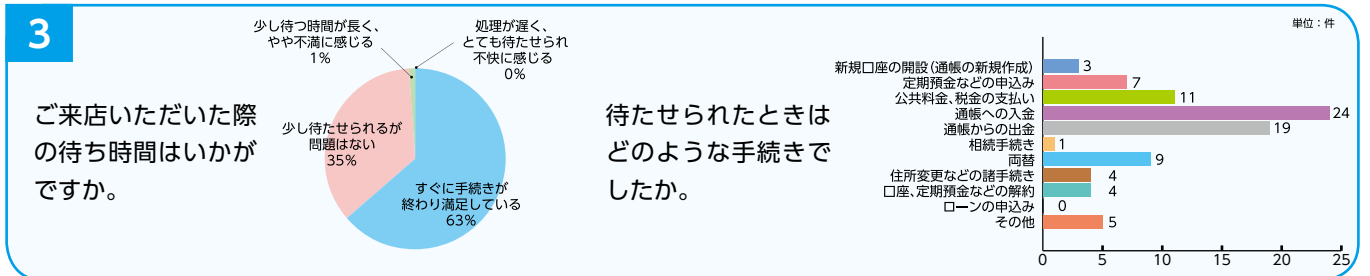
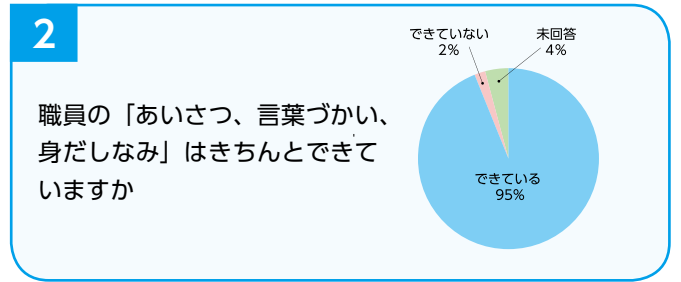
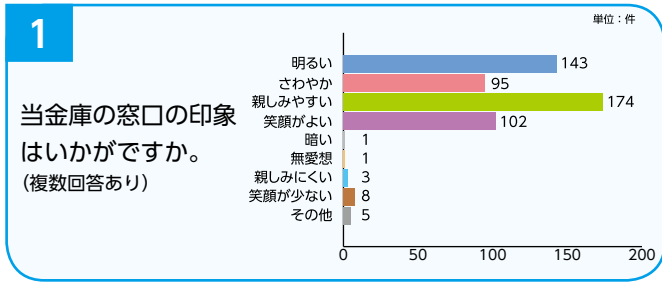
「お客様満足度」の向上に向けた取組みについて

水沢信用金庫では、お客様へのサービス向上を目指して、「お客様満足度」アンケートを実施させていただきました。

皆様からいただいた貴重なご意見を、今後の経営の参考とさせていただき、「お客様満足度」の向上に努めたいと考えております。

「お客様満足度」アンケートの実施内容は以下のとおりです。【実施期間：平成27年11月5日(木)～12月28日(月)】





「お客様アンケート」に基づく当金庫の取組みについて

1. 当金庫へのご意見・ご要望

項目	内容	件数
職員の対応等について	接客態度、商品説明など	45
店舗内外の環境	店舗立地・改装、駐車場収容台数、ATM台数など	10
商品・サービス	新商品の提供、サービスの多様化など	13
その他		12

2. 当金庫の取組み

- お客様のご要望にお応えし、休日ローン相談会を開催しております。
- ATMのご利用時間を延長いたしました。(全店：店舗内ATM 毎日8時～21時)
- 通帳の繰越がATMで可能になりました。
- お客様の経営、事業継承などを支援するため「創業支援セミナー、個別相談会」を昨年に引き続き開催いたしました。
- 環境に配慮した店舗づくりとして、照明等のLED化に取り組んでいます。

今後も「お客様の声」を真摯に受け止め、金融サービスの一層の向上に努めてまいります。

業務の種類

1. 預金及び定期積金の受入れ

2. 資金の貸付け及び手形の割引

3. 為替取引

4. 上記1～3の業務に付随する次に掲げる業務その他の業務

- (1) 債務の保証又は手形の引受け
- (2) 有価証券（(5)に規定する証書をもって表示される金銭債権に該当するもの及び短期社債等を除く。）の売買（有価証券関連デリバティブ取引に該当するものを除く。）又は有価証券関連デリバティブ取引（投資の目的をもってするものに限る。）
- (3) 有価証券の貸付け
- (4) 国債証券、地方債証券若しくは政府保証債券（以下「国債証券等」という。）の引受け（売出しの目的をもってするものを除く。）並びに当該引受けに係る国債証券等の募集の取扱い及びはね返り玉の買取り
- (5) 金銭債権の取得又は譲渡及びこれに付随する業務（除く商品投資受益権証書の取得・譲渡に係る付随業務）
- (6) 短期社債等の取得又は譲渡
- (7) 次に掲げる者の業務の代理
㈱日本政策金融公庫・独立行政法人中小企業基盤整備機構・独立行政法人農林漁業信用基金
独立行政法人福祉医療機構・日本酒造組合中央会・一般財団法人建設業振興基金
一般社団法人しんきん保証基金・一般社団法人全国石油協会・独立行政法人住宅金融支援機構
年金積立金管理運用独立行政法人・独立行政法人勤労者退職金共済機構・日本銀行
- (8) 次に掲げる者の業務の代理又は媒介（内閣総理大臣の定めるものに限る）
金庫（信用金庫及び信用金庫連合会）
- (9) 国、地方公共団体、会社等の金銭の収納その他金銭に係る事務の取扱い
- (10) 有価証券、貴金属その他の物品の保護預り
- (11) 振替業
- (12) 両替

5. 国債証券、地方債証券、政府保証債券その他の有価証券について金融商品取引法により信用金庫が営むことができる業務（上記4により行う業務を除く。）

6. 法律により信用金庫が営むことのできる業務

- (ア) 保険業法（平成7年法律第105号）第275条第1項により行う保険募集
- (イ) 高齢者の居住の安定確保に関する法律（平成13年法律第26号）の定めるところにより、高齢者居住センターからの委託を受けて行う債務保証の申込の受付及び保証債務履行時の事務等（債務保証の決定及び求償権の管理回収業務を除く。）
- (ウ) 電子記録債権法（平成19年法律第102号）第58条第2項の定めるところにより、電子債権記録機関の委託を受けて行う電子債権記録業に係る業務

店舗一覽



店舗名 (店舗コード)	所在地	キャッシュサービスコーナー		
		取扱い	平日	土日祝日
本店 (001)	奥州市水沢区字日高西71番地1 TEL. 0197-23-5191	預入・支払・振込	8:00~21:00	8:00~21:00
前沢支店 (002)	奥州市前沢区駅東二丁目9番地3 TEL. 0197-56-5511	預入・支払・振込	8:00~21:00	8:00~21:00
江刺支店 (003)	奥州市江刺区川原町82番地 TEL. 0197-35-2163	預入・支払・振込	8:00~21:00	8:00~21:00
金ケ崎支店 (004)	胆沢郡金ケ崎町西根西地蔵野35番地1 TEL. 0197-44-5400	預入・支払・振込	8:00~21:00	8:00~21:00
原中支店 (005)	奥州市水沢区太日通り三丁目6番22号 TEL. 0197-24-6121	預入・支払・振込	8:00~21:00	8:00~21:00
羽田支店 (006)	奥州市水沢区羽田町宝生35番地16 TEL. 0197-25-5015	預入・支払・振込	8:00~21:00	8:00~21:00
南支店 (007)	奥州市水沢区西上野町10番4号 TEL. 0197-24-5126	預入・支払・振込	8:00~21:00	8:00~21:00
駅前支店 (008)	奥州市水沢区中町133番1 TEL. 0197-25-2662	預入・支払・振込	8:00~21:00	8:00~21:00
胆沢支店 (011)	奥州市胆沢区若柳字甘草13番地 TEL. 0197-46-4081	預入・支払・振込	8:00~21:00	8:00~21:00
東支店 (012)	奥州市水沢区佐倉河字前田24番地 TEL. 0197-22-5300	預入・支払・振込	8:00~21:00	8:00~21:00
あねたい支店 (013)	奥州市水沢区上姉体二丁目1番30 TEL. 0197-47-5070	預入・支払・振込	8:00~21:00	8:00~21:00

店舗外キャッシュサービスコーナー

設置場所	所在地	取扱い	平日	土日祝日
胆沢病院内	奥州市水沢区字龍ケ馬場61	預入・支払・振込	8:00~19:00	8:00~19:00(土曜日のみ)
水沢病院内	奥州市水沢区大手町三丁目1	預入・支払・振込	8:00~19:00	8:00~19:00(土曜日のみ)
いわて生協コープ「アテルイ」内	奥州市水沢区佐倉河字東沖ノ目123	支払・振込	8:00~21:00	8:00~21:00
奥州市役所正面入口前	奥州市水沢区大手町一丁目1	支払・振込	8:00~19:00	8:00~19:00(土曜日のみ)
金ケ崎町役場内	胆沢郡金ケ崎町西根南町22-1	支払・振込	8:00~18:00	—
ジョイス水沢佐倉河店内	奥州市水沢区佐倉河字東柳の町10-1	支払・振込	10:00~21:00	10:00~21:00(土曜日) 9:00~21:00(日祝日)
ジョイス龍ケ馬場店内	奥州市胆沢区小山字龍ケ馬場48-1	支払・振込	10:00~21:00	10:00~21:00(土曜日) 9:00~21:00(日祝日)
江刺総合支所東口	奥州市江刺区大通り1-8	支払・振込	8:00~21:00	8:00~21:00
イオンスーパーセンター金ケ崎店内	胆沢郡金ケ崎町三ヶ尻荒巻165	支払・振込	8:00~21:00	8:00~21:00
XYZ(ジーズ)水沢店内	奥州市水沢区佐倉河字蟹沢31	預入・支払・振込	9:00~21:00	9:00~21:00
XYZ(ジーズ)水沢日高店内	奥州市水沢区字田小路92-2	預入・支払・振込	9:00~21:00	9:00~21:00

地域とのふれあい

信用金庫は、営業地域を限定しているからこそ実践できる親しみのサービスを提供しています。「Face to Face」を合言葉に、できるだけ大勢のお客様と接し、そして一人ひとりのお客様にきめ細かいサービスを提供できるよう努めています。

当金庫の役職員はこの地域に居住し、公私ともに皆様とお付き合いをさせていただいております。



清掃活動



【JR水沢駅周辺】

《6月15日の信用金庫の日》を契機に、平成19年6月より、毎月15日を「美化運動」の日とし、店舗周辺をはじめとする地域内の清掃活動に取り組んでおります。

また、お花見シーズン前には、全役職員が参加し、水沢公園の清掃活動を行っております。



【水沢公園】

地域行事への参加

各地域の「お祭り」に積極的に参加・お手伝いしております。

【水沢：ざっつあかまつり】(全役職員参加)



【江刺：甚句まつり】(江刺支店職員参加)



【前沢：春まつり】(前沢支店職員参加)



★ 地域振興事業等への協賛・後援

当金庫は、金融を通じての「経済的貢献」だけでなく、「社会的貢献」「文化的貢献」を行う社会的責任を有していると考え、地域振興事業等へ協賛・後援をしております。

【水沢公園桜まつり：ライトアップ】

・4月9日～5月5日 桜まつり開催期間中、当金庫では「桜のライトアップ」を行っております。



【岩手競馬水沢信用金庫杯・岩鷲賞】《当金庫は岩手競馬を応援しています。》

・7月5日「水沢信用金庫杯・岩鷲賞」を開催いたしました。
開催日には来場者プレゼントとして「先着500名様」に粗品を進呈いたしました。



【奥州水沢花火大会】

・当金庫では毎年、「奥州水沢花火大会」へ協賛しております。
今年度も、真夏の夜空に「大スターマイン」を打ち上げ、観覧者の皆様に喜ばれております。



【くくり雛まつり】

・城下町水沢、春の風物詩「くくり雛まつり」へ協賛しております。



教育、文化、スポーツ振興
への協賛・協力



理事長賞作品



【桜街道：絵画コンクール表彰】



教育長賞作品



【水沢信用金庫杯 ビーチボール大会】
(1月11日：Zアリーナにて開催)



【水沢信用金庫杯 野球大会】
(8月30日：水沢公園野球場にて開催)



【水沢信用金庫杯 パークゴルフ大会】
(9月9日：さくらの湯パークゴルフガーデンにて開催)

しんきん「ふれあい旅行」

・10月19日～10月23日
岩手県信用金庫協会主催 ～しんきんの翼～
「種子島・屋久島・瀬戸内海クルーズ5日間の旅」を実施いたしました。

(29名参加)

・3月15日～3月18日
しんきんレディース《定期積金ふれあい5》
「縁結びの神様『出雲大社』参拝『水木しげるさん』を偲び～世界遺産『姫路城』へ」の旅を実施いたしました。

(32名参加)



「種子島宇宙センター」前にて



「出雲大社」前にて

★ その他

水沢信用金庫 あねたい支店 新設オープン!

7月4日(月)姉体地区に

このたび、当金庫11番目の営業店として水沢区姉体地区に、「あねたい支店」を新設開店いたしました。店舗内には、地域コミュニティの憩いの場として広い交流ホール等を設置し、地域の皆様方が気兼ねなく交流できるスペースを確保いたしました。どうぞお気軽にご利用ください。

職員一同皆様のご来店を心よりお待ちしております。



所在地：奥州市水沢区上姉体2丁目1番30 電話番号：0197-47-5070 FAX番号：0197-28-1616
営業時間：窓口 平日…9:00～15:00 ATM 平日…8:00～21:00 土日祝日…8:00～21:00

・献血活動への協力

社会貢献の一環として、献血に協力しています。



・＜奥州市・金ケ崎町＞

地域見守り支援ネットワーク

「みまもりおーネット」に協力しています。

当金庫は「みまもりおーネット」活動に協力しています。

日常業務を通じ、高齢者等の「ちょっと気になる…」ということに気づいたときに、奥州市や金ケ崎町の関係機関へ連絡することで、高齢者等の事故、孤立防止、認知症の方の支援、消費者被害の防止、災害時における安否確認などの課題に、個人情報の保護に配慮しながら、地域の皆様とともに取り組んでいます。

お客様組織

営業店ごとに地域のお客様との交流を深める組織をつくり、積極的に活動をしています。

団体名	担当支店	団体名	担当支店
前信会	前沢支店	羽田信羽会	羽田支店
江信会	江刺支店	なんしん会	南支店
信金友の会	金ケ崎支店	胆信会	胆沢支店
原信会	原中支店	東信会	東支店

「安心してお取引いただくために」

電話やダイレクトメール、電子メール等による不正な振込請求、金銭を騙し取る悪質な詐欺事件(振り込め詐欺)や通帳、キャッシュカード、印鑑等の偽造・盗難による預金の不正な払出しが多数発生しています。

当金庫では、お客様に安心してお取引いただくために以下のような取組みを行っております。お客様が被害に遭われないための取組みであることをご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

振り込め詐欺・特殊詐欺の防止について

子供さんやお孫さんを装い、「交通事故の示談金」「借金の返済」等と言って、指定した金融機関の口座に現金を振込ませる「**オレオレ詐欺**」。ヤミ金融業者等による法外・強引な返済請求や、身に覚えのない利用料金や和解金等を請求し、指定した金融機関の口座に現金を振込ませる「**違法な取立、架空請求詐欺**」。金融機関等を装って「お金を貸します」といった内容のニセのダイレクトメール・携帯メール等を送りつけて、保証金や保険金名目で現金を振込ませる「**融資保証金詐欺**」。これらの被害を未然に防止するため、次のような対策を講じております。

- ・ATMを利用した現金での10万円を超えるお振込はご利用いただけません。現金での10万円を超えるお振込をお申し付けいただく場合は、窓口にて本人確認書類のご提示をお願いしております。
- ・ATMコーナーでの携帯電話の使用は、ご遠慮いただいております。携帯電話で通話をしながらATMの操作をしているお客様へは、振り込め詐欺被害防止の観点からお声を掛けさせていただくことがございます。
- ・高額な金額での振込、多額な預金の払出し等の取引の場合、お客様にその理由をご確認させていただいております。また、不審な理由・態様等の場合は、最寄りの警察署等へ「相談・通報」させていただきます。

お客様へ、おたずねします。あなたのお金を守るアンケートです。

- | | |
|-----------------------------|----------|
| ●振込(引出)を、突然、息子や孫から電話で頼まれた | はい ・ いいえ |
| ●息子や孫から「電話番号が変わった」と連絡があった | はい ・ いいえ |
| ●この振込(引出)は、誰にも相談しないで一人で決めた | はい ・ いいえ |
| ●金融商品のパンフレットが届き、名義貸しなどを頼まれた | はい ・ いいえ |
| ●電話で「あなたも共犯だ」「逮捕される」などと言われた | はい ・ いいえ |
| ●現金を、レターパックや宅配便等で送るように指示された | はい ・ いいえ |

警察からの指導に基づいて実施しています。岩手県警察・水沢信用金庫

キャッシュカードについて

盗難・偽造キャッシュカードによる不正払戻への対応のため、キャッシュカードによる1日あたりの払戻限度額を下記のとおりとさせていただいております。

現金払戻限度額	キャッシュカードによる振込限度額
100万円(1回あたり50万円迄)	200万円

上記限度額は、当金庫および提携金融機関ATMでの払戻の合計額です。

なお、限度額を超える現金の払戻、カードによる振込の際は、当金庫窓口にて、通帳と届出印鑑によりお手続きください。

※1日あたりの「現金払戻限度額」は、お客様のお申し出により、口座単位に当金庫所定の限度額の範囲内で任意に設定(増額・減額)いただけます。また、1日あたりの現金払戻限度回数も同様に任意に設定いただけます。ご希望のお客様は、窓口までお問い合わせください。

～ 盗難にご注意ください! ～

- ・キャッシュカードは、預金通帳やお届け印と同様に大切なものですので、厳重に管理してください。
- ・キャッシュカードを入れたお財布などを長時間お手元から放さないようご注意ください。車の中等に放置しないでください。
- ・万一、キャッシュカードが盗まれたり紛失した場合は、ただちに下記連絡先にご連絡ください。
- ・空き巣や車上盗難などの被害に遭われたときは、キャッシュカードが盗まれていなくても、磁気データがコピーされている可能性がありますので、念のため下記連絡先にご連絡ください。

盗難にあった・紛失したときは…

時間帯(24時間対応)	連絡先
平日の8時30分～17時30分迄の場合	お取引店へご連絡ください
休日および早朝・夜間の場合	「SSS監視センター」 0120-793-714(フリーダイヤル) 022-261-4811

～ 暗証番号のお取扱いにご注意ください! ～

- ・暗証番号は、他人に知られないよう、充分注意してください。
 - とくに、暗証番号をメモしないでください。また、暗証番号を推測される手掛かりとなるものは、キャッシュカードと一緒に保管しないでください。
 - ・生年月日、ご自宅・職場の電話番号、車のナンバー、住所の地番、その他第三者が容易に推測することができる番号などを暗証番号とすることは避けてください。
 - ・キャッシュカードの暗証番号を「貴重品ボックス」などの他のサービスを利用する際の暗証番号にして使うことは避けてください。
 - ・暗証番号は定期的に変更することをお奨めいたします。(ATMで変更可能です。)
 - ・暗証番号は、キャッシュカード毎、または各お取引金融機関毎に別々にすることをお奨めいたします。
 - ・ATMなどを利用されるときは、暗証番号を後ろから盗み見られたりしないようご注意ください。
 - ・信用金庫職員、警察官などが店舗外や電話などでキャッシュカードの暗証番号、口座番号をお尋ねしたり、キャッシュカードをお預かりすることはありません!不審な点がある場合には、直ちに当金庫にご照会ください。
 - ・こまめに通帳記帳をするなど、預金残高をご確認ください。
- 残高、取引明細確認(テレホンバンキング) → ☎0120-019-751(無料です。)

「振り込め詐欺」犯罪を未然防止



「振り込め詐欺」を未然に防いだとして、前沢支店・東支店の2店舗に感謝状が贈呈されました。当金庫は、これからも金融犯罪の未然防止に努めてまいります。

各種ご案内

預金商品のご案内

種類	しくみ・特色	期間	お預入額
当座預金	ご商売のお支払で小切手、手形をご利用いただける預金です。	出し入れ自由	1円以上
普通預金	いつでも必要なときに出し入れできます。給与・年金等のお受取、公共料金の自動支払、カードによる払出等お財布代わりにご利用できます。	出し入れ自由	1円以上
総合口座	一冊の通帳に「貯める」「受け取る」「支払う」「借りる」をセットした家計簿代わりの預金です。必要なときには自動融資をご利用いただけます。	—	—
決済用普通預金	預金保険法により全額保護される無利息の普通預金です。	出し入れ自由	1円以上
スーパー定期	最低預入金額100円からと、幅広いお客様にご利用いただける定期預金です。個人で3年以上のものは半年毎の複利計算で有利です。	1ヵ月以上 5年以内	100円以上
大定期預金	預入時の金融情勢に応じて有利な金利を設定した定期預金です。	1ヵ月以上 5年以内	1,000万円以上
ふれあい定期預金	当金庫で年金をお受取りになっているお客様と、新たに年金受取りを開始されるお客様を対象に金利を優遇した「スーパー定期」です。	1年	100円以上 150万円以下
スーパー積金	暮らしの目標に向かって毎月一定額を積み立てる無理のない資金作りの預金です。予定の時期に満期日と目標額を合わせてお始め下さい。	6ヵ月以上 5年以内	100円以上
ふれあい5積金	スーパー積金5口を1セットとした積金で、毎年1口が満期となります。ご契約いただいたお客様を対象に旅の情報をご提供いたします。	5年	10,000円以上
消費税納付応援積金	消費税を納付するお客様に役に立つ、金利優遇の自動積立預金です。	6ヵ月以上 2年以内	10,000円以上 (掛込総額300万円以内)
財形預金	毎月の給与、ボーナスから天引きで無理なく財産づくりができます。住宅取得のための住宅財形および老後のための財形年金は、合計550万円まで非課税です。	一般3年以上 住宅・年金5年以上	1,000円以上

融資商品のご案内

個人向け	特色	ご融資金額	ご利用期間
個人ローン	結婚、旅行、家電購入等、お使いみち自由でご利用いただけます。 (一社)しんきん保証基金保証)	500万円以内	10年以内
シニアライフローン	当金庫に年金受取口座をお持ちの方、または年金受取口座指定のお手続きをされた方は、リフォーム、旅行等お使いみち自由でご利用いただけます。(一社)しんきん保証基金保証)	100万円以内	10年以内
マイカーローン	マイカー購入・免許の取得・車検費用等にご利用いただけます。	マイカーローン (一社)しんきん保証基金保証)	1,000万円以内 10年以内
		マイカーローン モア (株)オリエントコーポレーション保証)	500万円以内 8年以内 (+返済据置最長6ヵ月)
教育ローン	大学等のご入学資金や授業料のお支払いにご利用いただけます。	しんきん教育ローン (一社)しんきん保証基金保証)	1,000万円以内 16年以内
		教育カードローン (一社)しんきん保証基金保証)	300万円以内 5年以内
		学資応援団 (株)オリエントコーポレーション保証)	500万円以内 3年 (原則自動更新)
カードローン	急な出費にお役立てください。	しんきんカードローン (一社)しんきん保証基金保証)	50万円以内 1年～3年 (原則自動更新)
		しんきんきゃっする (信金ギャランティ(株)保証)	900万円以内 3年 (原則自動更新)
住宅ローン	マイホームの新築、購入、増改築等にご利用いただけます。お借入時、当初3年間、5年間または10年間固定金利でご利用いただけます。	(一社)しんきん保証基金保証)	8,000万円以内 35年以内
		(全国保証(株)保証)	10,000万円以内
フリーローン	結婚、旅行、家電購入等、お使いみち自由で、事業資金にもご利用いただけます。	ベストサポート500 (株)フレディセゾン保証)	500万円以内 10年以内
			300万円以内 7年以内
事業者向け	特色	ご融資金額	ご利用期間
一般のご融資	手形割引・・・一般商業手形の割引をいたします。 手形貸付・・・仕入れ資金などの短期運転資金をご融資いたします。 証書貸付・・・設備資金など長期の資金需要にお応えいたします。 当座貸越・・・約定金額まで当座決済資金をご融資いたします。	—	—
事業者カードローン	事業資金をカードでご利用いただける便利なローンです。(若手県信用保証協会保証)	2,000万円以内	1年、2年(更新可)
制度融資	岩手県、奥州市などの制度融資を積極的に取扱っております。	—	—
ニュービジネスローン	創業・新規事業開始時等の資金需要にお応えいたします。	500万円以内	運転5年以内 設備7年以内
メンバーズローン	商工会議所、商工会の会員の方がご利用いただける無担保ローンです。	1,000万円以内	5年以内
	岩手県法人会の会員の方がご利用いただける無担保ローンです。	1,000万円以内	運転5年以内 設備7年以内
岩手競馬サポートローン	岩手競馬関係に従事している方の運転資金需要にお応えいたします。	500万円以内	2年以内
代理貸付	信金中央金庫・日本政策金融公庫などのご融資は、当金庫窓口にご相談ください。	—	—



サービス業務のご案内

	内 容
しんきんキャッシュカードサービス	当金庫のキャッシュカードは、全国の信用金庫のATMコーナーで、ご入金・お引き出し・お振込みができます。ゆうちょ銀行ではご入金・お引き出しが、全国の銀行およびコンビニ等ではお引き出しができます。 ※暗証番号は、当金庫のATMで、いつでも何回でも変更ができます。 ※一日あたりの現金払出し可能額を100万円までとさせていただきます。
ATM振込	ATMを利用し、キャッシュカードや現金で、全国の金融機関へのお振込みができます。 ※振込手数料が窓口扱いよりお得です。
給与の自動受取り	給与・ボーナスの支給日に、ご指定の預金口座に振込まれます。当金庫へ給与振込を指定された場合、当金庫ATMをご利用の際の時間外利用手数料が、平日・休日にかかわらず終日無料となります。
年金の自動受取り	各種年金がお受取り日にご指定の預金口座に振込まれます。当金庫へ年金振込を指定された場合、当金庫ATMをご利用の際の時間外利用手数料が、平日・休日にかかわらず終日無料となります。
振込・代金取立	当金庫本支店および全国の金融機関へ迅速にお振込み、手形・小切手等のお取立ができます。
自動支払い	各種公共料金、税金、保険料、学費、各種クレジットなどを、ご指定の預金口座から自動支払いいたします。
窓口収納	各種税金、国民年金、社会保険料などの公金、各種公共料金、各種クレジットなどの払込みができます。
自動振込サービス	毎月一定額（ボーナス月等は増額も可能）を、ご指定の日にご指定の預金口座にお振込みいたします。1度のお手続きでご利用いただけ、仕送りなどにも安心・便利です。
個人インターネットバンキング モバイルバンキング	インターネット接続のパソコン・スマートフォンや携帯電話から、残高・入出金明細照会、振込・振替、および税金・各種料金の払込み（ペイジーマーク）ができます。
法人インターネットバンキング	インターネット接続のパソコンから、各種照会、振込、総合振込、給与振込、口座振替の利用が可能な、法人・個人事業主様向けのサービスです。
ペイジー口座振替受付サービス ネット口座振替受付サービス	キャッシュカード発行済の普通預金口座、総合口座をお持ちの個人のお客様の「口座振替の申込」が、企業、百貨店、保険代理店等に設置されている端末、または、パソコンや携帯電話・スマートフォンから行えます。
FB・HB・ANSER	お客様のパソコンやFAXなどと当金庫を電話回線で接続し、残高・入出金明細照会や振込・振替ができます。
クレジットカード提携	しんきんVISAカード・しんきんJCBカードの取扱いを行っております。日本全国はもとより、世界の有名店でのショッピングにご利用いただけます。
デビットカードサービス	全国のJ-Debit加盟店やローソンでお買い物やご飲食の際に、当金庫のキャッシュカードでご利用代金を預金口座から即時決済できます。
スポーツ振興くじ (toto) 当選金払戻業務	スポーツ振興くじ (toto) の当選金の払い戻しを行っております。 (取扱店: 本店、江刺支店)
しんきん電子記録債権サービス	手形の代替や売掛債権の流動化を図り、事業者の資金調達の円滑化等が期待されている新しい決済サービスです。
貸 金 庫	重要な書類などを安全に保管し、盗難、災害などの不慮の事故からお守りします。 (設置店: 本店)
夜 間 金 庫	営業終了後や休日に売上金等を安心してお預けいただけます。
国 債 窓 口 販 売	個人向け国債の取扱いを行っております。
生 命 保 険 窓 口 販 売	個人年金保険および学資保険の取扱いを行っております。 お客様のライフプランに合わせた資産形成をお手伝いいたします。
損 害 保 険 窓 口 販 売	住宅ローンご利用のお客様に対して、マイホームの夢と安心をサポートする長期火災保険「しんきんグッドすまいる」の取扱いを行っております。また、もしもの時に安心、ケガに備える「しんきんの標準傷害保険」の取扱いを行っております。

※各業務、各保険の詳細な内容等につきましては、営業店の窓口までお問い合わせください。

各種手数料一覧

為替手数料

振込手数料 (1件につき)

種 類	振込金額	当金庫あて		他金融機関	
		同一店内	他支店		
ATM 振込	キャッシュカード使用の場合 (※)	3万円未満	無 料	108円	324円
		3万円以上	無 料	216円	540円
	現 金 の 場 合	3万円未満	無 料	108円	432円
		3万円以上	無 料	216円	648円
個人インターネットバンキング テレホンバンキング	3万円未満	無 料	108円	324円	
	3万円以上	無 料	216円	540円	
窓 口 振 込 (総 合 振 込 を 含 む)	3万円未満	108円	216円	540円	
	3万円以上	324円	432円	756円	
自 動 振 込 サ ー ビ ス	3万円未満	無 料	216円	540円	
	3万円以上	無 料	432円	756円	
法人インターネットバンキング F B ・ H B 振 込 サ ー ビ ス F D 交 換 方 式	3万円未満	無 料	108円	432円	
	3万円以上	無 料	216円	648円	

※ATM振込は、他金融機関のカードおよび取扱時間帯によりATM利用手数料が必要となります。

その他の手数料 (1件または1通につき)

種 類	当店分	当金庫他支店あて	他金融機関		
取 立 手 数 料	同一交換所内(当所) 手 形	無 料	216円	216円	
	同一交換所内(当所) 小 切 手	無 料	無 料	216円	
	同一交換所 以外(他所)	普通扱い 手形・小切手	—	432円	648円
		至急扱い 手形・小切手	—	—	864円
振 込 ・ 代 金 取 立 組 戻 料					
不 渡 手 形 返 却 手 数 料				648円	
取 立 手 形 店 頭 呈 示 料					
他 金 融 機 関 ・ 当 庫 他 支 店 「 振 込 」 訂 正 料				540円	
他 金 融 機 関 「 予 約 振 込 」 取 消 料				324円	

ATM利用手数料

ご利用日時	キャッシュカードの種類		
	全国のしんきんキャッシュカード	ゆうちょ銀行カード 他金融機関のカード	
平 日	8:00～ 8:45	108円	216円
	8:45～18:00	無 料	108円
	18:00～21:00	108円	216円
土 曜 ・ 日 曜 ・ 祝 日	8:00～21:00	108円	216円

※当金庫キャッシュカードでの入金取引は無料です。

※給与受取り・年金受取り口座のキャッシュカードで当金庫ATMをご利用の場合、時間外利用手数料が平日・休日にかかわらず終日無料となります。

※お取扱時間は、当金庫の最大稼働時間と表示しております。当金庫以外のカードでのご利用可能時間につきましては、口座をお持ちの金融機関またはクレジット会社にお問い合わせください。

両替手数料

合 計 枚 数	手数料
100枚以下	無 料
101枚～500枚	216円
501枚～1,000枚	324円
1,001枚～2,000枚	540円
2,001枚以上	540円+ 1千枚毎に324円を加算

※両替枚数は「お客様のご持参枚数合計」または「お客様への交付枚数合計」のいずれか多いほうの枚数とさせていただきます。

貸金庫手数料 (使用料)

種 類	高さ×幅×奥	手数料 (6ヵ月間)
第1種	56×248×540	4,536円
第2種	75×248×540	5,184円
第3種	150×248×540	7,776円
第4種	300×248×540	12,960円

夜間金庫手数料 (使用料)

	手数料
1ヵ月間	3,240円



融資手数料

繰上げ償還・完済等手数料(証書貸付)

種 類	手数料
[固定金利選択型住宅ローン] (特約期間内)	
一部繰上げ償還(H21.6.8以降の取扱が対象)	21,600円
全部繰上げ償還(H21.6.8以降の取扱が対象)	32,400円
[上記以外]	
一部繰上げ償還	5,400円
全部繰上げ償還	
[条件変更手数料]	5,400円

取扱手数料

種 類	手数料
住宅ローン	32,400円
全国保証(株)付住宅ローン(不動産担保手数料含む)	54,000円

各種証明書発行手数料

種 類	手数料
融資証明書	5,400円
融資残高証明書(1通)	216円

不動産担保取扱手数料

種 類	手数料
[新規の場合]	
住宅ローンの担保権	
10百万円未満	10,800円
10百万円以上	21,600円
住宅ローン以外の担保権	
10百万円未満	5,400円
10百万円以上1億円未満	10,800円
1億円以上2億円未満	21,600円
2億円以上	32,400円
[変更の場合]	
住宅ローン	5,400円
住宅ローン以外	10,800円

その他手数料

種 類	手数料
債務保証料	1%または2,160円のいずれか高い金額(ただし、保証額の4%以内)
手形・証書貸付用紙代	10円

その他主な手数料

種 類	手 数 料	
預金残高証明書発行手数料(1通)	216円	
通帳・証書再発行(1冊・1枚) *注	1,080円	
キャッシュカード再発行(1枚) *注	1,080円	
個人情報開示手数料(郵送料別途)	648円	
当座小切手用紙代(1冊)	648円	
約束手形用紙代(1冊)	432円	
マル専口座開設手数料	3,240円	
マル専手形用紙代(1枚)	540円	
個人インターネットバンキング基本料(月額)	無 料	
法人インターネットバンキング基本料(月額)	オンライン(照会・振込・振替)のみ利用	1,080円
	総合振込・給与振込・口座振替のデータ伝送も全て利用	2,160円

*注 名義変更に伴う再発行については無料となります。

※この一覧に記載した手数料金額には消費税が含まれています。



金庫の事業の運営に関する事項

法令等遵守（コンプライアンス）の取組み

当金庫は会員制度に基づく協同組織金融機関として、高い公共性と地域社会の発展に貢献するという重大な社会的責任と使命を十分に認識し、金融取引における法令、ルール、社会的規範を遵守し、健全、堅実な業務運営に努めております。

組織体制として、役員・本部各部及び営業店全店のコンプライアンス担当者によるコンプライアンス委員会を設置し、コンプライアンス態勢の整備や遵守状況の把握に努めております。

また、基本理念として「水沢信用金庫行動綱領」を、具体的な手引書として「コンプライアンスマニュアル」を策定、全役職員に配布し、一人ひとりが法令や社会的規範などのルールを厳正に遵守し、そして責任ある健全な業務遂行に努めるよう周知徹底を図っております。

当金庫は、今後も、実施計画書である「コンプライアンス・プログラム」の内容を継続的に見直すとともに、関連部門間の連携及び役職員に対する教育を強化し、全役職員一丸となってコンプライアンスの強化に取り組んでまいります。

■ ■ 水沢信用金庫行動綱領 ■ ■

〈信用金庫の社会的使命と公共性の自覚と責任〉

1. 信用金庫のもつ社会的責任と公共的使命を常に自覚し、責任ある健全な業務運営の遂行に努める。

〈質の高い金融等サービスの提供と地域社会発展への貢献〉

2. 経済活動を支えるインフラとしての機能はもとより、創意と工夫を活かし、お客様のニーズに応えるとともに、セキュリティレベルの向上や災害時の業務継続確保などお客様の利益の適切な保護にも十分配慮した質の高い金融および非金融サービスの提供等を通じて、地域経済・地域社会の発展に貢献する。

〈法令やルールの厳格な遵守〉

3. あらゆる法令やルールを厳格に遵守し、社会的規範に決してもとることのない、誠実かつ公正な業務運営を遂行する。

〈地域社会とのコミュニケーション〉

4. 経営等の情報の積極的かつ公正な開示をはじめとして、広く地域社会とのコミュニケーションの充実を図る。

〈従業員の人権の尊重等〉

5. 従業員の人権、個性を尊重するとともに、安全で働きやすい環境を確保する。

〈環境問題への取組み〉

6. 資源の効率的な利用や廃棄物の削減を実践するとともに、環境保全に寄与する金融サービスを提供するなど、環境問題に積極的に取り組む。

〈社会貢献活動への取組み〉

7. 信用金庫が社会の中においてこそ存続・発展し得る存在であることを自覚し、社会とともに歩む「良き企業市民」として、積極的に社会貢献活動に取り組む。

〈反社会的勢力との関係遮断〉

8. 社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力は、これを断固として排除し、関係遮断を徹底する。

以上

個人情報保護について

当金庫は、個人情報の適切な保護と利用を図るために、個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号）および金融分野における個人情報保護に関するガイドライン、その他の関係法令等を遵守するとともに、その継続的な改善に努めます。また、個人情報の機密性・正確性の確保に努めます。

当金庫では、お客様の個人情報に関する事項について、店頭のパスターやホームページへの掲載等により、その利用目的等を個人情報保護宣言（プライバシーポリシー）として公表しております。

顧客保護等管理方針について

当金庫は、お客様の自由な意思を尊重し、その資産・情報および正当な利益を保護するため、以下に定める事項を誓約します。

1. お客様との取引に際しましては、法令等に従って金融商品の説明および情報提供を適切かつ十分に行います。
2. お客様からのご意見または苦情等につきましては、公正・迅速・誠実に対応し、お客様のご理解と信頼を得られるよう努めるとともに、お客様の正当な利益が保護されるよう努めます。
3. お客様に関する情報につきましては、法令等に従って適切に取得し、法令等で定める場合を除き、利用目的の範囲を超えた取扱いやお客様の同意を得ることなく外部への提供を行ないません。また、お客様の情報を正確に保つよう努めるとともに、情報への不正なアクセスや情報の流出・紛失等を防止するため適切な措置を講じることなどにより、安全に管理します。
4. お客様との取引に関連して、わたしたちの業務を外部に委託する場合は、お客様の情報やその他の利益を保護するために、委託先を適切に管理します。

利益相反管理方針について

当金庫は、信用金庫法および金融商品取引法等を踏まえ、お客様との取引にあたり、本方針および当金庫が定める庫内規則に基づき、お客様の利益が不当に害されるおそれのある取引を適切に管理（以下「利益相反管理」といいます。）し、もってお客様の利益を保護するとともに、お客様からの信頼を向上させるため、次の事項を遵守いたします。

1. 当金庫は、当金庫がお客様と行う取引を対象として利益相反管理を行います。
2. 当金庫は、以下に定める取引を利益相反管理の対象とします。
 - (1) 次に掲げる取引のうち、お客様の利益が不当に害されるおそれのある取引
 - ①当金庫が契約等に基づく関係を有するお客様と行う取引
 - ②当金庫が契約等に基づく関係を有するお客様と対立または競合する相手と行う取引
 - ③当金庫が契約等に基づく関係を有するお客様から得た情報を不当に利用して行う取引
 - (2) ①から③のほかお客様の利益が不当に害されるおそれのある取引
3. 当金庫は、利益相反管理の対象となる取引について、次に掲げる方法その他の方法を選択し、またこれらを組み合わせることにより管理します。
 - ①対象取引またはお客様との取引の条件または方法を変更する方法
 - ②対象取引またはお客様との取引を中止する方法
 - ③対象取引に伴い、お客様の利益が不当に害されるおそれがあることについて、お客様に適切に開示する方法
4. 当金庫は、営業部門から独立した管理部署の設置および責任者の配置を行い、利益相反のおそれのある取引の特定および利益相反管理を一元的に行います。
また、当金庫は、利益相反管理について定められた法令および庫内規則等を遵守するため、役職員等を対象に教育・研修等を行います。
5. 当金庫は、利益相反管理態勢の適切性および有効性について定期的に検証します。

反社会的勢力に対する基本方針について

当金庫は、社会の秩序や安全に脅威を与え、健全な経済・社会の発展を妨げる反社会的勢力との関係を遮断するため、以下のとおり「反社会的勢力に対する基本方針」を定め、これを遵守します。

1. 当金庫は、反社会的勢力との取引を含めた関係を遮断し、不当要求に対しては断固として拒絶します。
2. 当金庫は、反社会的勢力による不当要求に対し、職員の安全を確保しつつ組織として対応し、迅速な問題解決に努めます。
3. 当金庫は、反社会的勢力に対して資金提供、不適切・異例な取引および便宜供与は行いません。
4. 当金庫は、反社会的勢力による不当要求に備えて、平素から警察、暴力団追放推進センター、弁護士などの外部専門機関と緊密な連携関係を構築します。
5. 当金庫は、反社会的勢力による不当要求に対しては、民事と刑事の両面から法的対抗措置を講じる等、断固たる態度で対応します。

金融商品・保険商品のご提案にあたって

金融商品に係る勧誘方針

当金庫は、「金融商品の販売等に関する法律」に基づき、金融商品の販売等に際しては、次の事項を遵守し、勧誘の適正の確保を図ることとします。

1. 当金庫は、お客様の知識、経験、財産の状況及び当該金融商品の販売に係る契約を締結する目的に照らして、適正な情報の提供と商品説明をいたします。
2. 金融商品の選択・購入は、お客様ご自身の判断によってお決めいただきます。その際、当金庫は、お客様に適正な判断をしていただくために、当該金融商品の重要事項について説明をいたします。
3. 当金庫は、誠実・公正な勧誘を心掛け、お客様に対し事実と異なる説明をしたり、誤解を招くことのないよう、研修等を通じて役職員の知識の向上に努めます。
4. 当金庫は、お客様にとって不都合な時間帯や迷惑な場所での勧誘は行いません。
5. 金融商品の販売等に係る勧誘についてご意見やお気づきの点等がございましたら、お近くの窓口までお問い合わせください。

保険募集指針

当金庫は、以下の「保険募集指針」に基づき、適正な保険募集に努めてまいります。

- 当金庫は、保険業法をはじめとする関係法令等を遵守いたします。万一、法令等に反する行為によりお客様に損害を与えてしまった場合には、募集代理店として販売責任を負います。
- 当金庫は、お客様に引受保険会社名をお知らせするとともに、保険契約を引受け、保険金等をお支払いするのは保険会社であること、その他引受保険会社が破たんした場合等の保険契約に係るリスクについて適切な説明を行います。
- 当金庫は、取扱い保険商品の中からお客様が適切に商品をお選びいただけるように情報を提供いたします。
- 当金庫が取扱う一部の保険商品につきましては、法令等により以下のとおりご加入いただけるお客様の範囲や保険金額等に制限が課せられています。
 - (1) 保険契約者・被保険者になる方が下記のいずれかに該当する場合には、当金庫の会員の方を除き、一部の保険商品をお取扱いできません。

- ①当金庫から事業性資金の融資を受けている法人・その代表者・個人事業主の方（以下、総称して「融資先法人等」といいます）
- ②従業員数が20名以下の「融資先法人等」の従業員・役員の方

- (2) 「上記(1)に該当する当金庫の会員の方」「従業員数が21名以上の融資先法人等の従業員・役員の方」を保険契約者とする一部の保険商品の契約につきましては、保険契約者一人あたりの通算保険金額その他の給付金合計額（以下「保険金額等」といいます）を、次の金額以下に限定させていただきます。

- ・生存または死亡に関する保険金額等：1,000万円
- ・疾病診断、要介護、入院、手術等に関する保険金額等
 - ①診断等給付金（一時金形式）：1保険事故につき100万円
 - ②診断等給付金（年金形式）：月額換算5万円
 - ③疾病入院給付金：日額5千円【特定の疾病に限られる保険は1万円】※合計1万円
 - ④疾病手術等給付金：1保険事故につき20万円【特定の疾病に限られる保険は40万円】※合計40万円

- 当金庫は、ご契約いただいた保険契約の内容や各種手続き方法に関するご照会、お客様からの苦情・ご相談等の契約締結後の業務にも適切に対応いたします。

なお、ご相談内容によりましては、引受保険会社所定の連絡窓口へご案内、または保険会社と連携してご対応させていただきます。
- 当金庫は、保険募集時の面談内容等を記録し、保険期間が終了するまで適切に管理いたします。また、お客様から寄せられた苦情・ご相談等の内容は記録し、適切に管理いたします。

保険契約に関する苦情、ご相談等は、取扱営業店または下記にて承ります。

水沢信用金庫総務部 電話番号：0197-23-2498
受付時間：当金庫営業日の午前9時～午後5時

リスク管理体制

内部管理基本方針

当金庫は信用金庫法第36条第5項第5号および同法施行規則第23条の規定に基づき、業務の健全性と適切性を確保するため「内部管理基本方針」を定めております。

1. 理事及び職員の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制
2. 理事の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制
3. 損失の危険の管理に関する規程その他の体制
4. 理事の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制
5. 監事とその職務を補助すべき職員を置くことを求めた場合における当該職員に関する事項
6. 監事の職務を補助すべき職員の理事からの独立性及び当該職員に対する指示の実効性の確保に関する事項
7. 理事及び職員が監事に報告をするための体制その他の監事への報告に関する体制
8. 監事への報告をした者が当該報告をしたことを理由として不利な取扱いを受けないことを確保するための体制
9. 監事の職務の執行について生ずる費用の前払又は償還の手続その他の当該職務の執行について生じる費用又は債務の処理に係る方針に関する事項
10. その他監事の監査が実効的に行われることを確保するための体制

統合的リスク管理

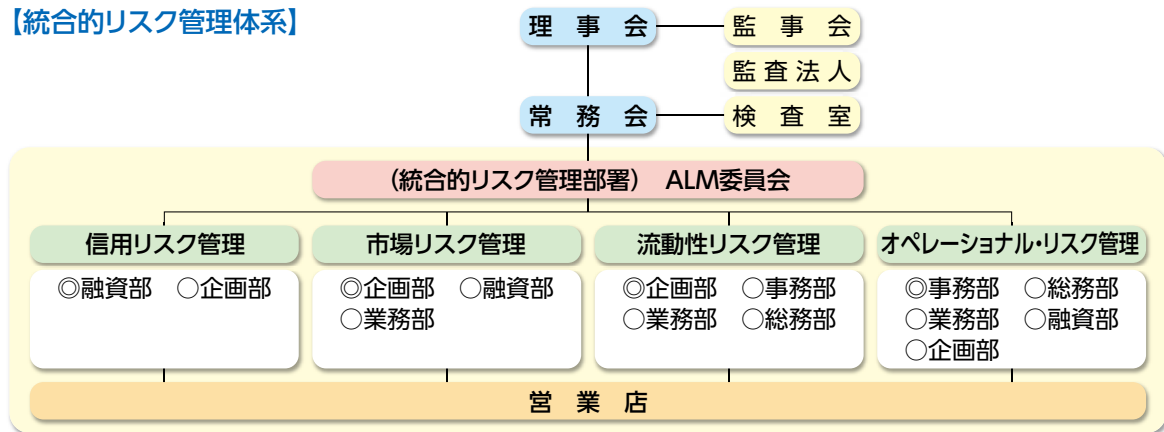
金融機関業務の多様化に伴い、当金庫の直面するリスクも一段と複雑化してきております。こうした環境下、お客様に安心してお取引いただくためには各種リスクの所在の認識と適切な管理により、経営の健全性と安定性を確保することが大変重要となります。

当金庫は、リスク管理態勢の確立を経営の最重要課題の一つと位置付け、リスク管理に関する基本事項を「統合的リスク管理方針」として策定しております。また、「統合的リスク管理規程」において当金庫が晒されている各種リスクの計測、管理手法を規定しております。

統合的リスク管理とは、当金庫を全体的な観点からリスクの総和をとらえ、できるだけ計量化するものです。統合的な管理手法である「リスク資本」については、①信用リスク、②流動性リスク、③市場リスク、④オペレーショナル・リスク等の各リスク・カテゴリーに関してのリスク量の計測を行い、当金庫全体のリスク量をモニターすることにより、経営体力と各種リスク量の状況を統合的に管理しています。

統合的リスク管理部署は経営陣を含む本部各部長で構成されるALM委員会が主管し、それぞれのリスク・カテゴリー毎に適切なリスク限度枠の設定等の審議を行ない、常務会に付議・報告する態勢としております。

【統合的リスク管理体系】



※◎印は各リスク部門の主管部署

信用リスク

信用リスクとは、貸出等を行っている取引先の財務状況の悪化などにより、貸出金が契約どおり返済されず、金融機関が損失を被るリスクをいいます。

当金庫では、貸出資産の健全性を維持・向上させるため、融資案件を、まず営業店で調査・検討し、次にそれぞれの権限内貸出基準に基づき厳格な審査を経て決裁しています。

また、「信用リスク委員会」及び企業支援課による経営改善支援等の取り組みにより、管理態勢の強化に努めています。自己査定についても、当金庫の自己査定基準に基づいた厳格な査定を行い、その結果に基づいて適正な償却・引当を実施しています。

市場リスク

市場リスクとは、金利、為替、株式等の様々な市場リスク・ファクターの変動により、当金庫の保有する資産・負債等の価格が変動し損失を被るリスク、資産・負債から生み出される収益が変動し損失を被るリスクをいいます。

当金庫は、「ALM委員会」を設置し、資産・負債を統合的に管理することによりリスクを回避し、安定収益の確保と自己資本の充実に努めています。

流動性リスク

流動性リスクとは、予期せぬ資金の流出等により資金が不足し、通常よりも著しく高い金利での調達を余儀なくされたり、不利な価格での取引を余儀なくされることにより金融機関が損失を被るリスクをいいます。

当金庫は、支払準備資金を信金中央金庫へ預入れ、資金の流動性を安定的に確保するとともに、資金の運用・調達及び日々の資金繰りについて経営陣に報告する体制をとり、流動性リスクに対する十分な管理態勢を確保しています。

オペレーショナル・リスク

オペレーショナル・リスクとは、金融機関の業務の過程、役職員の活動若しくはシステムが不適切であること又は外生的な事象により損失を被るリスクをいいます。

当金庫では、オペレーショナル・リスクについて、事務リスク・システムリスク・法務リスク・人的リスク・有形資産リスク・風評リスクの各リスクを含む幅広いリスクと考え、各種委員会において協議・検討し、必要に応じて理事会等に報告する態勢を整備しております。

金融分野における裁判外紛争解決制度（金融ADR 制度）について

当金庫における苦情処理措置・紛争解決措置等の概要

当金庫は、お客様からの相談・苦情・紛争等（以下「苦情等」という。）を営業店または総務部で受け付けています。

1. 苦情等のお申し出があった場合、その内容を十分に伺ったうえ、内部調査を行って事実関係の把握に努めます。
2. 事実関係を把握したうえで、営業店、関係部署等とも連携を図り、迅速・公平にお申し出の解決に努めます。
3. 苦情等のお申し出については記録・保存し、対応結果に基づく改善措置を徹底のうえ、再発防止や未然防止に努めます。

苦情等は営業店または次の担当部署へお申し出ください。

水沢信用金庫 総務部（業務全般）	電話番号:0197-23-2498	FAX 番号:0197-25-7073
企画部（国債証券等関連）	電話番号:0197-23-5192	FAX 番号:0197-25-7073
住 所	岩手県奥州市水沢区字日高西71番地1	※お客様の個人情報苦情等の解決を図るため、またお客様とのお取引を適切かつ円滑に行うために利用いたします。
受付時間	9:00～17:00（信用金庫営業日）	
受付媒体	電話、手紙、面談、ファックス等	

4. 当金庫のほかに、一般社団法人全国信用金庫協会が運営する「全国しんきん相談所」をはじめとする他の機関でも苦情等のお申し出を受け付けています。詳しくは上記総務部にご相談ください。

全国しんきん相談所 （一般社団法人全国信用金庫協会）	
住 所	〒103-0028 東京都中央区八重洲1-3-7
電話番号	03-3517-5825
受 付 日 時 間	月～金（祝日、12月31日～1月3日を除く） 9:00～17:00
受付媒体	電話、手紙、面談

5. 東京弁護士会、第一東京弁護士会、第二東京弁護士会（以下「東京三弁護士会」という）が設置運営する仲裁センター等で紛争の解決を図ることも可能ですので、総務部または上記全国しんきん相談所へお申し出ください。なお、各弁護士会に直接申し立ていただくことも可能です。

名 称	東京弁護士会 紛争解決センター	第一東京弁護士会 仲裁センター	第二東京弁護士会 仲裁センター
住 所	〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-1-3	〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-1-3	〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-1-3
電話番号	03-3581-0031	03-3595-8588	03-3581-2249
受 付 日 時 間	月～金（祝日、年末年始除く） 9:30～12:00、13:00～15:00	月～金（祝日、年末年始除く） 10:00～12:00、13:00～16:00	月～金（祝日、年末年始除く） 9:30～12:00、13:00～17:00

6. 東京三弁護士会の仲裁センター等は、東京都以外の各地のお客様にもご利用いただけます。その際には、次の(1)、(2)の方法により、お客様のアクセスに便利な東京以外の弁護士会の仲裁センター等を利用することもできます。なお、ご利用いただける弁護士会については、あらかじめ、東京三弁護士会、全国しんきん相談所または当金庫総務部にお尋ねいただくか、東京三弁護士会のホームページまたは当金庫ホームページ (<http://www.mizusawashinkin.co.jp>) をご覧ください。

(1) 現地調停

東京三弁護士会の調停人とそれ以外の弁護士会の調停人がテレビ会議システム等を用いて、共同して紛争の解決にあたります。

例えば、お客様は、岩手弁護士会の仲裁センター等にお越しいただき、当該弁護士会の調停人とは面談で、東京三弁護士会の調停人とはテレビ会議システム等を通じてお話いただくことにより、手続きを進めることができます。

(2) 移管調停

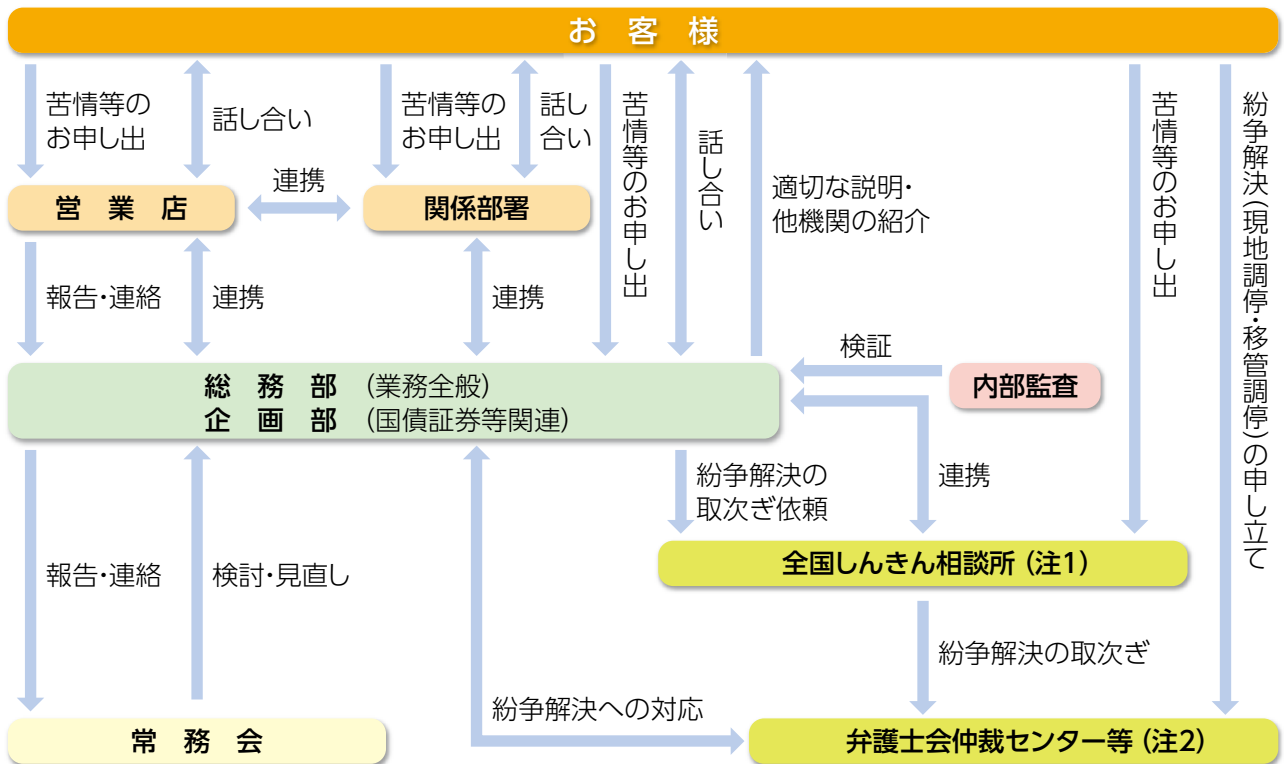
当事者間の同意を得たうえで、東京以外の弁護士会に案件を移管します。

例えば、仙台弁護士会の仲裁センター等に案件を移管し、当該弁護士会の仲裁センター等で手続きを進めることができます。

7. 当金庫の苦情等の対応

当金庫は、お客様からの苦情等のお申し出に迅速・公平かつ適切に対応するため、以下のとおり金融ADR 制度も踏まえ、内部管理態勢等を整備して苦情等の解決を図り、もって当金庫に対するお客様の信頼性の向上に努めます。

- (1) 営業店および各部署に責任者をとおくとともに、総務部がお客様からの苦情等を一元的に管理し、適切な対応に努めます。
- (2) 苦情等のお申し出については事実関係を把握し、営業店、関係部署および総務部が連携したうえで、速やかに解決を図るよう努めます。
- (3) 苦情等の対応にあたっては、解決に向けた進捗管理を行うとともに、苦情等のお申し出のあったお客様に対し、必要に応じて手続の進行に応じた適切な説明を総務部から行います。
- (4) お客様からの苦情等のお申し出は、全国しんきん相談所をはじめとする他の機関でも受け付けていますので、内容やご要望等に応じて適切な機関をご紹介します。
- (5) 紛争解決を図るため、弁護士会が設置運営する仲裁センター等を利用することができます。その際には、当該仲裁センター等の規則等も踏まえ、適切に協力します。
- (6) お申し出のあった苦情等を記録・保存し、その対応結果に基づき、苦情等に対応する態勢の在り方の検討・見直しを行います。
- (7) 苦情等への対応が実効あるものとするため、内部監査部門が検証する態勢を整備しています。
- (8) 苦情等に対応するため、関連規程等に基づき業務が運営されるよう、研修等により金庫内に周知・徹底します。
- (9) お客様からの苦情等は、業務改善・再発防止等に必要な措置を講じることにより、今後の業務運営に活かしていきます。
- (10) 苦情等への取組体制



(注1)

・全国しんきん相談所

(注2) 弁護士会仲裁センター等

・東京弁護士会 紛争解決センター
 ・第一東京弁護士会 仲裁センター
 ・第二東京弁護士会 仲裁センター

↓
 ・岩手弁護士会 仲裁センター等 (現地調停)
 ・仙台弁護士会 仲裁センター等 (移管調停)

総代会等に関する事項

1. 総代会制度について

信用金庫は、会員同士の「相互信頼」と「互恵」の精神を基本理念に、会員一人ひとりの意見を最大の価値とする協同組織金融機関です。したがって、会員は出資口数に関係なく、一人一票の議決権を持ち、総会を通じて当金庫の経営に参加することになります。しかし、当金庫の会員数はたいへん多く、総会の開催は事実上不可能です。そこで、当金庫では、会員の総意を適正に反映し、充実した審議を確保するため、総会に代えて総代会制度を採用しております。

この総代会は、決算、取扱業務の決定、理事・監事の選任等の重要事項を決議する最高意思決定機関です。したがって、総代会は、総会と同様に会員一人ひとりの意見が当金庫の経営に反映されるよう、会員の中から適正な手続により選任された総代により運営されます。

また、当金庫では、総代会に限定することなく、日常の事業活動を通じて、総代や会員とのコミュニケーションを大切に、さまざまな経営改善に取り組んでおります。

2. 総代とその選任方法

(1) 総代の任期・定数・定年

- 総代の任期は3年です。
- 総代の定数は65人以内で、会員数に応じ選任区域ごとに定められております。
- 総代の定年は75歳です。平成28年3月31日現在の会員数は11,240人です。

(2) 総代の選任方法

総代は、会員の代表として、会員の総意を当金庫の経営に反映する重要な役割を担っております。そこで総代の選考は次の3つの手続を経て選任されます。

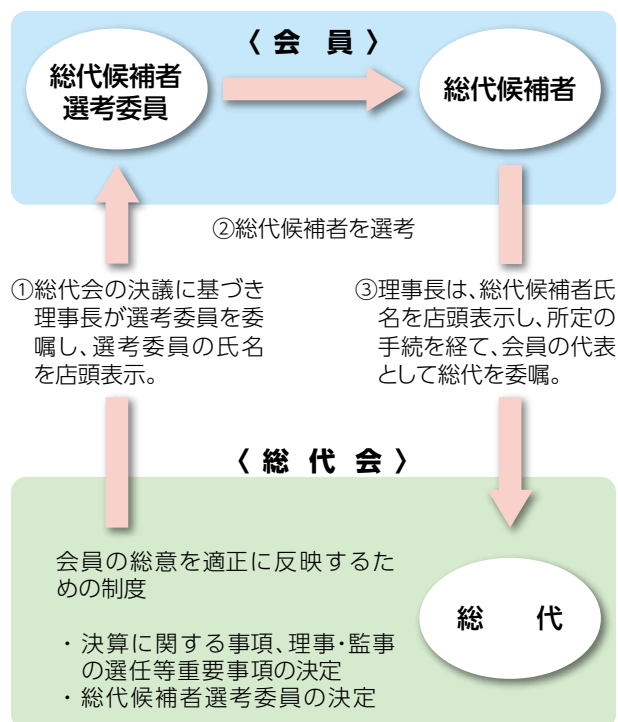
- ①会員の中から総代候補者選考委員を選任する。
- ②その総代候補者選考委員が総代候補者を選考する。
- ③その総代候補者を会員が信任する。
(異議があれば申し立てる)

※「総代候補者選考委員」選考基準

- ①当金庫の会員であること
- ②地域における信望が厚く、信用金庫の使命を十分理解している者
- ③地域の事情に明るく、人格・識見とも優れている者

※「総代候補者」選考基準

- ①当金庫の会員であること
 - ②当金庫の理念をよく理解し、金庫との取引が良好であること。
- 次の事項に該当する者は、総代として選任しないこととする。
- また、在任期間中に該当した場合は再任しないこととする。
- 子弟が金庫職員である者
 - 総代として相応しくない状態にある者



3. 第67期通常総代会決議事項

報告事項	第67期（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）業務報告、貸借対照表および損益計算書の内容報告の件
決議事項	
第1号議案	剰余金処分案承認の件
第2号議案	定款の一部変更の件
第3号議案	理事9名選任の件
第4号議案	退任理事に対する退職慰労金贈呈の件



第67期通常総代会

4. 総代の氏名等 (50音順・敬称略)

※氏名の後の数字は総代への就任回数です。

選任区域	定数	氏名
■第1区 8人 【水沢区】 不断町・川口町 勝手町・立町 柳町・川原小路 大手町・大町 搦手丁・佐倉河		桐山 道彦 ②
		後藤 逸夫 ⑤
		後藤 秀紀 ①
		佐々木真一 ③
		佐々木 岳 ①
		高橋 幸司 ⑤
		松好 隆成 ⑪
■第2区 8人 【水沢区】 石田・日高小路 西町・吉小路 新小路・北下巾 大畑小路・上町 【胆沢区】 若柳・南都田		赤田 雅志 ②
		菊地久志雄 ⑪
		佐々木利幸 ⑤
		高橋 悦見 ⑥
		武田 成一 ⑧
		千田 正義 ④
		中目 祐幸 ①
		渡辺 文好 ⑥
■第3区 4人 【水沢区】 東上野町・横町・東町 寺小路・南町・中町 他		荒川 佳生 ⑥
		高橋 宗康 ②
		鳥海 恭司 ⑤
		吉田 憲郎 ①
■第4区 10人 【水沢区】 宮下・西上野町 中上野町・大鐘 天文台通り・福原 真城西側地区 【胆沢区】 小山		浅間 芳子 ⑥
		遠藤 敬 ⑦
		小野寺弘行 ⑥
		五嶋 徳市 ⑨
		佐々木永喜 ⑨
		佐々木成子 ①
		佐々木 孝 ⑤
		幅下 俊樹 ①
		芳沢 正義 ⑩
		渡邊 晃三 ③

選任区域	定数	氏名
■第5区 13人 【水沢区】 花園町・神明町 東大通り・台町 太日通り・泉町 中田町・朝日町 真城東側地区 黒石町・姉体町 東中通り・羽田町 跡呂井		及川 敬 ⑨
		及川 傳 ②
		小野寺忠榮 ③
		小野寺信敏 ④
		菊地 三郎 ①
		佐々木美行 ③
		高橋 賢 ①
		立野 晃 ①
		千葉 亨 ④
		本庄 勝郎 ④
		森岡 一晃 ③
		四谷 栄克 ②
		和川 洋行 ①
■第6区 7人 【前沢区・衣川区】 【西磐井郡平泉町】 【一関市】 旧一関市、 旧大東町、旧東山町 【大船渡市】 【陸前高田市】		大久保和夫 ②
		工藤 武彦 ⑤
		佐藤 征夫 ①
		菅原 勝郎 ⑤
		高橋 久興 ⑥
		千田伏二夫 ⑦
		吉田 利行 ⑤
■第7区 9人 【江刺区】 【気仙郡住田町】		伊藤 昌子 ①
		小澤 信男 ⑥
		海鋒 守 ⑨
		菊地 寛 ⑦
		佐藤 悦夫 ②
		佐藤 和也 ③
		穴戸 幸吉 ④
		千田 稔 ④
		和賀 総 ②
■第8区 6人 【胆沢郡金ヶ崎町】 【北上市】		小澤 賢 ①
		小野寺逸夫 ②
		小野寺 博 ⑤
		菊地 成寿 ②
		佐藤 千幸 ①
		高橋 宏哉 ①

平成28年6月17日現在

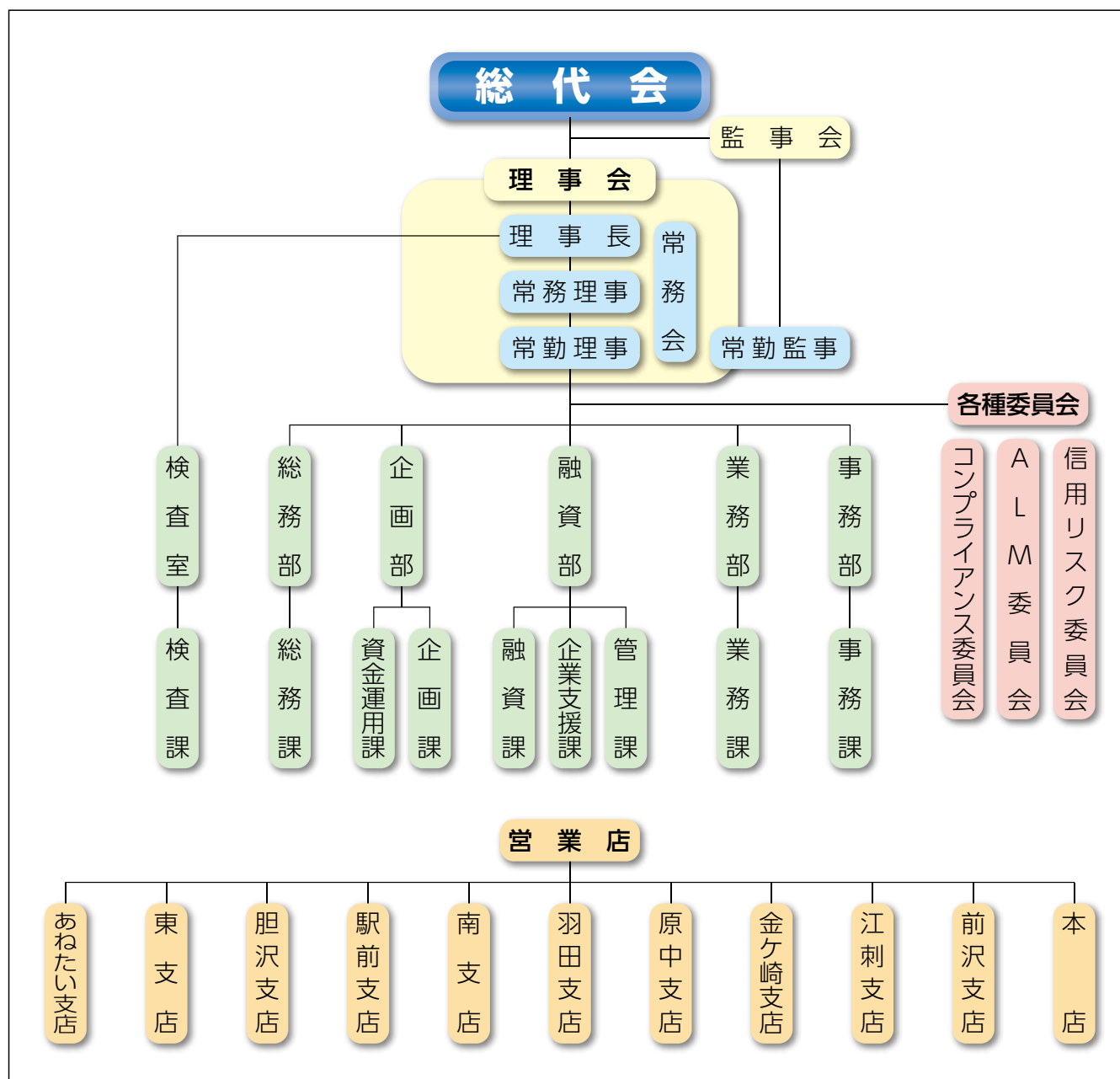
総代の属性別構成比

職業別	法人代表者 70.3%	個人事業主 21.9%	個人 7.8%
年代別	70代以上 21.8%	60代 56.2%	50代 15.6% 40代 6.2%
業種別	製造業 6.2% 建設業 20.3% 電気・ガス・熱供給・水道業 1.5% 情報通信業 3.1% 運輸業、郵便業 4.6% 卸売業、小売業 25.0% 不動産業 1.5% 物品賃貸業 3.1% 学術研究、専門・技術サービス業 1.5% 宿泊業 3.1% 飲食業 1.5% 生活関連サービス業、娯楽業 4.6% 教育、学習支援業 1.6% 医療、福祉 6.2% その他のサービス 7.8%		

注) 1 業種別の構成比は、法人・法人代表者、個人事業主に限ります。
 注) 2 割合につきましては、小数点第2位以下を切り捨てて表示しております。

金庫の組織に関する事項

組織図 (平成28年7月31日現在)



役員一覧 (平成28年6月30日現在)

理事長	及川 富美人
常務理事	及川 和男
常務理事	佐藤 彰彦
常勤理事	菊地 隆
常勤理事	伊藤 寿 (*1)
常勤理事	鈴木 重徳

非常勤理事	千葉 龍二郎 (*1)
非常勤理事	渡邊 康喜 (*1)
非常勤理事	鎌田 卓也 (*1)
常勤監事	及川 守
非常勤監事	小野寺 宣文
非常勤監事	及川 和人 (*2)

*1 理事 伊藤 寿、千葉 龍二郎、渡邊 康喜、鎌田 卓也は、信用金庫業界の「総代会の機能向上策等に関する業界申し合わせ」に基づく職員外理事です。
*2 監事 及川 和人は、信用金庫法第32条項第5項に定める員外監事です。

会計監査人

北光監査法人

当金庫の歩み

昭和

- 24. 1 市街地信用組合法に基づき
水沢信用組合創立
- 24. 7 水沢町大町 83 番地で業務を開始
及川兵治 初代組合長に就任
- 25. 4 中小企業等協同組合法に基づく
水沢信用組合に組織変更
- 26. 6 信用金庫法施行 (法律 238 号)
- 27. 4 水沢信用金庫 事業免許により組織変更
- 27. 5 小野甫善 初代理事長に就任
- 28. 11 位置変更 胆沢郡水沢町塩竈字大町26番地
(改築移転)
- 29. 8 水沢市中小企業融資斡旋条例に基づく融資
契約締結 (同年 4 月水沢市発足)
- 29. 11 地区拡張
水沢市全域に胆沢郡金ケ崎町を加える
- 30. 5 及川兵治 二代目理事長に就任
- 33. 12 内国為替業務開始
- 34. 3 全国信用金庫連合会代理業務開始
- 35. 2 地区拡張
胆沢郡一円とし内金ケ崎町六原を除く
- 35. 4 前沢出張所開設 (45.4 支店昇格)
- 35. 9 加賀順蔵 三代目理事長就任
- 37. 2 中小企業金融公庫代理業務開始
- 37. 9 佐々木泰治 四代目理事長就任
- 38. 7 地区拡張 江刺一円に拡張する
- 38. 8 本店新築移転 (創業地に移転)
- 39. 4 江刺支店開設
- 41. 6 千葉政胤 五代目理事長就任
- 41. 6 小規模共済事業団代理業務取扱開始
- 44. 9 金ケ崎支店開設
- 45. 6 地区拡張
一関市、北上市、陸前高田市、和賀郡江釣
子村、西磐井郡平泉町、東磐井郡大東町、
東山町、気仙郡住田町に拡張する
- 47. 3 国民金融公庫と代理業務取扱開始
- 48. 7 原中支店開設
- 49. 12 地区拡張 和賀郡和賀町を拡張する
- 50. 10 預金量 100 億円達成
- 51. 6 共同事務センターオンライン加入
- 51. 12 羽田支店開設
- 52. 2 石川文夫 六代目理事長就任
- 54. 10 江刺、金ケ崎両支店新装開店
- 57. 12 南支店開設
- 59. 4 駅前支店開設
- 60. 4 住宅金融公庫受託業務開始
- 60. 5 鈴木貞蔵 七代目理事長就任

- 61. 11 本店現在地に新築移転、大町支店開設
- 61. 12 日本銀行当座取引業務開始
- 62. 11 新田清二 八代目理事長就任
- 62. 12 日本銀行歳入代理店業務取扱開始

平成

- 2. 12 預金量 500 億円達成
- 4. 11 胆沢支店開設
- 6. 12 東支店開設
- 7. 12 金ケ崎支店新築移転
- 9. 2 ATMの祝祭日稼働サービス開始
- 9. 11 新田清二理事長「黄綬褒章」受章
- 9. 12 前沢支店新築移転
- 11. 10 郵貯カードと提携
- 11. 11 創立 50 周年記念祝賀会
- 12. 3 デビットカード取扱開始
- 12. 6 テレホンバンキングの運用開始
- 12. 12 しんきん ATM ゼロネットサービス
取扱開始
- 13. 3 スポーツ振興くじ (toto) の当せん金
払戻し業務開始
- 15. 9 個人向け国債の取扱開始
- 15. 10 駅前支店を新築移転 (大町支店統合)
- 16. 1 ホームページ開設
- 16. 2 インターネットバンキングサービス開始
- 16. 11 決済用普通預金の取扱開始
- 17. 6 及川富美人 九代目理事長就任
- 17. 10 生保個人年金保険の募集開始
- 18. 4 融資部に企業支援課新設
- 18. 11 すいしん会 20 周年記念事業
「星野仙一講演会」開催
- 19. 4 預金量 1,000 億円達成
- 19. 12 羽田支店新築移転
- 21. 4 企画部に資金運用課新設
- 21. 12 創立 60 周年記念事業
瞳ひろし「劇団夢の旅」特別公演開催
- 22. 11 及川富美人理事長「黄綬褒章」受章
- 23. 7 IC キャッシュカード取扱開始
- 25. 2 電子記録債権サービス「でんさいネット」
取扱開始
- 28. 4 及川富美人理事長「旭日双光章」受章
- 28. 7 あねたい支店開設

平成27年度の事業の概況

預金

期末残高は、公金預金、金融機関預金が減少しましたが、個人預金、法人預金等が増加したことから、前期末に比べ1,188百万円増加し、115,342百万円となりました。

貸出金

期末残高は、前期末に比べ695百万円減少し、53,903百万円となりました。

損益

今年度は貸出金残高の伸び悩みに加え、市場金利の低下など資金運用環境は厳しい状況にありました。

経常収益は、有価証券の効率的な運用や役員取引等収益による利益確保に努め増収となりましたが、国債等債券損益が減額となったほか退職給付費用の増加などにより、経常利益は前年度比97百万円減少し612百万円となりました。法人税等調整額などを控除した当期純利益は、同比42百万円減少し、406百万円となりました。

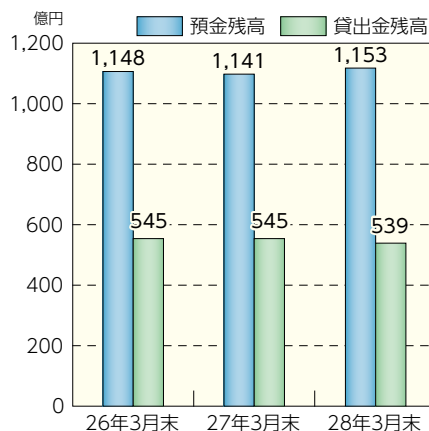
自己資本比率

自己資本比率は、リスクが発生する可能性のある資産（リスク・アセット）に対する出資金や利益準備金、諸積立金など（自己資本）の比率で、金融機関の経営の健全性・安全性を示す指標です。

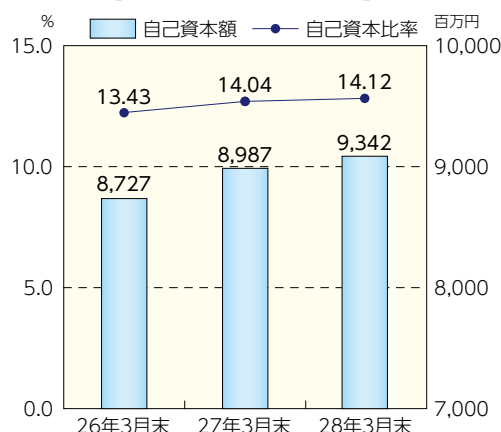
平成28年3月末の自己資本比率は”14.12%”となり、健全性の基準とされる4%を大きく上回る水準を維持することができました。

当金庫は、これからも自己資本の充実を図り、経営の健全性と体力の強化に努めてまいります。

【期末残高の推移】



【自己資本比率の推移】



直近5年間の主要な経営指標の推移

項目	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
経常収益	百万円	2,744	2,698	2,908	2,371	2,679
経常利益	//	237	547	392	710	612
当期純利益	//	269	361	181	448	406
出資総額	//	439	449	460	465	475
出資総口数	千口	878	898	920	930	950
純資産額	百万円	7,774	8,891	8,661	9,806	10,352
総資産額	//	120,498	124,223	125,893	126,205	128,237
預金積金残高	//	110,435	113,144	114,838	114,154	115,342
貸出金残高	//	55,003	55,281	54,563	54,598	53,903
有価証券残高	//	38,148	43,556	41,723	44,880	46,507
自己資本比率	%	14.30	14.06	13.43	14.04	14.12
出資に対する配当金	百万円	17	17	18	18	18
役員数	人	12	12	12	12	12
うち非常勤役員数	人	5	5	5	5	5
職員数	人	142	145	150	149	149
会員数	人	10,276	10,604	10,919	10,986	11,240

※「平成26年度」欄の金額及び比率は、過去の会計年度の誤謬を訂正するため、修正再表示しております。
修正再表示前の金額及び比率は次のとおりであります。〔純資産額〕9,878百万円、〔自己資本比率〕14.16%。
なお、平成25年度以前に係る累積的影響額については平成26年度に反映させております。

貸借対照表

資産の部

(単位:百万円)

	第66期	第67期
	平成27年3月末	平成28年3月末
現金	1,788	2,152
預け金	23,424	24,375
買入金銭債権	1,700	700
金銭の信託	497	513
有価証券	44,880	46,507
国債	4,936	3,127
地方債	7,146	5,618
社債	21,116	21,086
株式	379	555
その他の証券	11,301	16,119
貸出金	54,598	53,903
割引手形	158	205
手形貸付	4,971	4,773
証書貸付	47,966	47,017
当座貸越	1,501	1,907
その他資産	675	764
未決済為替貸	13	11
信金中金出資金	354	544
前払費用	9	4
未収収益	210	181
その他の資産	87	23
有形固定資産	774	831
建物	220	195
土地	444	474
建設仮勘定	—	50
その他の有形固定資産	109	111
無形固定資産	6	3
ソフトウェア	3	0
その他の無形固定資産	2	2
前払年金費用	94	97
債務保証見返	259	394
貸倒引当金	△ 2,493	△ 2,006
うち個別貸倒引当金	△ 2,213	△ 1,753
資産の部合計	126,205	128,237

負債及び純資産の部

(単位:百万円)

	第66期	第67期
	平成27年3月末	平成28年3月末
預金積金	114,154	115,342
当座預金	560	473
普通預金	30,118	31,776
貯蓄預金	111	92
通知預金	23	25
定期預金	77,350	76,762
定期積金	5,287	5,498
その他の預金	701	713
借入金	1,400	1,400
借入金	1,400	1,400
その他負債	264	234
未決済為替借	21	21
未払費用	79	80
給付補填備金	2	2
未払法人税等	75	26
前受収益	73	89
払戻未済金	0	0
払戻未済持分	0	0
その他の負債	12	13
賞与引当金	45	45
役員退職慰労引当金	105	116
偶発損失引当金	5	4
睡眠預金払戻損失引当金	3	5
繰延税金負債	160	341
債務保証	259	394
負債の部合計	116,399	117,884
出資金	465	475
普通出資金	465	475
利益剰余金	8,275	8,663
利益準備金	460	465
その他利益剰余金	7,814	8,197
特別積立金	7,279	7,679
当期末処分剰余金	535	517
会員勘定合計	8,741	9,138
その他有価証券評価差額金	1,065	1,214
評価・換算差額等合計	1,065	1,214
純資産の部合計	9,806	10,352
負債及び純資産の部合計	126,205	128,237

貸借対照表の注記

- 注1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
- 注2. 有価証券の評価は、満期保有目的の債券については移動平均法による償却原価法（定額法）、その他有価証券のうち時価のあるものについては決算日の市場価格等に基づく時価法（売却原価は主として移動平均法により算定）、時価を把握することが極めて困難と認められるものについては移動平均法による原価法により行っております。
- なお、その他有価証券の評価差額については、全部純資産直入法により処理しております。
- 注3. 金銭の信託において信託財産を構成している有価証券の評価は上記2と同じ方法により行っております。
- 注4. 有形固定資産の減価償却は、定率法（ただし、平成10年4月1日以後に取得した建物（建物附属設備を除く。）については定額法）を採用しております。また、主な耐用年数は次のとおりであります。
- | | |
|-----|--------|
| 建 物 | 7年～40年 |
| その他 | 3年～15年 |
- 注5. 無形固定資産の減価償却は、定額法により償却しております。なお、自金庫利用のソフトウェアについては、金庫内における利用可能期間（5年）に基づいて償却しております。
- 注6. 貸倒引当金は、予め定めている償却・引当基準に則り、次のとおり計上しております。「銀行等金融機関の資産の自己査定並びに貸倒償却及び貸倒引当金の監査に関する実務指針」（平成24年7月4日）に規定する正常先債権及び要注意先債権に相当する債権については、一定の種類毎に分類し、過去の一定期間における各々の貸倒実績から算出した貸倒実績率等に基づき計上しております。破綻懸念先債権に相当する債権については、債権額から担保の処分可能見込額及び保証による回収可能見込額を控除し、その残額のうち必要と認める額を計上しております。破綻先債権及び実質破綻先債権に相当する債権については、債権額から、担保の処分可能見込額及び保証による回収可能見込額を控除した残額を計上しております。すべての債権は、資産の自己査定基準に基づき、営業店及び融資部が資産査定を実施し、当該部署から独立した検査室が資産査定結果を監査しており、その結果により上記の引当を行っております。
- 注7. 賞与引当金は、職員への賞与の支払いに備えるため、職員に対する賞与の支給見込額のうち、当事業年度に帰属する額を計上しております。
- 注8. 退職給付引当金は、職員の退職給付に備えるため、企業会計基準適用指針第25号「退職給付会計に関する会計基準の適用指針」（平成27年3月26日）に定める簡便法（直近の年金財政計算上の数理債務をもって退職給付債務とする方法）により、当事業年度末における必要額を計上しております。当金庫は、複数事業主（信用金庫等）により設立された企業年金制度（総合設立型厚生年金基金）に加入しており、当金庫の拠出に対応する年金資産の額を合理的に計算することができないため、当該年金制度への拠出額を退職給付費用として処理しております。
- なお、当該企業年金制度全体の直近の積立状況及び制度全体の拠出等に占める当金庫の割合並びにこれらに関する補足説明は次のとおりであります。
- ① 制度全体の積立状況に関する事項（平成27年3月31日現在）

年金資産の額	1,659,830百万円
年金財政計算上の数理債務の額と最低責任準備金の額との合計額	1,824,563百万円
差引額	△164,732百万円
 - ② 制度全体に占める当金庫の掛金拠出割合（平成27年3月分）0.1145%
 - ③ 補足説明

上記①の差引額の主な要因は、年金財政計算上の過去勤務債務残高247,567百万円及び別途積立金82,834百万円であります。本制度における過去勤務債務の償却方法は期間19年0ヵ月の元利均等定率償却であり、当金庫は、当事業年度の財務諸表上、特別掛金22百万円を費用処理しております。

なお、特別掛金の額は、予め定められた掛金率を掛金拠出時の標準給与の額に乗じることで算定されるため、上記②の割合は当金庫の実際の負担割合とは一致しません。
- 注9. 役員退職慰労引当金は、役員への退職慰労金の支払いに備えるため、役員に対する退職慰労金の支給見込額のうち、当事業年度末までに発生していると認められる額を計上しております。
- 注10. 睡眠預金払戻損失引当金は、負債計上を中止した預金について、預金者からの払戻請求に備えるため、将来の払戻請求に応じて発生する損失を見積もり、必要と認める額を計上しております。
- 注11. 偶発損失引当金は、信用保証協会への負担金の支払いに備えるため、将来の負担金支払見込額を計上しております。
- 注12. 消費税及び地方消費税の会計処理は、税込方式によっております。
- 注13. 理事及び監事との間の取引による理事及び監事に対する金銭債権総額33百万円
- 注14. 有形固定資産の減価償却累計額1,431百万円
- 注15. 貸借対照表に計上した固定資産のほか、コピー機については、所有権移転外ファイナンス・リース契約により使用しております。
- 注16. 貸出金のうち、破綻先債権額は586百万円、延滞債権額は4,904百万円であります。なお、破綻先債権とは、元本又は利息の支払の遅延が相当期間継続していることその他の事由により元本又は利息の取立て又は弁済の見込みがないものとして未収利息を計上しなかった貸出金（貸倒償却を行った部分を除く。以下「未収利息不計上貸出金」という。）のうち、法人税法施行令（昭和40年政令第97号）第96条第1項第3号のイからホまでに掲げる事由又は同項第4号に規定する事由が生じている貸出金であります。また、延滞債権とは、未収利息不計上貸出金であって、破綻先債権及び債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として利息の支払を猶予した貸出金以外の貸出金であります。
- 注17. 貸出金のうち、3か月以上延滞債権額はありません。なお、3か月以上延滞債権とは、元本又は利息の支払が、約定支払日の翌日から3か月以上遅延している貸出金で破綻先債権及び延滞債権に該当しないものであります。
- 注18. 貸出金のうち、貸出条件緩和債権額は304百万円であります。なお、貸出条件緩和債権とは、債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で破綻先債権、延滞債権及び3か月以上延滞債権に該当しないものであります。
- 注19. 破綻先債権額、延滞債権額、3か月以上延滞債権額及び貸出条件緩和債権額の合計額は5,796百万円であります。なお、注16から注19に掲げた債権額は、貸倒引当金控除前の金額であります。
- 注20. 手形割引は、業種別監査委員会報告第24号に基づき金融取引として処理しております。これにより受け入れた銀行引受手形、商業手形、荷付為替手形及び買入外国為替は、売却又は（再）担保という方法で自由に処分できる権利を有しておりますが、その額面金額は205百万円であります。

注21. 担保に供している資産は次のとおりであります。

担保に供している資産

有価証券	104百万円
預け金	2,500百万円

担保資産に対応する債務

預金	82百万円
借入金	1,400百万円

上記のほか、為替決済等の取引の担保として、預け金8,000百万円を差し入れております。また、その他の資産のうち保証金は0百万円及び敷金は2百万円であります。

注22. 出資1口当たりの純資産額10,896円12銭

注23. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当金庫は、預金業務、融資業務および市場運用業務などの金融業務を行っております。このため、金利変動による不利な影響が生じないように、資産及び負債の総合的管理（以下「ALM」）をしております。デリバティブ取引は行っておりません。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

当金庫が保有する金融資産は、主として事業地区内のお客様に対する貸出金です。

また、有価証券は、主に債券、投資信託及び株式であり、満期保有目的、純投資目的及び事業推進目的で保有しております。これらは、それぞれ発行体の信用リスク及び金利の変動リスク、市場価格の変動リスクに晒されております。外貨建有価証券は保有しておりません。

一方、金融負債は主としてお客様からの預金であり、流動性リスクに晒されております。また、変動金利の預金については、金利の変動リスクに晒されております。金利スワップ取引は行っておりません。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

① 信用リスクの管理

当金庫は、融資管理諸規程及び信用リスクに関する管理諸規程に従い、貸出金について、個別案件ごとの与信審査、与信限度額、信用情報管理、保証や担保の設定、問題債権への対応など与信管理に関する体制を整備し運営しております。

これらの与信管理は、各営業店のほか融資部により行われ、また、定期的に経営陣等による信用リスク委員会や理事会を開催し、審議・報告を行っております。さらに、与信管理の状況については、検査室がチェックしております。

有価証券の発行体の信用リスクに関しては、企画部において、信用情報や時価の把握を定期的に行うことで管理しております。

② 市場リスクの管理

(i) 金利リスクの管理

当金庫は、ALMによって金利の変動リスクを管理しております。ALMに関する規則及び要領において、リスク管理方法や手続等の詳細を明記しており、ALM委員会において決定されたALMに関する方針に基づき、理事会において実施状況の把握・確認、今後の対応等の協議を行っております。

日常的には企画部において金融資産及び負債の金利や期間を総合的に把握し、ギャップ分析等によりモニタリングを行い、月次ベースで理事会に報告しております。

(ii) 為替リスクの管理

当金庫は、為替の変動リスクに関して、個別の案件ごとに管理しております。

(iii) 価格変動リスクの管理

有価証券を含む市場運用商品の保有については、ALM委員会の方針に基づき、理事会の監督の下、統合的リスク管理規程に従い行われております。

このうち、企画部では、市場運用商品の購入を行っており、事前審査、投資限度額の設定のほか、継続的なモニタリングを通じて、価格変動リスクの軽減を図っております。

企画部で保有している事業推進目的の株式については、取引先の市場環境や財務状況などをモニタリングしています。これらの情報は企画部を通じ、ALM委員会及び理事会において定期的に報告されております。

(iv) 市場リスクに係る定量的情報

当金庫において、主要なリスク変数である金利リスクの影響を受ける主たる金融商品は、「預け金」、「有価証券」のうち債券、「貸出金」、「預金積金」及び「借入金」であります。当金庫では、これらの金融資産及び金融負債について、保有期間1年、過去5年の観測期間で計測される99パーセンタイル値を用いた時価の変動額を市場リスク量とし、金利の変動リスクの管理にあたっての定量的分析に利用しております。当該変動額の算定にあたっては、対象の金融資産及び金融負債をそれぞれ金利期日に応じて適切な期間に残高を分解し、期間ごとの金利変動幅を用いております。

なお、金利以外のすべてのリスク変数が一定であると仮定した場合の99パーセンタイル値を用いた時価は962百万円減少するものと把握しております。当該変動額は、金利を除くリスク変数が一定の場合を前提としており、金利とその他のリスク変数との相関を考慮しておりません。

また、金利の合理的な予想変動幅を超える変動が生じた場合には、算定額を超える影響が生じる可能性があります。

③ 資金調達に係る流動性リスクの管理

当金庫は、ALMを通して、適時に資金管理を行うほか、資金調達手段の多様化、市場環境を考慮した長短の調達バランスの調整などによって、流動性リスクを管理しております。

(4) 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等による場合、当該価額が異なることもあります。なお、金融商品のうち貸出金については、簡便な計算により算出した時価に代わる金額を開示しております。

注24. 金融商品の時価等に関する事項

平成28年3月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額は、次のとおりであります（時価等の算定方法については（注1）参照）。なお、時価を把握することが極めて困難と認められる非上場株式等は、次表には含めておりません（注2）参照）。また、重要性の乏しい科目については記載を省略しております。

(単位:百万円)

項 目		貸借対照表計上額	時 価	差 額
資	預 け 金	24,375	24,509	133
	貸 出 金 (※1)	53,903	-	-
	貸 倒 引 当 金 (※2)	△ 1,753	-	-
		52,149	51,414	△ 735
	買 入 金 銭 債 権	700	700	0
金 銭 の 信 託		513	513	-
	運 用 目 的	513	513	-
産	有 価 証 券	46,395	46,578	182
	売 買 目 的 有 価 証 券	-	-	-
	満 期 保 有 目 的 の 債 券	5,173	5,356	182
	そ の 他 有 価 証 券	41,222	41,222	-
	金 融 資 産 計	124,134	123,715	△ 418
負 債	借 用 金	1,400	1,401	1
	預 金 積 金	115,342	115,404	62
	金 融 負 債 計	116,742	116,805	63

(※1)貸出金の「時価」には、「簡便な計算により算出した時価に代わる金額」を記載しております。

(※2)貸出金に対応する個別貸倒引当金を控除しております。

(注1)金融商品の時価等の算定方法

【金融資産】

(1) 預け金

満期のない預け金については、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。満期のある預け金については、残存期間に基づく区分ごとに、新規に預け金を行った場合に想定される適用金利で割り引いた現在価値を算定しております。

(2) 貸出金

貸出金は、以下の①～③の方法により算出し、その算出結果を時価に代わる金額として記載しております。

- ① 破綻懸念先債権、実質破綻先債権及び破綻先債権等、将来キャッシュ・フローの見積りが困難な債権については、貸借対照表中の貸出金勘定に計上している額（貸倒引当金控除前の額。以下「貸出金計上額」という。）の合計額から貸出金に対応する個別貸倒引当金を控除した価額
- ② ①以外のうち、変動金利によるものは貸出金計上額
- ③ ①以外のうち、固定金利によるものは貸出金の種類及び期間に基づく区分ごとに、元利金の合計額を同様の新規貸出を行った場合に想定される利率で割り引いた価額

(3) 買入金銭債権

買入金銭債権は取引金融機関から提示された価格によっております。

(4) 金銭の信託

金銭の信託は取引金融機関から提示された価格によっております。

なお、金銭の信託に関する注記事項については注28に記載しております。

(5) 有価証券

株式は取引所の価格、債券は取引所の価格又は取引金融機関から提示された価格によっております。投資信託は、公表されている基準価格によっております。

なお、保有目的ごとの有価証券に関する注記事項については注25から注27に記載しております。

【金融負債】

(1) 預金積金

要求払預金については、決算日に要求された場合の支払額（帳簿価額）を時価とみなしております。また、定期預金の時価は、一定の期間ごとに区分して、将来のキャッシュ・フローを割り引いて現在価値を算定しております。その割引率は、新規に預金を受け入れる際に使用する利率を用いております。なお、残存期間が短期（90日以内）のものは、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。

(2) 借入金

借入金のうち、変動金利によるものは、短期で市場金利を反映し、また、当金庫の信用状態は実行後大きく異なっていないことから、時価は帳簿価額と近似していると考えられるため、当該帳簿価額を時価としております。固定金利によるものは、一定の期間ごとに区分した当該借入金の元利金の合計額を同様の借入において想定される利率で割り引いて現在価値を算定しております。なお、残存期間が短期（90日以内）のものは、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。

(注2)時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品は次のとおりであり、金融商品の時価情報には含まれておりません。

(単位:百万円)

区 分	貸借対照表計上額
非 上 場 株 式	112
合 計	112

※非上場株式については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、時価開示の対象とはしていません。

(注3) 金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

(単位:百万円)

	1年以内	1年超5年以内	5年超10年以内	10年超
預 け 金	7,543	8,512	-	500
貸 出 金 (※)	9,726	17,635	12,113	11,079
買 入 金 銭 債 権	500	-	-	200
金 銭 の 信 託	500	-	-	-
有 価 証 券	1,400	5,539	27,081	6,370
満期保有目的の債券	200	100	2,800	1,970
その他有価証券のうち 満期があるもの	1,200	5,439	24,281	4,400
合 計	19,669	31,686	39,194	18,149

(※) 貸出金のうち破綻先、実質破綻先及び破綻懸念先に対する債権等、償還予定額が見込めないもの、期間の定めがないものは含めておりません。

(注4) 借入金及びその他の有利子負債の決算日後の返済予定額

(単位:百万円)

	1年以内	1年超5年以内	5年超10年以内	10年超
預 金 積 金 (※)	63,219	17,714	-	28
借 用 金	1,400	-	-	-
合 計	64,619	17,714	-	28

(※) 預金積金のうち、要求払預金は「1年以内」に含めて開示しております。

注25. 有価証券の時価及び評価差額等に関する事項は次のとおりであります。これらには、「国債」、「地方債」、「社債」、「株式」、「その他の証券」が含まれております。以下、注27まで同様であります。

満期保有目的の債券

(単位:百万円)

	種 類	貸借対照表計上額	時 価	差 額
時価が貸借対照表 計上額を超えるもの	国 債	-	-	-
	地 方 債	2,473	2,634	160
	社 債	2,000	2,021	21
	そ の 他	400	417	17
	小 計	4,873	5,072	199
時価が貸借対照表 計上額を超えないもの	国 債	-	-	-
	地 方 債	-	-	-
	社 債	200	195	△ 4
	そ の 他	100	87	△ 12
	小 計	300	283	△ 16
合 計		5,173	5,356	182

その他有価証券

(単位:百万円)

	種 類	貸借対照表計上額	取得原価	差 額
貸借対照表計上額が 取得原価を超えるもの	株 式	345	304	40
	債 券	24,761	23,528	1,232
	国 債	3,127	2,822	305
	地 方 債	3,145	2,998	147
	社 債	18,488	17,708	779
	そ の 他	7,675	7,054	620
	小 計	32,781	30,888	1,893
貸借対照表計上額が 取得原価を超えないもの	株 式	98	103	△ 4
	債 券	397	406	△ 9
	国 債	-	-	-
	地 方 債	-	-	-
	社 債	397	406	△ 9
	そ の 他	7,944	8,144	△ 200
	小 計	8,440	8,654	△ 214
合 計		41,222	39,543	1,679

注26. 当事業年度中に売却した満期保有目的の債券はありません。

注27. 当事業年度中に売却したその他有価証券

(単位:百万円)

	売却額	売却益の合計額	売却損の合計額
株 式	307	30	32
債 券	8,659	296	—
国 債	6,859	234	—
地 方 債	1,559	59	—
社 債	240	2	—
そ の 他	3,342	5	317
合 計	12,308	332	350

注28. 運用目的の金銭の信託

(単位:百万円)

	貸借対照表計上額	当事業年度の損益に含まれた評価差額
運 用 目 的 の 金 銭 の 信 託	513	13

注29. 当座貸越契約及び貸付金に係るコミットメントライン契約は、顧客からの融資実行の申し出を受けた場合に、契約上規定された条件について違反がない限り、一定の限度額まで資金を貸付けることを約する契約であります。これらの契約に係る融資未実行残高は、5,028百万円であります。このうち契約残存期間が1年以内のものが2,327百万円あります。

なお、これらの契約の多くは、融資実行されずに終了するものであるため、融資未実行残高そのものが必ずしも当金庫の将来のキャッシュ・フローに影響を与えるものではありません。これらの契約の多くには、金融情勢の変化、債権の保全及びその他相当の事由があるときは、当金庫が実行申し込みを受けた融資の拒絶又は契約極度額の減額をすることができる旨の条項が付けられております。また、契約時において必要に応じて不動産・有価証券等の担保を徴求するほか、契約後も定期的に（半年毎に）予め定めている金庫内手続に基づき顧客の業況等を把握し、必要に応じて契約の見直し、与信保全上の措置等を講じております。

注30. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主なる原因別の内訳は、それぞれ以下のとおりであります。

繰延税金資産

貸倒引当金	371百万円
減価償却超過額	41
役員退職慰労引当金	32
その他有価証券差額金	59
その他	63
繰延税金資産小計	568
評価性引当額	△ 359
繰延税金資産合計	208

繰延税金負債

その他有価証券差額金	523百万円
前払年金費用	26
繰延税金負債合計	550
繰延税金資産の純額	341百万円

注31. 誤謬の訂正

過去の会計年度において法人税等の金額が過少計上されておりました。「66期」欄の金額はこの誤謬を訂正するため修正再表示しております。

前期に開示した修正再表示前の金額は次のとおりであります。

「その他負債」192百万円、「未払法人税等」3百万円、「負債の部合計」116,326百万円、「利益剰余金」8,348百万円、「その他利益剰余金」7,887百万円、「当期末処分剰余金」608百万円、「会員勘定合計」8,813百万円、「純資産の部合計」9,878百万円。

誤謬の訂正に伴う「66期」の期首における純資産額に対する累積的影響額は72百万円であります。

また、「66期」の出資1口当たりの純資産額は訂正前に比べて77円97銭減少しております。



しんきんバンク

水沢信用金庫

〒023-0806 岩手県奥州市水沢区字日高西71番地1

TEL.0197-23-5191

<http://www.mizusawashinkin.co.jp/>

平成28年7月発行